

学校法人夙川学院  
夙川学院短期大学  
機関別評価結果  
(平成 22 年度再評価)

平成 28 年 12 月 15 日  
一般財団法人短期大学基準協会

## 夙川学院短期大学の概要

設置者 学校法人 夙川学院  
理事長 藤田 幸男  
学 長 岡崎 公典  
A L O 三木 麻子  
開設年月日 昭和 40 年 4 月 1 日  
所在地 兵庫県神戸市中央区港島 1-3-11

<平成 28 年 5 月 1 日現在>

### 設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
児童教育学科		170
	合計	170

### 専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

なし

### 通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

## 機関別評価結果

夙川学院短期大学は、平成 22 年度の再評価の結果、本協会が定める当該年度の短期大学評価基準を満たしたことから、平成 28 年 12 月 15 日付で適格と認める。

### 1. 総評

平成 22 年 2 月 23 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、当該短期大学を設置する学校法人の財務体質は極めて厳しい状況にあり、本協会が定める短期大学評価基準を一部満たしていないと判断した。すなわち、当該短期大学を設置する学校法人の財的資源の改善は急務である。ただし、本協会は当該学校法人の改善意思及び改善計画を確認したので、機関別評価結果を保留とした。

その後、平成 23 年 2 月 10 日付、平成 24 年 7 月 28 日付、平成 26 年 7 月 28 日付で当該短期大学からの申請を受け、評価領域IX「財務」についての再評価を行ったが、いずれも改善が不十分であると判断し評価を継続することとした。

今回、平成 28 年 5 月 16 日付で申請を受け、評価領域IX「財務」について再評価した結果、下記のとおり「合」と評価したので、機関別評価を適格とした。今後も継続的に自己点検・評価を行い、教育の質保証と短期大学の向上・充実に努めることを期待する。

### 2. 領域別評価結果

評価領域	評価結果
評価領域IX 財務	合

#### 評価領域IX 財務

設置する学校の一部を在校生に対して配慮を行いつつ移転しており、平成 27 年度にキャンパスの一部を売却したことなどにより、外部負債を全て返済した。

平成 27 年度の学生確保の状況は、堅調である。財務の状況について、短期大学はキャンパスの集約化等による過渡的な状況により平成 27 年度に支出超過となったものの、学校法人全体では 2 年連続で収入超過となっている。経営改善を着実に実行し、財務状況が改善されていると認めるが、更なる努力が必要である。

今後も、改善計画を着実に実施し、短期大学の財務体質のより一層の改善を図ることを期待する。

学校法人夙川学院  
夙川学院短期大学  
機関別評価結果

平成23年3月24日  
財団法人短期大学基準協会

## 夙川学院短期大学の概要

設置者	学校法人 夙川学院
理事長名	増谷 和人
学長名	松井 道男
ALO	岸永 康延
開設年月日	昭和40年4月1日
所在地	兵庫県西宮市甕岩町6-58

### 設置学科及び入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
家政学科	ファッション専攻	40
家政学科	食物栄養専攻	100
児童教育学科		130
美術・デザイン学科		50
	合計	320

### 専攻科及び入学定員(募集停止を除く)

専攻科	専攻	入学定員
専攻科	美術・デザイン専攻	25
専攻科	保育専攻	100
	合計	125

### 通信教育及び入学定員(募集停止を除く)

なし

## 機関別評価結果

夙川学院短期大学は、評価を行った時点では下記事由に示す問題点が認められる。ただし、本協会は、当該短期大学を設置する学校法人の改善意思及び改善計画を確認したので、機関別評価を保留とした。

### 別評価結果の事由

#### 1. 総評

平成 20 年 7 月 11 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は評価を行ったところであるが、途中で申請が取り下げられたので、評価を中断した。その後、平成 22 年 2 月 23 日付で当該短期大学から再度申請があったので、評価を再開した。本協会は平成 21 年度から平成 22 年度にかけて評価を行ったところであるが、その結果、当該短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準の一部を満たしていないと判断した。すなわち当該短期大学を設置する学校法人の財務体質が極めて厳しい状況に置かれており、改善計画の策定とその改善計画の確実な達成が必要と判断した。幸い当該学校法人は、関係機関とも協議の上、抜本的な改善計画を策定し、その達成への取り組みに努力しようとしている。本協会は、可能なかぎり早い将来、当該学校法人の財務体質が改善されることを期待するものである。

なお上記以外の領域については、次の事由により、短期大学としての水準をおおむね有していると判断した。

当該短期大学は、昭和 40 年に設置され、明治 13 年の学院淵源「増谷裁縫塾」の創始者の教育方針とキリスト教精神の人格形成を反映して建学の精神とし、「愛と誠実・清新な学識」が教育理念として確立されている。さらに、教養教育、3 学科の専攻・コース、専攻科の専攻のそれぞれに教育目的・目標が明確に示され、建学の精神・教育理念とともに定期的に点検、公表・周知され、その教育効果をあげるために種々努力をしている。

体系的に教育課程が編成され、学生の状況並びに社会及び時代のニーズを踏まえ、資格取得・授業科目等の選択の幅に配慮し、また魅力ある授業科目の開設や卒業修了制作展の開催などの学習成果発表の事業を設け、丁寧な教育を心掛けて、基礎学力の補填と教育の質の保証、学習意欲の喚起等のための改善の努力をしている。授業評価を学内ウェブサイトで公表するなど、ファカルティ・ディベロップメント (FD) の取り組みは活発である。

教員数や校地・校舎面積ともに、短期大学設置基準を充足し、図書館や施設・設備及び内容とも豊かで、恵まれた教育環境を整備している。

単位認定状況は適切に行われ学生の満足度や専門就職の率はおおむね良好である。児童教育学科ではリカレント教育の講習会を開催するなど、教育理念に基づいた、丁寧な教育研究の姿勢がうかがえる。

入試運営・事務体制は適切であり公正に実施されている。学習支援は、「履修ガイド」

「講義概要（シラバス）」が整備され、組織的な取り組みに努めている。また、学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの学生生活支援体制が充実している。

教員の研究活動は、熱意と意欲を持って学内外に展開され、毎年、科学研究費補助金が採択されるなどの実績もみられる。研究紀要及び教育実践研究紀要を発行し発表の機会も確保されている。また研究のための条件は充実し、さらに特別研究助成金制度整備などの努力がみられる。

社会的活動は、地域に根差す短期大学として公開講座や多種の事業を展開し、教員・学生共に積極的かつ活発である。

理事会は寄附行為に従って適切に運営されており、教授会は規程に基づき定期的開催され、教育・研究にかかわる事項を円滑に決定できるよう 21 の委員会が設置され適切に運営されている。

評価関係規程及び自己点検・評価の運営・実施体制が整備されており、平成 18 年度及び平成 20 年度に自己点検・評価を実施し、その報告書を全教職員に配布している。その成果を活用して様々な改革、例えば学科の改組・転換、教育課程等の見直しなどが行われている。

## 2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質の保証を図り、加えて短期大学の主体的な改革・改善を支援して、短期大学教育の向上・充実に資することにある。そのために、本協会の評価は、短期大学評価基準に基づく評価、すなわち基準評価的な性格に加え、短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する評価、すなわち達成度評価的な性格を有する。前述の「機関別評価結果」や後述の「領域別評価結果」は短期大学評価基準に従って判定されるが、その判定とは別に、当該短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する観点から、本協会は以下の見解を持つ。

### (1) 特に優れた試みと評価できる事項

高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らしたとき、本協会は、当該短期大学の取り組みのうち、以下に示す事項については優れた成果をあげている試みや特に特長的な試みと考える。

#### 評価領域Ⅱ 教育の内容

- 教養教育科目の「教養ゼミ」や「スキルアップ」科目群は基礎学力の補填と短期大学教育の質の保証として先進的な試みである。
- 学生の授業評価結果に対する教員の改善策等のコメントが学内のウェブサイト上に公開され学生の閲覧に供することで、教員・学生双方の授業改善への意識が喚起されている。
- 「西宮市大学交流センター・共通単位講座」と「放送大学」での単位互換制度を有している。また、児童教育学科では「クリスタル・コンサート」（音楽分野）、「卒

展」(美術分野)、「オペレッタ合同発表会」(体育分野)等、分野ごとに学習成果を発表する機会を設けるなど、長年各学科、専攻・コースそれぞれに学習成果を発表するための事業を意欲的に展開している。

#### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

- 学内に 5 名のカウンセラーを置き、クラスアドバイザー制を導入してきめ細かな学生指導を行い、また教務課を中心として欠席の多い学生を早期に把握し、さらにアドバイザー等が適切なケアに努めている。
- 児童教育学科が卒業生を対象に音楽・美術・体育等の保育技術の向上をねらいとした「実技講習&ホームカミングデイ」(幼児教育研究所主催)を実施している。

#### 評価領域Ⅴ 学生支援

- アドミッション・オフィス入試(AO)、指定協力校制推薦、専願推薦、併願推薦の各入試での入学予定者には、学習支援として、希望者のみに日本漢字能力検定(漢検)2級と実用英語技能検定(英検)準2級の文部科学省認定通信教育講座受講費用を補助している。

#### 評価領域Ⅵ 研究

- 科学研究費補助金採択が毎年あり、研究への積極的取り組みが行われている。

### (2) 向上・充実のための課題

本協会は、以下に示す課題などについて改善がされれば、当該短期大学の教育研究活動などの更なる向上・充実が期待できると考える。なお、本欄の記載事項は、各評価領域(合・否)と連動するものではないことにご留意願いたい。

#### 評価領域Ⅶ 管理運営

- 監事監査は業務監査について各種行事への参加にとどまっているため、学校法人全般の部門についての対応が望まれる。

### (3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

#### 評価領域Ⅷ 財務

- 学校法人全体、短期大学部門ともに消費支出比率が 100 パーセントを大きく超えて支出超過が続いており、学校法人全体の負債も多い。したがって既に策定した改善計画の確実な達成によって財務体質の改善を図ることが急務である。



### 3. 領域別評価結果

各評価領域の評価結果(合・否)を下表に示す。また、それ以下に、当該評価領域を合又は否と判定するに至った事由を示す。

評価領域	評価結果
評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域Ⅱ 教育の内容	合
評価領域Ⅲ 教育の実施体制	合
評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域Ⅴ 学生支援	合
評価領域Ⅵ 研究	合
評価領域Ⅶ 社会的活動	合
評価領域Ⅷ 管理運営	合
評価領域Ⅸ 財務	否
評価領域Ⅹ 改革・改善	合

#### 評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

当該短期大学の建学の精神は、創始者の教育方針とキリスト教精神に基づく人間形成を反映したものであり、「愛と誠実・清新な学識」が教育理念として確立され、各種文書で学内外に明確に示している。行事等での理事長や学長の式辞等を通じ、理解を深め学生や関係者への周知に努めている。また、教授会や企画委員会で適宜点検・確認を行っている。

教養教育、3学科の専攻・コース、専攻科の専攻、それぞれに教育目的・教育目標が定められ、履修ガイドや短期大学案内に明確に示し周知徹底されている。学科や専攻・コースにおける種々の変更・見直しの節目に、学科会議や自己点検・評価関連の委員会、企画委員会で点検されている。学科会議において教員間で確認し共有化を図るとともに兼任教員への周知も図り、学生にはオリエンテーションや授業等で周知徹底され、学外へは短期大学案内やウェブサイトで公表している。

#### 評価領域Ⅱ 教育の内容

それぞれの学科、専攻・コースの教育目的・目標を反映して、教育課程が体系的に編成されている。平成21年度に教育課程を大幅に改正し、学生の状況や社会、時代のニーズを踏まえ、資格等のメニューを学科に限定しないものに広げ学習意欲の喚起に配慮している。基礎学力の補填と短期大学教育の質の保証のための改善の努力がなされ、特に教養教育の「教養ゼミ」や「スキルアップ」科目群は先進的な試みである。その他、単位互換制度や、各学科、専攻・コースそれぞれに卒業・修了制作展など、学習成果を発表する機会を与える取り組みを意欲的に展開している。

授業概要（シラバス）が、1科目1ページの装丁で、授業の目標や教育方法及び成績の評価方法を含む統一された項目で、見やすく作成され、活用されている。

授業内容・授業方法の改善に関し、FD委員会を組織し、その取り組みとして学生による授業評価と教員の改善策を学内のウェブサイト上で閲覧し、教員・学生双方の意識喚起をしている。さらに「キャリア教育科目」の新設、「学生による授業評価活用ハンドブック」や機関誌「FD Today」を発行するなど、活発な取り組みが行われている。

### 評価領域Ⅲ 教育の実施体制

当該短期大学及び学科等の教員組織における教員数（教授数を含む）は、短期大学設置基準の規定を充足している。教員は、授業担当、研究、学生指導、その他の学務に意欲的であることが認められる。また、校地、校舎ともに短期大学設置基準を満たし、施設及び設備は充実しており、恵まれた教育環境を整備している。

図書館については、面積、蔵書数及び年間受け入れ冊数、図書購入予算も短期大学としては十分整備されている。早期からコンピュータ化を図り、ウェブサイトによる蔵書検索・外部データベースアクセスができる快適なシステムが構築されている。アートギャラリーの併設やテーマ展示、アンケート調査、開館時間調整等、利用促進や改善の努力をしている。

### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

授業の単位認定状況は適切であり、授業に対する学生の満足度もおおむね良好である。また、学内に5名のカウンセラーを置き、クラスアドバイザー制を導入してきめ細かな学生指導を行うとともに、教務課を中心として欠席の多い学生を早期に把握し、さらにアドバイザー等が適切なケアに努めている。

児童教育学科では就職希望者のほとんどが専門職（幼稚園等）へ就職している。

児童教育学科は卒業生を対象に音楽・美術・体育等の保育技術の向上をねらいとした「実技講習&ホームカミングデイ」（幼児教育研究所主催）を実施しており、卒業生の職場・世代を超えた情報交換の場ともなっている。

### 評価領域Ⅴ 学生支援

短期大学案内とウェブサイトにて建学の精神・教育理念や教育目的等が明示され、適切に情報が提供されている。入試委員会・広報課による入試運営・事務体制は適切であり、入試も公正に実施されている。

学習支援は、「履修ガイド」「講義概要（シラバス）」を基にオリエンテーションが実施され、また、学習が円滑に進むよう、基礎学力・技能を補うなど、組織的な取り組みに努めている。

学生生活全般の支援体制が整備され、特に学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの支援体制が充実している。

進路支援（就職支援及び進学支援）の組織体制も整備され、学生支援部を中心に積極的な進路支援が行われている。

#### 評価領域VI 研究

短期大学教育の多忙な中で、教員の研究活動が熱意と高い意欲を持って展開されている。また科学研究費補助金が毎年採択されている。研究活動のため、「個人研究費制度内規」による研究費、機器・備品、研究図書は整備されている。教員個人研究室が確保され、研修日は週に1日設定され、研究のための時間が確保されている。「夙川学院短期大学研究紀要」「夙川学院短期大学教育実践研究紀要」を発行し、研究発表の機会は確保されている。また、教員の申請により、学術振興委員会の議を経て特別研究助成金及び短期海外研修費を交付するなど、条件整備に努めている。

#### 評価領域VII 社会的活動

社会的活動は、教育理念から社会への還元の重要性を認識し、明確な位置付けがみられる。公開講座「阪神間ミュージアムリレー講座」を始め他機関との共催、連携により多くの講座に参加協力している。当該短期大学は地域行事に積極的に参加し、産学連携事業、授業成果の発表など、地域に密着した短期大学としてよく活動をしている。

学生の社会的活動も、美術・デザイン学科の「アートハンド・プロジェクト」など、積極的に取り組み、関係者の理解と指導力が発揮されている。

#### 評価領域VIII 管理運営

理事会は寄附行為に従って開催し、最高意思決定機関として運営している。また、理事会の下に学院の日常の業務を審議し、決定する常任理事会を「常任理事会規程」に基づき設置している。

短期大学は学長のリーダーシップが発揮され、適切に運営されている。教授会は「教授会運営規程」に基づき定期的開催され、教育・研究にかかわる事項を円滑に決定できるよう21の委員会が設置され適切に運営されている。

#### 評価領域IX 財務

平成19年度から学科の募集停止や定員削減などを行ってきたが定員割れが続き、帰属収入が学校法人全体、短期大学ともに年々減少し、収支も支出超過が続いている。また平成20年度には、世界的金融危機の影響を受け、デリバティブ取引、有価証券処分差額、有価証券評価損などにより損出を受け、多大な負債を抱えることとなった。このことにより保有する現金預金も少なく資金繰りが懸念される。当該学校法人関係者は、これらの財務状況を厳しく受けとめ、関係機関とも協議の上、平成22年度に抜

本的な改善計画を策定した。すなわち、①短大部門の2学科の募集停止と残る1学科の大学校地への統合、②大学部門の定員増による収支の改善、③付設中学校・高等学校の改革、④将来構想、組織、予算、人事・給与体系の見直しなどの組織体制の整備・強化、⑤資産売却による資金の調達などである。しかし、これらの計画は、現在、緒についたばかりであり、本協会は、これらの改善計画が確実に達成され、可能な限り早い将来、当該学校法人と短期大学の財務体質が改善されることを強く期待するものである。

#### 評価領域X 改革・改善

各種評価関係の規程、自己点検・評価の運営・実施体制を整備して、自己点検・評価を実施して、平成18年度、平成19年度及び平成20年度自己点検・評価報告書を作成し、全教職員に配布している。

多くの教職員がかかわる中で自己点検・評価が実施され、その成果を活用して様々な改革、例えば学科の改組・転換、教育課程等の見直しなどが行われており、今後の改革・改善への取り組みが期待できる。また相互評価も平成20年度に実施している。

平成 20 年度

# 自己点検・評価報告書

夙川学院短期大学

# 目次

《* 夙川学院短期大学の特色等》 .....	1
《I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》 .....	8
《II 教育の内容》 .....	12
《III 教育の実施体制》 .....	34
《IV 教育目標の達成度と教育の効果》 .....	43
《V 学生支援》 .....	66
《VI 研究》 .....	79
《VII 社会的活動》 .....	83
《VIII 管理運営》 .....	90
《IX 財務》 .....	102
《X 改革・改善》 .....	107
《** 将来計画の策定（自由記述）》 .....	110
【巻末資料】 .....	111

## 《\*短期大学の特色等》

(1) 短期大学を設置する学校法人（以下「法人」という）の沿革（概要）及び短期大学の沿革（概要）。

本学の母体である学校法人夙川学院は、わが国女子教育の黎明期である明治 13 年に増谷かめにより阪神御影の地に開設された増谷裁縫塾を淵源とする。

明治 34 年には増谷裁縫女学校として設置を認可され、徳性涵養と実技能力育成の教育方針の下、女子技芸教育の草分けとしての役割を担ってきた。

大正 4 年増谷女学校、昭和 2 年増谷高等家政女学校、昭和 11 年増谷高等女学校と長い歴史の中で幾多の変遷を経て発展した。

昭和 23 年より西宮市夙川に校舎を移転したのを契機に、財団法人（昭和 26 年より学校法人）夙川学院と改め、夙川学院高等学校及び同中学校を開設した。同年にはキリスト教精神の導入により教育方針の見直しを行う。昭和 40 年に夙川学院短期大学を開学し、昭和 42 年に夙川学院短期大学附属幼稚園を設置した。さらに平成 19 年には男女共学の神戸夙川学院大学を開学した。幼稚園、中学校、高等学校、短期大学、大学を擁する総合学園に成長して現在に至っている。本学院及び短期大学の沿革の概要等は次のとおりである。

### <学校法人夙川学院の沿革の概要>

明治13年 4月13日 増谷かめ、兵庫県御影町弓場に裁縫塾を開設。  
明治34年11月 6日 御影町浜西に増谷裁縫女学校設立認可。  
大正 4年 7月23日 校名を増谷女学校と改称。  
昭和 2年 5月12日 校名を増谷高等家政女学校と改称。  
昭和11年10月26日 増谷高等女学校(五年制)の設立認可を受け改称。  
昭和20年 6月 5日 戦災により校舎全焼。  
昭和23年 2月28日 西宮市に移転し校名を夙川学院高等学校・夙川学院中学校と改称。  
昭和24年 4月 1日 夙川学院の教育の基本理念にキリスト教精神を導入。  
昭和26年 3月 5日 学校法人認可。  
昭和40年 4月20日 夙川学院短期大学家政科開学。  
昭和42年 4月 1日 夙川学院短期大学附属幼稚園設置。  
昭和55年11月21日 夙川学院創立100周年記念式典挙行。  
平成 2年10月16日 夙川学院創立110周年、夙川学院短期大学開学25周年記念式典挙行。  
平成19年 4月 1日 神戸夙川学院大学観光文化学部開学。

### <夙川学院短期大学の沿革の概要>

昭和40年 1月25日 夙川学院短期大学(家政科)設置の認可。  
昭和41年 4月 1日 保育科を増設。  
昭和42年 4月 1日 美術科を増設。  
昭和43年 4月 1日 家政科80名を家政専攻80名、被服専攻80名、食物栄養専攻40名に分離し、入学定員変更。保育科（40名→80名）入学定員変更。  
保母資格養成課程の併設認可。栄養士養成施設認可。

- 昭和44年 4月 1日 英文学科を増設。家政科を家政学科に保育科を幼児教育学科に改称。司書課程併設認可。家政学科食物栄養専攻(40名→80名)入学定員変更。
- 昭和45年 4月 1日 家政学科被服専攻を服飾デザイン専攻に改称。専攻科(美術専攻一年制)を設置。
- 昭和46年 4月 1日 美術科を造形美術科に改称。
- 昭和47年 4月 1日 幼児教育学科を児童教育学科に改称。家政学科家政専攻(80名→40名)服飾デザイン専攻(80名→40名)入学定員変更。
- 昭和48年 3月31日 幼児教育学科と保育資格養成課程の併設廃止。
- 昭和49年 4月 1日 造形美術科を美術科に改称。
- 昭和50年 4月 1日 児童教育学科(80名→150名)入学定員変更。
- 昭和51年 4月 1日 児童教育学科(150名→240名)美術科(40名→80名)英文学科(40名→100名)入学定員変更。
- 昭和61年 4月 1日 期間を付した入学定員の変更(臨時的定員増)。家政専攻(40名→80名)食物栄養専攻(80名→120名)英文学科(100名→200名)
- 昭和62年 4月 1日 美術科入学定員変更(80名→120名)。英文学科を英語英文学科に改称。
- 平成元年 4月 1日 家政学科服飾デザイン専攻(40名→80名)入学定員変更。
- 平成 5年 4月 1日 家政学科家政専攻を生活科学専攻に改称。
- 平成11年 3月31日 専攻科(美術専攻)一年制を廃止。
- 平成11年 4月 1日 学位授与機構認定の専攻科(美術専攻)二年制を設置。
- 平成12年 4月 1日 期間を付した入学定員の延長および変更。生活科学専攻、食物栄養専攻とも各40名の臨時的定員を平成17年3月まで延長。英語英文学科の臨時的定員を10名に変更し平成17年3月まで延長(入学定員110名)。全学科の入学定員840名を750名に変更。教職課程の再課程認可(幼稚園・小学校・中学校の各教職課程)。
- 平成13年 4月 1日 家政学科生活科学専攻の期間を付した入学定員(臨時的定員増40名)を廃止し、恒常的入学定員に振り替えて入学定員を80名にする。美術科を美術・デザイン学科に改称。専攻科(美術専攻)を専攻科(美術・デザイン専攻)に改称。
- 平成14年 4月 1日 人間コミュニケーション学科、家政学科ウエルネス専攻、家政学科ファッション専攻を設置。専攻科(保育専攻)を設置。保育士養成課程(三年制)の認可。
- 平成15年 9月30日 英語英文学科、家政学科服飾デザイン専攻を廃止。
- 平成16年 3月31日 家政学科生活科学専攻を廃止。
- 平成16年 4月 1日 家政学科食物栄養専攻の期間を付した入学定員(臨時的定員40名)を廃止し、恒常的入学定員に振り替えて入学定員を120名にする。
- 平成17年 4月 1日 家政学科ウエルネス専攻を健康科学専攻に改称。
- 平成18年 4月 1日 専攻科(保育専攻)入学定員変更(40名→100名)。栄養教諭課程の認可。



- 平成19年 4月 1日 家政学科ファッション専攻 (80名→60名) 美術・デザイン学科 (120名→80名) 入学定員変更。
- 平成20年 3月31日 家政学科健康科学専攻を廃止。
- 平成20年 9月30日 人間コミュニケーション学科を廃止。
- 平成21年 4月 1日 家政学科ファッション専攻 (60名→40名) 家政学科食物栄養専攻(120名→100名)児童教育学科(240名→130名)美術・デザイン学科 (80名→50名) 入学定員変更。全学科の入学定員500名を320名に変更。

(2) 短期大学の所在地、位置(市・区・町・村の全体図)、周囲の状況(産業、人口等)等。

西宮市は兵庫県南東部、阪神都市圏のなかでも、山、川、海の豊かな自然と地理的条件に恵まれ、大阪と神戸の中間に位置している。市内には10大学があり、阪神間屈指の文教住宅都市として知られる。また、夙川河川敷公園は古くから、桜の名所として知られ「日本さくら名所100選」にも認定されている。阪神・淡路大震災で一時人口が減少したものの、その後の復興はめざましく、人口が急増し、平成20年には中核市となる。人口は479,387人(平成21年3月末現在)である。市内には阪急・阪神、JRの鉄道が平行して走り、大阪(梅田)と神戸(三宮)には10~15分と利便性に優れている。

夙川学院短期大学は六甲山南麓の夙川地域の高台に位置し、眼下に大阪平野・大阪湾が広がり、東方は生駒・信貴・金剛山系から和歌山、紀伊水道・友が島まで、西方は淡路島南東部まで遠望でき、その眺望と夜景の素晴らしさは阪神間随一である。

所在地：兵庫県西宮市甕岩町6-58

地図

夙川学院短期大学 阪急甲陽線甲陽園駅より徒歩12分 阪急梅田より 約40分 阪急三宮より 約30分



(3) 法人理事長、学長の氏名、連絡先及びその略歴、ALOの氏名、連絡先及びその略歴。なお、連絡先としては、TEL、FAX、E-Mail等を記載して下さい。

○学校法人夙川学院 理事長 増谷 和人(ますたに かずと)(昭和26年4月13日生)

連絡先: 夙川学院法人本部 TEL: 0798-75-6351 Fax: 0798-75-6352

略歴

昭和49年 3月 京都産業大学法学部法律学科卒業

昭和49年 4月 トヨタ自動車株式会社入社

昭和52年 4月 夙川学院短期大学(総務部)勤務

昭和55年 4月 夙川学院中学・高等学校教諭

昭和57年10月 学校法人夙川学院評議員

平成 2年 4月 夙川学院中学・高等学校教務部副部長

平成 3年 4月 夙川学院中学・高等学校副校長

平成10年 4月 夙川学院中学・高等学校校長 (現在に至る)

平成11年 7月 学校法人夙川学院理事 (現在に至る)

平成15年 3月 学校法人夙川学院理事長・学院長・夙川学院短期大学附属幼稚園園長  
(現在に至る)

○夙川学院短期大学 学長 増谷 篤子(ますたに あつこ)(昭和24年5月28日生)

連絡先: 夙川学院短期大学 TEL: 0798-73-3755 Fax: 0798-73-9136

Eメール: atsuko-m@shukugawa-c.ac.jp

略歴

昭和45年 3月 夙川学院短期大学美術科卒業

昭和45年 4月 夙川学院短期大学美術科副手

昭和47年 4月 夙川学院短期大学美術科助手

昭和50年 4月 夙川学院短期大学児童教育学科専任講師

平成 3年 4月 夙川学院短期大学児童教育学科助教授

平成11年 6月 学校法人夙川学院評議員 (現在に至る)

平成15年 4月 夙川学院短期大学副学長

平成15年 7月 学校法人夙川学院理事 (現在に至る)

平成19年 9月 夙川学院短期大学学長 (現在に至る)

平成21年 4月 近畿私立短期大学連合会理事 (現在に至る)

日本私立短期大学協会常任理事 (現在に至る)

○夙川学院短期大学 ALO 岸永 康延(きしなが やすのぶ)(昭和19年1月17日生)

連絡先: 夙川学院短期大学 TEL: 0798-73-3755 Fax: 0798-73-9136

Eメール: kisinaga@shukugawa-c.ac.jp

略歴

昭和42年 3月 日本大学法学部政治経済学科卒業

昭和44年 3月 日本大学大学院法学研究科修士課程政治学専攻修了(政治学修士)

昭和 44 年 4 月 衆議院議員塩川正十郎事務所嘱託(昭和 48 年 3 月まで)  
 昭和 48 年 4 月 夙川学院短期大学非常勤講師  
 昭和 48 年 9 月 夙川学院短期大学児童教育学科専任講師  
 昭和 50 年 4 月 夙川学院短期大学児童教育学科助教授  
 平成 元年 4 月 夙川学院短期大学児童教育学科教授(現在に至る)  
 平成 11 年 4 月 夙川学院短期大学児童教育学科長(平成 14 年 3 月まで)  
 平成 12 年 4 月 夙川学院短期大学幼児教育研究所所長(平成 14 年 3 月まで)  
 平成 15 年 4 月 夙川学院短期大学学生部長(平成 19 年 3 月まで)  
 平成 16 年 11 月 (財)短期大学基準協会評価員(現在に至る)  
 平成 18 年 4 月 夙川学院短期大学就職部長(平成 19 年 3 月まで)  
 平成 19 年 4 月 夙川学院短期大学学生支援部長(平成 20 年 3 月まで)  
 平成 20 年 4 月 夙川学院短期大学 ALO(現在に至る)  
 平成 21 年 4 月 夙川学院短期大学学長補佐(現在に至る)

(4) 平成 15 年度から 21 年度までの学科・専攻(通信による教育を行う学科(以下「通信教育学科」という)、専攻科を含み、以下「学科等」という)ごとの入学定員、入学者数、入学定員充足率(%)、収容定員、在籍者数、収容定員充足率(%)を次ページの表を例に作成して下さい。廃止、募集停止等の学科等を含む、該当する期間内に設置されたすべての学科等について作成して下さい。なお、在籍者数は毎年度 5 月 1 日時点とします。

平成 15 年度～21 年度の設置学科、入学定員等

学科名		15 年度	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	備考	
家 政 学 科	(ウ) エルネス専攻 健康科学専攻	入学定員	80	80	80	80	募集停止		17 年度名称変更 19 年度未廃止	
		入学者数	28	13	16	12				
		入学定員充足率(%)	35	16	20	15				
		収容定員	160	160	160	160	80			
		在籍者数	46	37	39	27	11			
		収容定員充足率(%)	29	23	24	17	14			
	ファッション専攻	入学定員	80	80	80	80	60	60	40	19 年度、21 年度 定員変更
		入学者数	77	41	55	28	38	31	28	
		入学定員充足率(%)	96	51	69	35	63	52	70	
		収容定員	160	160	160	160	140	120	100	
		在籍者数	127	114	102	77	65	71	60	
		収容定員充足率(%)	79	71	64	48	46	59	60	
	食物栄養専攻	入学定員	120	120	120	120	120	120	100	21 年度定員変更
		入学者数	132	107	121	117	75	77	109	
		入学定員充足率(%)	110	89	101	98	63	64	109	
		収容定員	240	240	240	240	240	240	220	
		在籍者数	250	232	222	237	189	149	186	
		収容定員充足率(%)	104	97	92	99	79	62	85	

児童教育学科	入学定員	240	240	240	240	240	240	130	21年度定員変更
	入学者数	275	242	243	232	170	137	86	
	入学定員充足率(%)	114	101	101	97	71	57	66	
	収容定員	480	480	480	480	480	480	370	
	在籍者数	532	501	485	469	387	293	219	
	収容定員充足率(%)	111	104	101	98	81	61	59	
美術・デザイン学科	入学定員	120	120	120	120	80	80	50	19年度、21年度定員変更
	入学者数	77	64	57	56	41	33	34	
	入学定員充足率(%)	64	53	47	47	51	41	68	
	収容定員	240	240	240	240	200	160	130	
	在籍者数	140	139	120	110	97	74	66	
	収容定員充足率(%)	58	58	50	46	49	46	51	
人間コミュニケーション学科	入学定員	100	100	100	100	募集停止			20年9月廃止 (留年生1名 9月卒業)
	入学者数	46	50	43	35				
	入学定員充足率(%)	46	50	43	35				
	収容定員	200	200	200	200	100			
	在籍者数	83	95	93	74	34	1		
	収容定員充足率(%)	41	47	46	37	34			
専攻科(保育専攻)	入学定員		40	40	100	100	100	100	18年度定員変更
	入学者数		57	53	86	98	97	95	
	入学定員充足率(%)		142	132	86	98	97	95	
	収容定員		40	40	100	100	100	100	
	在籍者数		57	53	86	98	97	95	
	収容定員充足率(%)		142	132	86	98	97	95	
(美術・デザイン専攻)	入学定員	25	25	25	25	25	25	25	
	入学者数	18	14	15	8	13	9	6	
	入学定員充足率(%)	72	56	60	32	52	36	24	
	収容定員	50	50	50	50	50	50	50	
	在籍者数	31	32	28	23	21	21	15	
	収容定員充足率(%)	62	64	56	46	42	42	30	

(5) 平成18年度～20年度に入学した学生（この事項においては通信教育学科の学生を除く）の出身地別人数及び割合（10程度の区分）を下表を例に毎年度5月1日時点で作成して下さい。なお、短期大学の実態に沿って地域を区分して下さい。

出身地別学生数（平成18年度～20年度）

地域	18年度		19年度		20年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
北海道・東北	1	0.3	2	0.6	1	0.4
関東・東海	1	0.3	1	0.3	2	0.7
中部・北陸	2	0.6	2	0.6	2	0.7
京都・滋賀	6	1.9	7	2.2	5	1.8
奈良・和歌山	15	4.6	15	4.6	9	3.2
大阪	59	18.2	59	18.2	45	16.2
兵庫	206	63.7	207	63.7	187	67.3

中国・四国	28	8.6	28	8.6	25	9.0
九州・沖縄	2	0.6	2	0.6	2	0.7
その他	3	0.9	2	0.6	0	0

(6) 法人が設置する他の教育機関の名称、所在地、入学定員、収容定員及び在籍者数をそれぞれ下表を例に平成21年5月1日時点で作成して下さい。

法人が設置する他の教育機関の現状

(平成21年5月1日現在)

教育機関名	所在地	入学定員	収容定員	在籍者数
夙川学院高等学校	西宮市神園町 2-20 0798-74-5061	266	896	861
夙川学院中学校	同上	60	180	138
夙川学院短期大学付属幼稚園	同上	60	180	181
神戸夙川学院大学	神戸市中央区港島 1-3-11 078-940-1154	200	800	678

(7) その他  
 評価員が誤解しないように事前に知ってもらいたい事項や事情があれば、記述して下さい。

特になし

## 《 I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》

### 【建学の精神、教育理念について】

(1) 建学の精神・教育理念を記述し、その意味するところ及び建学の精神・教育理念が生まれた事情や背景をできるだけ簡潔に記述して下さい。

#### ①建学の精神

夙川学院短期大学の建学の精神は、夙川学院の前身である増谷裁縫塾創始者の教育方針と戦後導入したキリスト教精神に基づく人格形成を反映したものであり、「愛と誠実・清新な学識」を教育理念としている。

#### ②教育理念

夙川学院短期大学の教育方針は、学校法人夙川学院のキリスト教精神に基づく人格形成という建学の精神を柱として、「愛と誠実・清新な学識」の教育理念の下で、広い視野と自己表現力ならびに精神的自立につながる教育を行うというものである。具体的には、進展する国際化や情報化に対応し、幅広い知識と豊かな教養、洗練された技能、柔軟な思考力を養う。また、社会に貢献し、自己実現を図るために、個性を生かした専門的能力と表現力を身に付け、さらに、人権を尊重し、精神的に自立した女性を育成する。

#### ③教育理念が生まれた事情や背景

本学の前身は増谷かめが明治 13 年に兵庫県御影に開設した増谷裁縫塾である。塾では増谷流と称された裁縫の技術の伝授を中心とした女子教育が行われた。明治、大正、昭和と長い歴史の中で幾多の変遷を経て発展し、「時代の要請に即応した教養と婦徳の養成」をめざして、裁縫を中心とした手先・技能の訓練を通じた人格形成が行われた。昭和 20 年 6 月と 8 月、太平洋戦争の爆撃により御影及び魚崎の増谷高等女学校校舎が全焼するという大きな打撃を受け、昭和 23 年より西宮市夙川の清流のほとりに校舎を移転し、財団法人（後に学校法人）夙川学院、夙川学院高等学校及び同中学校として新たな出発をした。その際、教育目標が新たに検討され、幅広い教養と豊かな宗教的情操を併せ持つ近代的で知的な女性を育成するためにキリスト教の精神が採用されることになった。一方、創始者増谷かめの愛情と誠実な態度と進取の精神も長い歴史の中で連綿と受け継がれ、キリスト教精神と相まって、昭和 40 年に誕生した夙川学院短期大学の教育理念「愛と誠実・清新な学識」に反映されている。そして、「国際的な視野に立つ日本女性の教育、人間のあり方や世界についての、より広く深い見方・考え方を養うこと、深い宗教的情操の涵養（夙川学院九十年史）」をめざして新たなスタートが切られた。この伝統は現代においても受け継がれ「家庭の内と外の双方において、社会に貢献しうる女性の育成（創立百十周年記念誌）」をめざして教育が続けられている。

◆添付資料「学生手帳 2008」 p. 1

◆添付資料「大学案内 2009」 pp. 53～54

◇参考資料「夙川学院九十年史」「夙川学院百年史」「創立百十周年記念誌」

(2) 現在は建学の精神・教育理念をどのような形や方法で学生や教職員に知らせているかを記述して下さい。

建学の精神や教育理念については、学生便覧や大学案内に掲載しそれを新入生オリエンテーションの際に配布して確認している。また、入学式、卒業式、全学院関係者を対象とした創立記念式典での理事長、学長の祝辞、式辞、講話を通して理解を深めることを定例としている。また教職員については教授会において年度始めの学長の講話などにより継続的に確認されている。

#### **【教育目的、教育目標について】**

- (1) 多くの短期大学が複数の学科等を設置しています。その場合、それぞれの学科等では建学の精神や教育理念から導き出された、より具体的な教育目的や教育目標を掲げているものと思います（例えば、設置認可の際に「設置の趣旨」等で示されたもの等）。ここでは全学的に示された教育目的や教育目標ならびにそれぞれの学科等が設定している具体的な教育目的や教育目標を記述して下さい。

#### **【教養教育】**

本学の教育方針である「広い視野と自己表現ならびに精神的自立につながる教育」を実現するために、学生がアクティブに授業に参加し、自身の学識に自信を持てるように配慮した教育課程を展開し、自己表現力に優れた社会人を育成する。

#### **【家政学科 ファッション専攻】**

短大で学ぶべき教養と実学をともに重視しつつ、知性と感性を磨き、洗練された豊かな総合力をもったファッションライフスタイルを構築できる人材を育成する。また、ファッションを通して表現する能力も養う。

#### **【家政学科 食物栄養専攻 栄養士コース】**

人間にとって「食べる」ということはどういうことかを探求し、食を通して人々の健康を支え幸せにする栄養士を養成する。社会的責任と使命感を自覚し、豊かな人間性と深い専門的知識、加えて確かな技術を身につけることをめざす。

#### **【家政学科 食物栄養専攻 食生活コース】**

食分野における幅広い専門的知識と技術を身につけ、科学的な判断力と実践力を養い、広く食の業界で活躍できる人材を育成する。

#### **【児童教育学科】**

児童期および幼児期の教育の研究を通して、幅広い教養と豊かな人間性の形成をめざす。

- ①初等教育に必要な基本的知識と方法論を学ぶことによって、知的好奇心と鋭い探求心を喚起させる。
- ②音楽・美術・体育などを重視して、豊かな感性と創造力を養い、高い技能を習得させる。
- ③ゼミ方式などを重視して、専門性と自主性を追求する人間を育成する。

#### **【美術・デザイン学科】**

美術やデザインに関する理論や実習・制作を通じて創造性・感性・個性・想像力・忍耐力・実践力・コミュニケーション力を培い、家庭や地域、社会において芸術文化の形成に寄与できる専門的能力・独創性のある表現力を備えた人材を養成する。

絵画コースでは、自己の内面を深く掘り下げ、「対象を見る力」「本質を見抜く力」「表現する力」さらに「ものを考え続ける力」を養う。テキスタイルクラフトコースでは、染

める、織るなど人間の原初的行為を、糸、布、草など繊維との関わりを通じて養い、現代において、生命の繋がりの意味を問い直し、表現できる人材を育成する。イラスト・ビジュアルコースでは、イラストレーションとグラフィックを2つの柱として、デザインが人間生活にどのように貢献しうるかを研究し、その可能性を広げることのできるビジュアルコミュニケーションに秀でた人材を育成する。インテリア住空間コースでは、暮らしの空間デザインに関する思考力、技術力、表現力を養い、それら専門的能力を家庭や社会に還元し貢献できる人材を育成する。

#### **【専攻科（保育専攻）】**

保育士養成の目標を、保育士自身の人間性を高め、子育て支援活動者として地域社会に役立つ「児童ソーシャルワーカー」的要素を含んだ保育士を送り出すこととし、特に障害のある幼児・児童に対する保育、延長・夜間・一時保育等のあらゆる場面にも対応できるような、人間性豊かで高度な専門性をもった保育士を育てる。

- ①保育士の役割を知り、自身の人間性を高める。子どもと適格な関係を築くために、精神的に自立し、保育士という仕事を客観的に見つめられる姿勢を育む。
- ②子育て支援ができる保育士を養成する。今、保育で最も問題が多いとされている家庭を支援していくための知識と能力を身につける。
- ③地域社会で活動できる実践力を育てる。コミュニティをより暮らしやすいものにするための行政関連の知識と地域社会活動のスキルを習得する。

#### **【専攻科（美術・デザイン専攻）】**

本科の教育目標をより総合的に発展させ、学生個々の表現力を向上させることを目標とする。本科でのコース別の学習形態を超えて、テーマごとの取り組みを行うことにより自らのアイデンティティの確立をめざす。また、美術・デザイン学科全体のテーマであるアート・デザインと社会との関わりについて、より具体的かつ主体的に取り組むことによって、自らの専門的スキルを生かしながら、社会の中でアート・デザインの力を実現することのできる人材を養成する。さらに、この専攻科は、学位授与機構認定の専攻科であり、希望者には学位取得に向けてのサポートを行う。

(2) それぞれの学科等の教育目的や教育目標を、現在はどのような方法で学生や教職員に周知し、またどのような方法で学外に公表しているかを記述して下さい。

学科会議において、教育目的・教育目標を教員相互で確認し共有化するとともに、学科長、専攻科主任、教員を通じて兼任教員への周知を図っている。また、学生にはオリエンテーションや各授業、実習指導などを通じて周知徹底している。さらに学外へは、大学案内やホームページを通じて公表している。

◆添付資料「学生手帳 2008」 「履修ガイド 2008」 「大学案内 2009」

◇参考資料「2008年度オリエンテーション行事」

#### **【定期的な点検等について】**

(1) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検が、定期的に行われている場合はその概要を記述して下さい。また点検を行う組織、手続き等につ



いても記述して下さい。

本学の建学の精神や教育の理念は創立以来現在に至るまで基本的には変わっていない。教育の理念については教授会や企画委員会において周年記念行事の際など節目の年を中心に点検・確認を行っている。また、教育目的や教育目標についての点検・見直しは、学科や専攻・コースの改組や改廃の際、教育課程で取得できる新たな資格の導入の際、カリキュラムの見直し・変更の際に行っている。

点検は、学科会議や自己点検・評価運営委員会、自己点検・評価実施委員会、企画委員会などを中心に行われ、教授会で審議・決定され、理事会に報告される。

◇参考資料「平成18年度 自己点検・評価報告書」

「平成19年度 自己点検・評価報告書」

(2) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検及びそれらを学生や教職員に周知する施策等の実施について、理事会または短期大学教授会がどのように関与しているかを記述して下さい。

教育理念の解釈や表現の見直しについては教授会で審議・決定する。教育目的・教育目標の点検・周知の施策等の実施についても学科会議で検討された原案を教授会で審議・決定し、理事会に報告される。

#### 【特記事項について】

(1) この《I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標について努力していることがあれば記述して下さい。また短期大学で独自の使い方や別の語句を使っている場合はその旨記述して下さい。

特になし

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## 《Ⅱ 教育の内容》

### 【教育課程について】

(1) 学科等の現在の教育課程を、下の表を例に作成して下さい。なお学科等に複数の履修コースを設定し、学生に別の教育課程表として提示している場合はコースごとに記載して下さい。

平成21年度に学科改組等を行った場合は、平成20年度の教育課程表を別途作成し、巻末に綴じて下さい。

平成21年度入学生より、家政学科ファッション専攻、食物栄養専攻、児童教育学科、美術・デザイン学科の大幅なカリキュラム変更を行ったため、該当学科の教員配置については、平成21年度開講分のみを記載している。なお、平成20年度入学生の教育課程については、巻末に記載している。

### 教養教育科目 教育課程

(平成21年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位		教員配置			前年度の履修人員 (クラス数)	備考 科・科目等履修生		
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任			兼任	
教養ゼミ	教養ゼミ		○		1				○	○	304 (23)		
クリエイティブ教養	健康と生活	○				2			○		50 (2)		
	異文化の世界	○				2				○	15 (2)		
	こころの科学	○				2				○	58 (2)	※1	
	I T入門	○				2			○		5		
	くらしの行動学	○				2			○		55 (2)		
	歴史再発見	○				2				○	35 (2)		
	数学再発見	○				2				○	24 (2)		
	ジェンダー論	○				2				○	69 (2)		
	人権と平和・環境	○				2					—	平成20、21年度未開講	
	日本国憲法	○				2				○	169 (4)		
	自然の楽しみ方	○				2				○	62 (2)		
	メディアの読み方	○				2				○	59 (2)		
	キャリア開発論	○				2					○	7	
	日本の文化	○				2				○	67 (2)		
	日本語を考える	○				2				○	75 (2)		
芸術・芸能論	○				2				○	36 (2)			
スキルアップ	文章のトレーニング		○			1			○	○	162 (10)		
	英語のトレーニング		○			1			○		20 (2)		
	漢字のトレーニング		○			1				○	179 (4)		
	ディベートのトレーニング		○			1				○	22 (2)		
	コンピュータの基礎		○			1			○		228 (7)	科 (2)	
	コンピュータA		○			1			○	○	211 (8)		
	コンピュータB		○			1			○	○	100 (7)		
	コンピュータC		○			1			○		44 (2)		
外国語	基礎英語 I		○			1			○		287 (12)		
	基礎英語 II		○			1			○	○	271 (12)		
	生活の英語		○			2					5	※2	
	総合英語					2					1	※3	
	総合日本語					2					—	※4	
	日本語 I		○			1				○	—	外国人留学生対象 (平成	
	日本語 II		○			1				○	—	20、21年度該当者なし)	
	中国語 I		○			1				○	16		

	中国語Ⅱ		○		1			○		平成20年度未開講
	ハングルⅠ		○		1			○	27	
	ハングルⅡ		○		1			○	12	
	フランス語Ⅰ		○		1			○	13	
	フランス語Ⅱ		○		1			○	11	
	イタリア語Ⅰ		○		1			○	18	
	イタリア語Ⅱ		○		1			○	8	
スポーツ	生涯スポーツA		○		1			○	67 (4)	
	生涯スポーツB		○		1		○	○	80 (4)	
	生涯スポーツC		○		1			○	113 (4)	
	生涯スポーツD		○		1		○	○	78 (4)	科 (1)
	健康スポーツ		○		1			○	84 (4)	
	レクリエーションスポーツ		○		1			○	85 (4)	
	シーズンスポーツA		○		1		○		15	(ゴルフ)学外実習
	シーズンスポーツB		○		1		○		30	(スホ、スキー)学外実習
	シーズンスポーツC		○		1		○		12	(水泳)学外実習

※1 児童教育学科では開講しない

※2 ピッツァカレッジでの研修参加者ならびに特別奨学金留学プログラム参加者を対象とした科目 (平成21年度未開講)

※3 実用英語技能検定2級以上の合格者を対象に単位認定する科目

※4 日本語能力試験1級合格者を対象に単位認定する科目、外国人留学生対象

### 中二種・栄養教諭科目 教育課程

(平成21年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考 科・科目等履修生
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼担	兼任		
	教師論	○			2			○			22	
	教育原理Ⅰ	○			1			○			22	
	教育原理Ⅱ	○			1			○			9	中二種のみ
	教育心理	○			1					○	21	
	教育行政学	○			1				○		20	科 (1)
	教育課程論	○			1			○			22	
	家庭科教育法	○			2					○	0	中二種(家庭)のみ
	美術科教育法	○			2					○	9	中二種(美術)のみ
	道徳教育研究	○			1				○		22	
	特別活動研究	○			1			○			23	
	教育方法論	○			1			○			22	
	生徒指導論	○			1			○			22	
	進路指導論	○			1			○			9	中二種のみ
	教育相談(カウンセリングを含む)	○			2					○	19	科 (1)
	総合演習		○		2			○			20 (2)	※1 科 (1)
	教育実習事前・事後指導	○			1			○			9	中二種のみ、科 (1)
	教育実習			○	4			○			9	中二種のみ、科 (1)
	栄養教育実習事前・事後指導	○			1					○	10	栄養教諭のみ
	栄養教育実習			○	1					○	10	栄養教諭のみ

※ この表での必修とは、免許取得要件上のことである。

※1 中二種と栄養教諭に分けて開講

### 学校図書館司書教諭科目 教育課程

(平成21年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考 科・科目等履修生
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼担	兼任		
	学校経営と学校図書館	○			2					○	5	
	読書と豊かな人間性	○			2					○	5	

	学校図書館メディアの構成	○			2					○	6	
	学習指導と学校図書館	○			2					○	7	科 (1)
	情報メディアの活用	○			2					○	7	科 (1)

※ この表での必修とは、免許取得要件上のことである。

### 図書館司書科目 教育課程

(平成21年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
甲群	図書館概論	○			2			○			16	
	図書館資料論	○			2			○			16	
	情報サービス概説	○			2			○			17	
	生涯学習概論	○			1					○	16	
	図書館サービス論	○			2					○	18	
	資料組織概説	○			2					○	16	
	資料組織演習		○		2			○			15	
	情報検索演習		○		1			○			15	
	専門資料論	○			1					○	15	
	児童サービス論	○			1					○	17	
	レファレンスサービス演習		○		1					○	15	
図書館経営論	○			1					○	29		
乙群	資料特論	○			1					○	17	
	図書及び図書館史	○			1					○	16	
	コミュニケーション論	○			1						—	平成20、21年度未開講
	図書館特論	○			1						—	平成20、21年度未開講

※ この表での必修とは、資格取得要件上のことである。

### 家政学科 (ファッション専攻) 教育課程

(平成21年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
共通科目	衣生活文化論	○			2			○			31	
	色彩学	○			2			○			32	
	カラーコーディネート演習		○		1			○			33	
	服飾文化史	○			2					○	31	
	ファッション心理	○			2						36	2年次開講
ファッションに関する科目	テキスタイル材料学	○			2			○			31	
	アパレル材料学	○			2			○			27	
	アパレル材料学実験			○	1			○			29	
	被服管理学	○			2						36	2年次開講
	被服管理学実験			○	1						19	2年次開講
デザインに関する科目	ファッションデザイン論	○			2			○			31	
	ファッションデザイン演習Ⅰ		○		1			○			33	
	ファッションデザイン演習Ⅱ		○		2						33	2年次開講
	ファッションドローイングⅠ			○	1					○	31 (2)	
	ファッションドローイングⅡ			○	1					○	17	
	コンピュータデザインの基礎		○		1					○	—	新規科目
	コンピュータデザイン演習Ⅰ		○		2						25 (2)	2年次開講
	コンピュータデザイン演習Ⅱ		○		2						15 (2)	2年次開講
ファッションに関する科目	アパレル造形論	○			2			○			31	
	アパレル造形実習Ⅰ			○	1			○			32 (2)	
	アパレル造形実習Ⅱ			○	1			○			25	
	アパレル造形実習Ⅲ			○	1						25	2年次開講

				○		1				18	2年次開講	
				○		1				6	2年次開講	
			○			1		○		32		
			○			1				27	2年次開講	
			○			1				23 (3)	2年次開講	
			○			1				16 (3)	2年次開講	
				○		1			○	16		
販売・ビジネスに関する科目	ファッション販売論Ⅰ	○				2			○	26		
	ファッション販売論Ⅱ	○				2			○	22		
	ファッション販売技術演習		○			1			○	6		
	消費科学	○				2				32	2年次開講	
	ファッションマーケティング論	○				2			○	26		
	ビジュアルマーチャンダイジング			○			1				8	2年次開講
	アパレル企画論	○					2				34	2年次開講
コーディネートに関する科目	スタイリスト演習		○			1				9	2年次開講	
	ブライダルコーディネート論	○				2				35	2年次開講	
	メイク&ネイル実習			○		1			○		新規科目	
	アクセサリー実習			○		1		○		14		
	子ども服とファッショングッズ演習		○				1			○	新規科目	
環境と健康に関する科目	被服衛生学	○				2				34	2年次開講	
	癒しとエコロジー	○				2					新規科目、2年次開講	
	健康とスポーツ衣料	○				2					新規科目、2年次開講	
	香りとフラワーアレンジメント		○				1				新規科目、2年次開講	
総合科目	ファッション総合演習		○			2				9	2年次開講	
	ファッション総合制作			○		2				32 (2)	2年次開講	

家政学科（食物栄養専攻栄養士コース） 教育課程（平成21年5月1日現在）

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員 (クラス数)	備考 科・科目等履修生	
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任			
健康 社会と	社会福祉概論	○				2					48 (2)	2年次開講	
	公衆衛生学	○				2					48 (2)	2年次開講	
人体の構造と機能	からだの仕組みと働きⅠ	○				2		○		○	61 (2)		
	からだの仕組みと働きⅡ	○				2		○			59 (2)		
	からだの仕組みと働きⅢ	○				2		○			57 (2)		
	生化学実験			○		1		○			57 (2)		
	解剖生理学実験			○		1		○			47 (2)		
	病気の成り立ち	○					2		○			48 (2)	
	食品と衛生	食品学Ⅰ	○			2					○	60 (2)	科 (1)
食品学Ⅱ		○			2					○	59 (2)		
食品衛生学		○			2					○	58 (2)		
食品加工学		○				2				○	59 (2)		
食品加工学実習				○		1		○			57 (2)		
食品の評価・鑑別論		○				2					—	新規科目、2年次開講	
食品衛生学実験				○		1					48 (2)	2年次開講	
食品学実験				○		1					46 (2)	2年次開講	
栄養と健康	基礎栄養学	○			2			○			60 (2)		
	健康管理概論	○			2					○	59 (2)		
	応用栄養学	○			2					○	57 (2)		
	臨床栄養学	○			2						48 (2)	2年次開講	
	栄養学実習			○		1					48 (2)	2年次開講	
	臨床栄養学実習			○		1					48 (2)	2年次開講	

栄養の指導	栄養教育論Ⅰ	○			2		○		59 (2)	
	栄養教育論Ⅱ	○			2		○		57 (2)	
	公衆栄養学	○			2				48 (2)	2年次開講
	栄養教育論実習Ⅰ		○		1				48 (2)	2年次開講
	栄養教育論実習Ⅱ		○		1				48 (2)	2年次開講
	学校栄養教育法	○			2			○	15	
給食の運営・調理技術・献立作成	調理学	○			2		○		57 (2)	2年次開講
	献立作成基礎演習Ⅰ		○		1			○	—	新規科目
	献立作成基礎演習Ⅱ		○		1			○	—	新規科目
	調理科学及び実験	○		○	2			○	—	新規科目
	調理学実習Ⅰ			○	2			○	57 (2)	
	調理学実習Ⅱ			○	1				48 (2)	
	調理学実習Ⅲ			○	1				—	新規科目、2年次開講
	給食計画論	○			2			○	59 (2)	
	給食実務論	○			2				48 (2)	2年次開講
	給食管理校内実習			○	2				47 (2)	2年次開講
	給食管理校外実習			○	1				48	学外実習
	製パン実習			○	1			○		※1 新規科目
	製菓実習Ⅰ			○	1				21	2年次開講
	基礎及び食生活領域 拡充科目	栄養士基礎演習		○		1			○	—
ビジネス能力検定演習Ⅰ			○		1			○	—	新規科目
食品の流通と消費		○			2				55	※ 2年次開講
フードスペシャリスト論		○			2				40	※ 2年次開講
フードコーディネーター論		○			2				45	※ 2年次開講
食生活論		○			2				—	※ 新規科目
食の発展演習			○		1				—	新規科目、2年次開講

※ 食生活コースと合併

家政学科（食物栄養専攻食生活コース） 教育課程（平成21年5月1日現在）

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位		教員配置			前年度の履修人員 (クラス数)	備考	
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任			兼任
食の専門領域	食生活と健康	食文化論	○				2			○	—	新規科目
		フードスペシャリスト論	○				2				40	※ 2年次開講
		フードコーディネーター論	○				2				45	※ 2年次開講
		食生活論	○				2				19	※ 2年次開講
		健康の管理	○				2			○	12	
		基礎栄養学	○			2			○		18	
		ライフステージ栄養	○				2				18	2年次開講
		ウェルネス栄養	○				2				16	2年次開講
		ライフステージ栄養実習			○		1				12	2年次開講
		食の発展演習		○			1				—	新規科目、2年次開講
	フードマネジメント	フードマネジメント論	○				2			○	—	新規科目
		フードサービス論	○				2			○	—	新規科目
		消費者科学	○				2			○	—	新規科目
		食品の流通と消費	○				2				55	※ 2年次開講
		フードビジネス関連法規論	○				2				—	新規科目、2年次開講
		フードサービス実習Ⅰ			○		1			○	—	新規科目
		フードサービス実習Ⅱ			○		1				—	新規科目、2年次開講
		ビジネス能力検定演習Ⅰ		○			1			○	—	新規科目
ビジネス能力検定演習Ⅱ		○			1			○	—	新規科目		

調理技術・料飲実務	調理学	○		2				○	18	
	献立作成基礎演習Ⅰ		○		1			○	—	新規科目
	調理科学及び実験	○	○	2					—	新規科目、2年次開講
	調理学実習Ⅰ		○	2				○	18	
	調理学実習Ⅱ		○	1					19	2年次開講
	調理学実習Ⅲ		○	1					—	新規科目、2年次開講
	料飲実務Ⅰ	○		2				○	—	新規科目
	料飲実務Ⅱ	○		2				○	—	新規科目
	製パン実習		○	1				○	—	※1、新規科目
	製菓実習Ⅰ		○	1					16	2年次開講
	製菓実習Ⅱ		○	1					15	2年次開講
	カフェ実習		○	2					—	新規科目、2年次開講
	食品と衛生	食品衛生学	○		2				○	18
食品加工学		○		2				○	19	
食品学Ⅰ		○		2				○	20	
食品学Ⅱ		○		2				○	16	
食品の評価・鑑別論		○		2					—	新規科目、2年次開講
食品加工学実習			○	1					—	2年次開講、平成20年度未開講
食品学実験			○	1					4	2年次開講
生活の科学領域	家庭経営及び家族関係	○		2				○	9	
	被服学	○		2			○		6	
	生活経済学	○		2				○	17	
	保育学	○		2					9	2年次開講
	住居学	○		2					17	2年次開講
	アパレル造形実習		○	1			○		8	

※ 栄養士コースと合併

### 児童教育学科 教育課程

(平成21年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考 科・科目等履修生
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
	教職総論	○			2			○			136 (4)	
	教育原理	○			2			○			135 (4)	
	教育心理学	○			2			○			131 (5)	
	教育行政学	○			2						154 (2)	2年次開講
	教育課程論	○			2				○		135 (4)	
	教育方法論	○			2				○		139 (4)	
	国語科教育法	○			2			○			23	
	社会科教育法	○			2				○		4	科 (1)
	算数科教育法	○			2				○		14	科 (1)
	理科教育法	○			2			○			26	科 (1)
	生活科教育法	○			2						19	2年次開講、科 (1)
	家庭科教育法	○			2						14	2年次開講、科 (1)
	音楽科教育法	○			2						24	2年次開講、科 (1)
	図画工作科教育法		○		2				○		22	科 (1)
	体育科教育法		○		2						19	2年次開講、科 (1)
	道徳教育研究	○			2						31	2年次開講
	特別活動研究	○			2						31	2年次開講
	保育内容・健康Ⅰ		○		1			○			137 (6)	科 (1)
	保育内容・健康Ⅱ		○		1						126 (5)	2年次開講、科 (1)
	保育内容・人間関係Ⅰ		○		1				○		151 (5)	
	保育内容・人間関係Ⅱ		○		1						151 (5)	2年次開講

保育内容・環境Ⅰ		○		1		○		○	135 (5)	
保育内容・環境Ⅱ		○		1		○		○	123 (5)	
保育内容・言葉Ⅰ		○		1		○			136 (5)	
保育内容・言葉Ⅱ		○		1					133 (5)	2年次開講
保育内容・身体表現Ⅰ		○		1					134 (6)	2年次開講
保育内容・身体表現Ⅱ		○		1					136 (6)	2年次開講
保育内容・造形表現Ⅰ			○	1		○		○	125 (6)	
保育内容・造形表現Ⅱ			○	1		○		○	135 (6)	
保育内容・音楽表現		○		1					—	新規科目、2年次開講
生徒指導論（進路指導を含む）	○			2				○	30	科（1）
教育相談（カウンセリングを含む）	○			2		○			31	
幼児理解の理論及び方法（教育相談を含む）	○			2		○			79 (3)	
教職実践演習		○		2					—	新規科目、2年次開講
総合演習	○			2		○	○	○	153 (10)	
教育実習事前・事後指導（小学校） （幼稚園）		○		1		○			12	科（1）
		○				○			111 (5)	科（3）
教育実習（小学校） （幼稚園）			○	4		○			28	2年次開講、科（1）
			○			○			114	1年次開講、科（3）
国語	○			2		○			130 (4)	
算数	○			2					19 (2)	2年次開講
生活	○			2					34 (3)	2年次開講
社会	○			2					7	2年次開講
理科	○			2		○			8	
家庭	○			2					6	2年次開講
音楽			○	1		○		○	153 (19)	科（1）
図工演習		○		2					152 (6)	2年次開講
体育実技			○	1				○	137 (6)	科（2）
社会福祉概論	○			2					125 (3)	2年次開講
小児保健Ⅰ	○			2					—	新規科目、2年次開講
小児保健Ⅱ	○			2					—	新規科目、2年次開講
児童福祉論	○			2					107 (3)	2年次開講
保育原理Ⅰ	○			2					126 (3)	2年次開講
保育原理Ⅱ	○			2					127 (4)	2年次開講
養護原理	○			2					130 (3)	2年次開講
発達心理学	○			2				○	135 (4)	
障害児保育		○		1					—	新規科目、2年次開講
小児の食生活		○		2					133 (6)	2年次開講
児童とあそび		○		2					41 (2)	2年次開講
幼児美術			○	2					19 (3)	2年次開講
児童文化		○		2					55 (2)	2年次開講
体育理論	○			1				○	64 (3)	
保育入門	○			2		○			108 (2)	
音楽基礎			○	1		○			—	新規科目
音楽表現演習		○		1					—	新規科目、2年次開講
カウンセリング特論	○			2					109 (5)	2年次開講
児童英語		○		2					—	新規科目、2年次開講
子どもと環境		○		2					—	平成20、21年度未開講
レクリエーション概論	○			2				○	—	新規科目
レクリエーション実技			○	1		○		○	—	新規科目
レクリエーション現場実習			○	1		○			—	新規科目
アウトドア実習			○	1		○			—	新規科目
栄養学	○			2					—	新規科目、2年次開講



地域子育て支援		○		2					—	新規科目、2年次開講
ボランティア活動			○	1					—	2年次開講

美術・デザイン学科 教育課程

(平成21年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼担	兼任		
	西洋美術史	○			2					○	33	
	東洋美術史	○			2					○	37	
	造形の心理	○			2					○	33	
	色彩学	○			2					○	33	
	グラフィックデザイン論	○			2			○			22	
	光プロデュース	○			2					○	—	新規科目
	マンガとアート	○			2						—	新規科目、2年次開講
	デザイン史	○			2						33	2年次開講
	デザイン情報論	○			2					○	34	
	民族芸術論	○			2					○	25	
	現代美術論	○			2					○	33	
	構造と造形	○			2					○	23	
	インテリアエレメント	○			2					○	—	隔年開講
	建築施工	○			2					○	—	隔年開講
	建築設備計画	○			2						30	隔年開講、2年次開講
	建築法規	○			2						31	隔年開講、2年次開講
	建築構造	○			2						27	隔年開講、2年次開講
	建築設計製図		○		1					○	—	新規科目 隔年開講
	グラフィックデザイン I		○		1					○	—	新規科目
	イラストレーション		○		1					○	—	新規科目
	光・環境造形		○		1			○			—	新規科目
	家具・インテリアデザイン		○		1					○	—	新規科目
	具象絵画・写実表現		○		1			○			—	新規科目
	抽象絵画・複合表現		○		1					○	—	新規科目
	テキスタイルクラフト		○		1			○			—	新規科目
	繊維の芸術		○		1			○			—	新規科目
	C G 演習		○		2					○	—	新規科目
	キャラクターデザイン		○		2					○	—	新規科目
	平面造形		○		2					○	—	新規科目
	グラフィックデザイン II		○		2					○	—	新規科目
	染織		○		2			○			—	新規科目
	インテリアデザイン		○		2					○	—	新規科目
	絵画		○		2			○			—	新規科目
	立体造形		○		2					○	18 (2)	
	CAD		○		2					○	—	新規科目
	アート&デザインプロジェクト		○		2			○			—	新規科目
	環境テキスタイル		○		2			○			—	新規科目、2年次開講
	色彩イメージ		○		1						—	新規科目、2年次開講
	ビジュアルデザイン			○	1						—	新規科目、2年次開講
	環境造形			○	1						—	新規科目、2年次開講
	イラスト・アニメーション			○	1						—	新規科目、2年次開講
	タペストリー			○	1						—	新規科目、2年次開講
	イラスト・絵本			○	1						—	新規科目、2年次開講
	映像表現			○	1			○			19	
	現代絵画			○	1						—	新規科目、2年次開講

家具デザイン		○	1					—	新規科目、2年次開講
住空間デザイン		○	1					—	新規科目、2年次開講
ファイバーアート・ミクストメディア		○	1					—	新規科目、2年次開講
身体と表現A		○	1					—	新規科目、2年次開講
身体と表現B		○	1					—	新規科目、2年次開講
光のデザイン		○	1					—	新規科目、2年次開講
空間演出		○	1					—	新規科目、2年次開講
表現研究A		○	1					—	新規科目、2年次開講
表現研究B		○	1					—	新規科目、2年次開講
素材研究A		○	1					—	新規科目、2年次開講
素材研究B		○	1					—	新規科目、2年次開講
卒業制作ゼミ		○	2					—	新規科目、2年次開講

専攻科（保育専攻） 教育課程

（平成21年5月1日現在）

科目の 種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の 履修人員 (クラス数)	備考 科・科目等履修生
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
	保育理論	○			2			○			96	
	児童福祉行政	○				2				○	72 (2)	
	精神保健	○				2				○	96	
	家族援助の理論と技術	○				2				○	96 (2)	
	臨床心理学	○				2		○			62 (2)	
	障害児の心理	○				2		○			89	
	小児保健Ⅰ	○				2				○	96	
	小児保健Ⅱ	○				2				○	96	
	小児保健実習			○		1				○	96 (4)	
	生活援助技術Ⅰ		○			1				○	33	
	生活援助技術Ⅱ		○			1				○	4	
	乳児保育		○			2				○	95 (2)	
	障害児保育		○			1				○	96 (2)	
	こどもと造形		○			2		○			40	
	養護の実際		○			1				○	96 (2)	
	保育実習指導			○		1		2			94 (2)	科 (2)
	保育実習ⅠA			○		2		○			94	科 (1)
	保育実習ⅠB			○		2		○			94	科 (2)
	保育実習Ⅱ			○		2		○			91	科 (1)
	保育実習Ⅲ			○		2		○			3	
	身体表現及び即興演奏法		○			2				○	40 (2)	
	幼児音楽特別研究		○			2				○	29	
	保育音楽療育演習		○			2				○	29	
	青年心理学	○				2				○	43	
	精神医学	○				2				○	33	
	保育音楽療育概論	○				2		○			29	
	音楽と心理	○				2				○	9	
	障害者福祉論	○				2				○	47	
	保育音楽療育実習			○		3		○			28	
	ボランティア			○		1		○			3	
	修了研究及び論文					3			12		96	認定科目

専攻科（美術・デザイン専攻） 教育課程 (平成21年5月1日現在)

科目の 種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の 履修人員 (クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
美術制作に関する科目	研究制作Ⅰ				3			○		○	9	認定科目
	修了制作演習		○		3			○			12	
	専攻実習Ⅰ			○		1		○			9	
	専攻演習Ⅰ		○			2		○			9	
	研究演習Ⅰ		○			2		○			9	
	デジタルアート演習Ⅰ		○			2				○	9	
	専攻実習Ⅱ			○		1		○			9	
	研究演習Ⅱ		○			2				○	9	
	デジタルアート演習Ⅱ		○			2				○	9	
	色彩計画演習		○			2				○	21	
	表現研究演習Ⅰ		○			2		○			9	
	専攻実習Ⅲ			○		1				○	12	
	研究演習Ⅲ		○			2		○			12	
	表現研究演習Ⅱ		○			2		○			12	
	映像デザイン演習		○			2				○	—	隔年開講
	研究制作Ⅱ					3		○		○	12	認定科目
専攻実習Ⅳ			○		1				○	12		
専攻演習Ⅱ		○			2		○			12		
美術理論・美術史に関する科目	ゲッサン特論	○				2					20	隔年開講、2年次開講
	創造特論	○				2					21	隔年開講、2年次開講
	デザイン史特論	○				2					21	隔年開講、2年次開講
	サウンドアート論	○				2					21	隔年開講、2年次開講
	西洋美術史特論	○				2					17	隔年開講、2年次開講
	デザイン特論	○				2					21	隔年開講、2年次開講
	現代芸術論A	○				2					21	隔年開講、2年次開講
	東洋美術史特論	○				2				○	—	隔年開講
	環境デザイン論	○				2				○	—	隔年開講
	映画映像論	○				2				○	—	隔年開講
	現代芸術論B	○				2		○			—	隔年開講
専門関連科目	実用英語Ⅰ		○			1			○		9	
	実用英語Ⅱ		○			1			○		9	
	論文演習Ⅰ		○			1		○			9	
	サブカルチャー論	○				2					—	平成20、21年度未開講
	色彩文化論	○				2				○	—	隔年開講
	論文演習Ⅱ		○			1			○		6	
	民族文化論	○				2				○	—	隔年開講
	情報文化論	○				2				○	—	隔年開講

(2) 教養教育の取り組み、専門教育の内容、授業形態のバランス、必修・選択のバランス、専任教員の配置等について特に強調したいことがあれば記述して下さい。

**【教養教育】**

「教養ゼミ」は、本学の特色ある授業であり、教養教育科目のうち唯一の必修科目である。テーマ決定、資料収集、口頭発表、小論文作成にわたる自主的な取り組みは、学生にとって意義深い経験であり、特に「教養ゼミ合評会」は、学生の意欲を喚起し、担当教員の研鑽の場ともなっている。また、年度末に刊行する「『教養ゼミ』研究録」により、新入生は先輩の成果から刺激を受けている。

「クリエイティブ教養」群は、大学生・社会人として必要な基礎学力・思考力を習得するための幅広い分野にわたる授業科目である。学生の就職活動を支援するために置いた「キャリア開発論」では、キャリアビジョンの明確化を図っている。

「スキルアップ」群は、基礎学力を育成し、就職後の即戦力となるスキルを習得することを目的とした科目群であり、コンピュータ科目に加え、各種のトレーニング科目を選択受講することにより、各自の目指す検定試験にも対応できるよう配慮している。

「外国語」群では、英、中、韓、仏、伊語の5ヵ国語を開講し、このうち、英語科目を卒業必修としている。なお、外国人留学生には日本語科目を開講している。

「スポーツ」群は、テニス、バレーボール、バドミントン、卓球、レクリエーションスポーツ、エアロビクスダンスと多岐にわたり開講し、学生は、1年間で最低2種目は選択できるようになっている。また、シーズンスポーツとして、夏にゴルフ、春にスキー・スノーボード・水泳を開講している。

◇参考資料 『『教養ゼミ』研究録』

#### **[家政学科 ファッション専攻]**

ファッションを学ぶために必要な分野を「共通」「ファッションサイエンス」「デザイン」「ファッション造形」「販売・ビジネス」「コーディネート」「環境と健康」「総合」と分類し、多岐にわたって履修できる科目を設けている。授業は、講義18科目、演習15科目、実験2科目、実習12科目と、バランスがよくなるよう心掛けている。また、1年次に必修科目を多く設置して基礎固めをし、段階が進むごとに選択科目を増やして、各自の興味に添うよう努めている。専任教員の配置は、教授2名、准教授1名、講師1名で、構成バランスはよいと思われる。

#### **[家政学科 食物栄養専攻 栄養士コース]**

栄養士コースの教育課程は「栄養士法施行規則」第9条を遵守している。加えて以下の2点を本学の特徴としている。

- ①「給食管理の能力を有する栄養士の養成」を2年制栄養士養成施設の重要な目標ととらえ、献立作成能力と調理技術が身につく科目を系統的に配置し、さらに、給食管理校内実習を2回生の1年間にわたって開講している。
- ②食品学に強い栄養士を養成するために、食品加工学など食品に関わる科目を所定の単位数以上に開講して、フードスペシャリストの資格取得が可能である。

授業形態は、分野ごとに概ね講義から実験・実習という流れで構成されており、バランスはとれていると考える。専任教員は、「栄養士法施行規則」に定められた人員以上を配置している。現在、教授2名、准教授2名、講師3名、助教1名、助手2名である。

#### **[家政学科 食物栄養専攻 食生活コース]**

食生活、栄養と健康、調理および食品と衛生の各分野について、基礎から応用までの知識と技術を習得するための科目を設けている。これに加えて、平成21年度からの教育課程では、フードサービスとフードマネージメントに関わる科目を開講する。また、服飾や住居などの科目を配置することで、生活科学についての幅広い知識と技術が習得でき、中学校教諭二種免許状（家庭）も取得可能である。授業形態は、概ね講義から実験・実習という流れで構成されており、授業形態のバランスはとれていると考える。専任教員は、栄養士コースと共通で配置している。

### 〔児童教育学科、専攻科（保育専攻）〕

児童教育学科の専門教育科目は、本科・専攻科を通じて免許、資格取得のための科目で構成される。小学校・幼稚園教諭の免許取得のために文部科学省の教育職員免許法施行規則に定められた科目、保育士資格取得のために厚生労働省の児童福祉法施行規則に定められた科目、保育音楽療育士の資格をとるために全国大学実務協会が定めた科目に対応している。本学は本科2年、専攻科1年の3年制の保育士養成課程として認可を受けている。従って、児童教育学科では小学校・幼稚園教諭免許の教育課程と保育士養成課程が併存している。幼稚園教諭免許を取得した学生が、専攻科に進学した上で保育実習を行う。1年次に幼稚園観察実習（1週間）、2年次に教育実習（幼稚園3週間、小学校4週間）、専攻科で保育実習（3回、計6週間）と保育音楽療育実習を実施しており、実習時間を徐々に増やすことで着実に実力を養成することができる体制を整えている。

授業形態は、講義、演習、実習・実技など多岐にわたる授業形態を設置し、上記の免許・資格に対応して、バランスよく配置している。必修・選択のバランスも同様である。

専任教員の配置については、全専任教員16名のうち、教授5名、准教授8名、講師3名でありバランスはとれていると考える。

### 〔美術・デザイン学科〕

美術、デザインの歴史及び造形概念を学ぶ講義を必修として1年次に設け、各コースの基礎から応用までを習得する実習を、2年間を通じて配当している。1年次前期は、4コースの実習を学生全員が体験し、ガイダンス期間とするとともに、学生が共通して重要なコンピュータの授業を全員が受講できるように配置した。

授業は、講義・実習・演習をバランスよく配置し、演習は1、2回生合同開講し学生が必要と感じたときに受講できるよう配慮している。必修・選択についてもバランスよく配置し、資格取得機会を広げ、就職にも有効な科目を配置している。

学科では、社会の変化、新たな要請に対応するため、教育力が蓄積されたこれまでのシステムを継承しつつ、コース制を廃止し、配置科目を学生が自由選択し専門分野をその組み合わせで構築できる新カリキュラムを平成21年度より実施する。

専任教員は、教授5名、准教授1名、講師1名が配置されている。

#### ◆添付資料「大学案内2009」

### 〔専攻科（美術・デザイン専攻）〕

科目の種別として、「美術制作に関する科目」「美術理論・美術史に関する科目」「専門関連科目」を配置している。「美術制作に関する科目」は、半期科目として演習を12科目、実習を4科目配置し、授業時間外科目の「研究制作Ⅰ」「研究制作Ⅱ」を通年科目として配置している。「美術理論・美術史に関する科目」においては、アート・デザインに関して、本科より発展させた内容の特論を中心に11科目配置している。「専門関連科目」では、外国語関連、論文関連等の科目を8科目設置している。専任教員の配置は、本科と共通である。

#### ◆添付資料「履修ガイド2008」「履修ガイド2009」

(3) 当該教育課程を履修することによって取得が可能な免許・資格を示して下さい。また教育課程に関係なく免許・資格等を取得する機会を設けている場合は、その免許・資格名とどのような履修方法であるかを記述して下さい。

### 各学科の取得可能な免許・資格

学科・専攻	免許・資格	備考
家政学科ファッション専攻	2級衣料管理士資格	協会委託の試験有
家政学科食物栄養専攻	栄養士免許証<栄養士コースのみ> 栄養教諭二種免許状<栄養士コースのみ> 中学校教諭二種免許状(家庭)<食生活コースのみ> フードスペシャリスト資格 レストランサービス技能士(3級)<平成21年度入学生より。食生活コースのみ>	協会実施の資格認定試験有 資格認定試験有
児童教育学科	小学校教諭二種免許状<初等教育コースのみ> 幼稚園教諭二種免許状 ピアヘルパー レクリエーションインストラクター、社会福祉主事任用資格<平成21年度入学生より>	協会実施の資格認定試験有
美術・デザイン学科	中学校教諭二種免許状(美術) 商業施設士補	
全学共通	図書館司書資格 学校図書館司書教諭資格<中二種、小二種取得者のみ>	
専攻科(保育専攻)	保育士資格 保育音楽療育士 社会福祉主事任用資格	
専攻科(美術・デザイン専攻)	学士(芸術学)	大学評価・学位授与機構

### 各学科の教育課程に関係なく取得できる資格等(支援をしている資格等を含む)

学科・専攻	資格等
家政学科ファッション専攻	ファッション販売能力検定 繊維製品品質管理士(TES)
家政学科食物栄養専攻	管理栄養士 ビジネス能力検定
児童教育学科	音楽技能検定<平成19年度入学生まで>
美術・デザイン学科	インテリアコーディネーター カラーコーディネーター
全学共通	日本語ワープロ技能検定 サービス接遇実務検定 CGクリエイター検定(*) 画像処理エンジニア検定(*)
	情報処理士技能検定 日本漢字能力検定 WEBデザイナー検定(*) マルチメディア検定(*)
	秘書技能検定 簿記検定 CGエンジニア検定(*)
	<(*)平成21年度入学生より>

上表の資格、検定については、各学科の関係科目の授業中や学生支援課での掲示等で学生に周知させ、希望者を募って、学生の希望が叶えられるよう支援している。

◆添付資料「大学案内2009」

(4) 選択科目を学生が適切に判断して選択できるように、学生便覧やガイダンス等どのように指導しているか、また学生が希望する選択科目を履修しやすいように、時間割上どのような工夫を施しているか等について記述して下さい。

選択科目であっても、免許、資格取得に必要な科目が限定されているため、オリエンテーション時に各自の目的に応じた選択の仕方を指導するとともに、履修ガイド(講義概要を含む)を有効に活用し指導している。また、専門教育科目における選択科目は、できる

限り単独開講にしたり、教養教育科目などで複数科目を同時に開講する場合は、同じ組み合わせを複数箇所開講するなど、学生が履修しやすいよう時間割を工夫している。

◇参考資料「平成20年度時間割」「平成21年度時間割」

(5) 卒業要件単位数及びその他の卒業要件（必修単位の修得、学生納付金の納付等）を示して下さい。また学生にはどのような方法で卒業要件を周知させているかを記述して下さい。

本科の卒業要件単位数は、いずれの学科とも教養教育科目の11単位、専門教育科目47単位を含む62単位であり、その内訳は下表のとおりである。本学では、62単位を充たすための残り4単位を教養教育科目からでも、専門教育科目からでも自由に選択できることを特色とし、学生は、興味のある科目を卒業要件科目として受講することが可能となっている。また、学生納付金が納付されていることが条件であることは言うまでもない。

これらの卒業要件・修了要件については、履修ガイドを資料として4月オリエンテーション時に詳細にわたり説明し、周知させている。

#### 本科の卒業要件単位数

学科・専攻	教養教育科目（全学科共通）	必修科目の単位数	選択科目の単位数
家政学科ファッション専攻	最低修得単位数：11単位(教養ゼミを含む) ・教養ゼミ(1単位) ・「クリエイティブ教養」分野より2単位 ・「スキルアップ」分野より、 トレーニング科目を含み2単位 ・「外国語」分野より2単位 ・「スポーツ」分野より1単位	17単位	30単位
家政学科食物栄養専攻		14単位	33単位
児童教育学科		4単位	43単位
美術・デザイン学科		18単位	29単位

\* 上記の単位数以外に、教養教育科目、専門教育科目のいずれかから4単位が必要

#### 専攻科の修了要件単位数

専攻	必修科目の単位数	選択科目の単位数
専攻科(保育専攻)	5単位	25単位
専攻科(美術・デザイン専攻)	6単位	40単位

◆添付資料「履修ガイド2008」「履修ガイド2009」

(6) 教育課程の見直し、改善について、学科等の現状を記述して下さい。なおこの項はできれば学科等の責任者（学科長、学科主任等。以下「学科長等」という）が記述して下さい。

#### [教養教育]

教育方針を基に、教育課程の見直しを行ない、平成18年度から、「教養ゼミ」「クリエイティブ教養」「スキルアップ」「外国語」「スポーツ」の5科目群に分かれる全49科目を設けた。特に「教養ゼミ」と「スキルアップ」の2群は、「自己表現」「精神的自立」を重視する科目として、本学の特色ある科目といえる。

#### [家政学科 ファッション専攻]

平成21年度から受験生の関心、学生の学習実態、進路状況を鑑み、ファッション造形や販売、ビジネス、環境や健康など多様な科目が履修できる現行のカリキュラムに変更す

る。入学当初は実習科目に不安を持っている学生も、学習を進めるうち次の段階を希望する者や、総合科目の制作と演習課題の両方を成し遂げようとする者など、意欲的に取り組もうとする学生が増えたように思われる。

今後も特別講座や学外授業を増やし、本カリキュラムと連動させながら、有効な方法の検討を重ねたい。

#### **【家政学科 食物栄養専攻 栄養士コース】**

平成 21 年度入学生より教育課程を改め、栄養士に求められるより実践的な技能を身につけるために、食品、献立作成および調理技術の各分野の時間数を増加する。また、専門資格の取得を支援したり、学外講師による特別授業を実施するために、「ビジネス能力検定演習」や「食の発展演習」を専門教育の一環として開講して、学生の学業意欲が高まる環境を目指している。さらに、基礎学力を充実させるべく「栄養士基礎演習」を行っている。

#### **【家政学科 食物栄養専攻 食生活コース】**

栄養士コースと同様に平成 21 年度入学生より教育課程を改め、「フードビジネス業界で即戦力となる人材養成」を目標に、調理からサービスまでの専門知識と技術を習得し、さらにフードマネージメント力が身につく内容とする。具体的には、食の専門資格として国家技能検定「レストランサービス技能士」3 級取得が可能となる科目などを開講する。

#### **【児童教育学科】**

平成 21 年度より、1 回生時は幼保共通科目、2 回生からは保育士専門科目を履修するように開講時期を見直した。また、より専門的な知識や技能を高めるため「音楽表現」、「児童英語」、「栄養学」等の科目を新たに設け、カリキュラムの見直しをするとともに、レクリエーション・インストラクター資格取得のための科目を設けて選択の幅を広げる。

#### **【美術・デザイン学科】**

平成 19 年度より教育課程を一部見直し、1 回生前期で全分野を体験するガイダンス期間を取り入れた。さらに、平成 21 年度より新カリキュラムを全面的に実施する。特色ある教育方法を有する美術・デザイン学科像を作ること、就職領域の幅を広げること等の目的を実現するためにコース制を廃止して、学生の専門分野の選択を 4 期のステップの中で行えるようにする。

#### **【専攻科（保育専攻）】**

本学は、平成 14 年度に 3 年制の保育士養成課程として認可を受けている。従って、保育士関係の授業科目は本科 1 年次から順次開講されている。本科 2 年と専攻科 1 年、計 3 年間にわたるカリキュラムの一貫性と専門性をより深めるために、平成 21 年度本科入学生よりカリキュラムを変更する。本科で開講していた「社会福祉援助技術」や「器楽活用法」の科目を専攻科に移行し、新規に「子どもと音楽」の科目を設けて学生の選択の幅を広げる。

#### **【専攻科（美術・デザイン専攻）】**

平成 19 年度より専門分野ごとに開講していた実習、演習科目を、原則 1 クラス編成とし、講義は、1、2 回生合併で原則隔年開講とした。一方で学生に不可欠である各専門の拠点を「研究制作」とし、個別指導を徹底して、ジャンルの壁を越えて、専門性を深める教育理念を具現しようとしている。



**【授業内容・教育方法について】**

(1) シラバスあるいは講義要項を作成・配布する際に配慮していることや学生への周知方法等を記述して下さい。

講義概要は、履修ガイドの開講科目表に合わせた順序で目次を作成し、1科目1ページの装丁となっている。内容項目を統一することで、学生が比較しやすいように工夫もしているため、オリエンテーション時での科目選択の上でも、学生は十分に活用しているようである。平成20年度は、「履修ガイド」として、カリキュラム表と講義概要とを1冊にまとめたが、より見易くするために、平成21年度は、「履修ガイド」と「講義概要」を分冊にする。

(2) 学生の履修態度、学業への意欲等について、学科長等はどのように把握し受け止めているか記述して下さい。

**[家政学科 ファッション専攻]**

学生自身が選択した科目は、意欲を持って受講できている。しかし、必修科目では学生間の興味の相違や学力格差は存在する。教員は授業内容、進度などを工夫し、学生の意欲を引き出せるよう努力しており、学生の履修態度、学業への意欲は概ね良好である。

**[家政学科 食物栄養専攻 栄養士コース]**

学業への意欲が低下しているとの声もあるが、栄養士コースでは、資格取得のために意欲的に勉学に取り組み、2年間で目覚ましい成果をあげる学生も少なくない。栄養士資格必修の授業はすべて40名クラスの開講であり、教員と学生との距離が近く、私語も少ないため、授業に積極的に参加して集中できる環境となっている。

**[家政学科 食物栄養専攻 食生活コース]**

これまで、勉学への熱意を維持するのが困難な学生も見受けられたが、個別のきめ細かな指導により、学生のポテンシャルを引き出すよう努め、各自に合った免許・資格を取得するよう勧めることなどにより、本学での2年間で有意義に勉学できるよう方向付けている。平成21年度からは、学生が社会で活躍する意志を持って学べることを主眼に教育課程を見直し、より実践的な科目を多く配置しているため、学業意欲の向上がさらに期待できると考えている。

**[児童教育学科、専攻科（保育専攻）]**

「先生になりたい」「教員免許をとりたい」という意欲は概ね全学生に共通している。保育士資格を取得するために、さらに専攻科に進学したいと考えている学生も多い。他方、漠然とした思いを抱いている段階の学生もみられる。しかし、教育実習等、子どもと関わる機会を通して学生の目的意識は次第に高められている。シラバスや目的意識を高めるための印刷物を配布して、さらに学生の意識の向上を促すなど、学科全体で取り組んでいる。

また、専攻科の学生は入学選考を経て専攻科へ進学しているため、目的意識が高く学業への意欲の高い学生が多い。

**[美術・デザイン学科]**

学生の目的意識を明確にするために、1回生前期では、ガイダンス期間として、全コース

の実習を選択した上で、志望コースを決定できるようにしている。後期より各コースに分かれて専門を深く学習するカリキュラムとしているため、学生の履修態度、学業への意欲は高いものとなっている。特に、学習成果を学内・学外において発表し客観的評価を得られる機会を増やしたことにより、学生たちは学業への意欲を増進するだけでなく達成感が獲得できるようになったと実感している。

#### 【専攻科（美術・デザイン専攻）】

本科の卒業後、さらに専攻科に進んで学びたいという意欲のもとに進学しているだけに、授業内はもとより学外におけるイベントへの積極的参加など、学生の意欲と活動は活発である。「環境アートフェスティバル」「冬至祭・光のメタファー展」「アートハンドプロジェクト」などが代表例である。それらの取り組みは、個人の課題制作との両立で、ハードなスケジュールとはなっているが、確実に学生個々の精神力も含めた表現力の増進につながっていると実感している。

#### 【教育改善への努力について】

(1) 学生による授業評価を行っている場合はその概要を記述して下さい。行っていない場合にはその事由等を記述して下さい。

授業評価は平成 11 年度より全学的に実施しているが、当初教員がアンケートを配布・回収し個人的に処理していたものを、平成 18 年度より FD 委員会が中心となり、専門業者に依頼し、より厳密で正確な集計結果を得られるものにした。

授業評価アンケートは全クラス、全授業科目を対象に各学期末に実施している。アンケートの設問は 15 項目で 4 段階評価とし、これに教員が自由に設定できる 3 項目を加えた。アンケート用紙の裏面には自由記述ができるようにし、解答レベルが 2 または 1 の評価を 5 つ以上選択した場合は、必ずその理由を書くことを義務付け、解答への責任を求めることとした。教員は授業評価結果に基づき、FD 委員会が編集・発行する「学生による授業評価活用ハンドブック」を参照しながら、担当授業科目の授業方法の改善策等をコメントする。そのコメントは、授業評価結果とともに学内の Web 上で公開され、学生は学内の LAN から自由に閲覧できる。

◇ 参考資料「授業評価アンケート用紙」「評価結果まとめ」

(2) 短期大学全体の授業改善（ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動等）への組織的な取り組み状況について記述して下さい。また短期大学の責任者（以下「学長等」という）は授業改善の現状について、どのように受け止めているかを記述して下さい。

平成 17 年 7 月に発足した FD 委員会では、短期大学全体の授業改善への取り組みを担っている。これまでの主な活動は、学生による授業評価アンケートの実施・運営を中心に、学生・教員への授業改善の啓発、学内 FD 研修会の実施、学外の研修会への委員派遣、機関紙「FD Today」の発行、関連図書の購入などである。

また、「学生による授業評価活用ハンドブック」を発行し、各評価項目の目的・ねらいと評価結果から想定される具体例、授業改善のヒントを示すことによって、教員の FD に

対する意識を喚起することができたと考える。学生は、教員個々の授業評価結果と授業方法の改善策等を記したコメントを、学内の LAN から自由に閲覧し、授業評価への参加意識の高まりを見ることができる。そのため客観性、公平性、迅速性などの点において格段の進歩があったと評価する。

平成 20 年度には「夙川学院短期大学教育実践研究紀要」を発行し、これからの FD 活動に新たな方向性を示すことになった。

今後 FD 委員会を中心に、授業評価結果をより有効活用するための方法論の検討・策定、学内 FD 研修会の充実、授業公開など、より広汎な授業改善に向けての取り組みを模索して行く用意がある。

◇参考資料「ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」

「学生による授業評価活用ハンドブック」 「FD Today」

「夙川学院短期大学教育実践研究紀要」

(3) 担当授業について教員間の意思の疎通や協力体制、または兼任教員との意思の疎通について、学科長等は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

#### **【教養教育】**

平成 20 年度より、教養教育科の組織を廃し、各学科から選出された委員および教務課長からなる委員会組織に改め、全学科が一つとなって学生の教養教育に取り組むことになった。会議は必要に応じて開催し、メール等によっても情報交換を行っている。旧教養教育科の教員を中心に、新たなメンバーにより、多面的な視点での運営が行われている。

#### **【家政学科 ファッション専攻】**

専任教員の間では専攻会議等で情報を共有している。毎年 3 月に専任教員と兼任教員との打合わせ会を催し、専攻の現状、今年度の学生状況、次年度の授業内容ならびに事務連絡について内容確認を実施している。専任、兼任ともに教員間の意思の疎通や協力体制はうまくいっていると考える。

#### **【家政学科 食物栄養専攻 栄養士コース・食生活コース】**

公式な教務関係の会議においても、学科内打合せにおいても、意思の疎通や協力体制を円滑に維持することは困難ではなく、従来から全教員は協力的であると考え。兼任教員との意思の疎通については、必要に応じて率直に話し合える雰囲気であり、年度始めには兼任教員と授業に関する打ち合わせ会を開いている。

#### **【児童教育学科、専攻科（保育専攻）】**

児童教育学科および専攻科では、専任教員の専門分野は多岐にわたっているが、学科会議等の場を通して情報を共有するようしており、教員間の意思疎通や協力体制は良好であると考え。また、兼任教員との意思疎通については、実技科目の分野ではその分野の専任教員が、その他の科目では学科長や専攻主任が中心となり、必要に応じて話し合いを持ちながら協力して授業を進めている。さらに、授業担当者が一堂に会する懇談会を 3 月末に持ち、教育上の諸問題について率直な意見を交換している。

#### **【美術・デザイン学科、専攻科（美術・デザイン専攻）】**

美術・デザイン学科では、定例として月に一回、必要な時には随時、学科会議において

教育内容の検討を行い、意思の疎通を図っている。特に「進級制作展」、学外の「卒業・修了制作」「野外アートフェスティバル」「冬至祭・光のメタファー展」など教育成果の発表や社会活動に際し、専任教員を中心に兼任教員と密に相談し協力し合っている。また、専任、兼任、実習助手、学生を問わず、常に相談できるよう研究室を開放しているため、自然発生的な意思疎通が可能である。こうした日常の交流により、学生の成長や問題を確認しつつ教育を進めている。

**【特記事項について】**

(1) この《Ⅱ教育の内容》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば、他の教育機関との単位互換制度、習熟度別授業、情報・メディア教育、国際理解教育、海外研修制度、インターンシップ、女子教育の伝統継承と発展への取り組み等、学科等において努力していることがあれば記述して下さい。

**【教養教育】**

① 西宮市大学交流センター・共通単位講座

西宮市の10大学・短期大学が協力して、「西宮市大学交流センター・共通単位講座」を開講しており、本学は次の2科目を提供している。学生が修得した単位は教養教育科目の単位として認定している。

- ・「植物と文化」 片山雅男
- ・「阪神間の芸術文化とライフスタイル」 河内厚郎

西宮市大学交流センター・共通単位講座（平成20年度）

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			提供大学	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由		
クリエイティブ教養	地球環境問題	○				2		大手前大学	
	詩の心に遊ぶ	○				2			
	「名作」を読む（世界文学篇）	○				2		関西学院大学 （聖和短期大学）	
	「名作」を読む（日本文学篇）	○				2			
	ベンチャービジネスへの勧め（1）	○				2		甲子園短期大学	
	ベンチャービジネスへの勧め（2）	○				2			
	情報と社会	○				2		甲南大学	
	何しろオペラを知りましょう！	○				2		神戸女学院大学	
	芸術をめぐる西宮市民群像	○				2			
	近代フランスの歴史と文化	○				2			
	植物と文化	○				2		夙川学院短期大学	
	阪神間の芸術文化とライフスタイル	○				2			
	グローバル・ヘルス	○				2		兵庫医科大学	
	ヘルス デザイン	○				2			
	健康の科学	○				2		武庫川女子大学 同短期大学部	
情報メディア論	○				2				
フランス芸術活動の現在	○				2				

② 放送大学科目

放送大学と単位互換協定を結んでいる。放送大学で開講される科目のうち次の「放送大学科目（平成20年度）」を修得すると教養教育科目の単位として認定している。なお、単位を修得した場合は、放送大学の授業料を本学の負担として学生に全額返金している。

放送大学科目（平成20年度）

科目の 種別	授業科目名	授業形態			単位			備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	
ク リ エ イ テ ィ ブ 教 養	人類の歴史・地球の現在（'07）					2		放送授業
	音楽理論の基礎（'07）					2		放送授業
	博物館概論（'07）					2		放送授業
	社会と知的財産（'08）					2		放送授業
	社会福祉入門（'08）					2		放送授業
	初歩からの数学（'08）					2		放送授業
	変化する地球環境（'04）					2		放送授業
	惑星地球の進化（'07）					2		放送授業
	生命と人生の倫理（'05）					2		放送授業
	人文地理学（'08）					2		放送授業
	問題発見と解決の技法（'08）					2		放送授業
	住まい学入門（'07）					2		放送授業
	現代世界の結婚と家族（'08）					2		放送授業
	エネルギー学の基礎（'07）					2		放送授業
	アジアと漢字の歴史（'09）					2		放送授業
情報と社会（'06）					2		放送授業	
外国語	日本語基礎A（'06）					2		放送授業

**【家政学科 ファッション専攻】**

①コンテストへの参加

（社）日本デザイン文化協会主催のファッションデザインコンテストには「ファッションデザイン演習Ⅱ」の課題として20年以上取り組み、数々の賞を獲得した。その他、平成16年からキッズドリームウェアファッションショーにも毎年数名の有志の参加者があり、受賞している者もいる。

②卒業制作ファッションショーの実施

卒業年次の学生の作品発表として、外部施設において卒業制作ファッションショーを、毎年実施している。

③学外授業の実施

1年次に神戸ファッション美術館において美術館見学と服飾講座の受講、2年次に総合科目の授業の一環として、宝塚歌劇団やスポーツシューズ企業等を訪れ、実際着用されている衣装やシューズの製作現場を見学している。また、「ブライダルコーディネート論」では、神戸市内のホテルでのブライダルフェアの見学など、神戸という地の利を生かし、学習効果を高めている。

◇参考資料「NDKファッションデザインコンテスト」「キッズドリームウェアファッションショー」「卒業制作ファッションショー」各プログラム(一部抜粋版)や作品写真等

**【家政学科 食物栄養専攻】**

①学外食育実習の実施

平成17年に『食育基本法』が施行されたが、栄養士は、国民の健康増進のために、今後さらに食育の中心的な役割を担っていかなければならない職業である。そこで、実践的な職業教育の一環として、「栄養教育論実習Ⅱ」の中で、夙川学院短期大学附属幼稚園に出向き、幼児を対象に、食育カルタや紙芝居、エプロンシアターなどの視聴覚教材を用いた学

外食育実習に取り組んでいる。結果として、学生は子ども達に対する食育の必要性や重要性に気づき、栄養士としての責務を自覚する学習の場となっている。

#### ②学内インターン実習の実施

栄養士の主要業務である栄養指導は、多くの症例に基づいて、個別の栄養アセスメントを行い、栄養ケアプランを立案していかなければならない。しかし、通常の机上の講義だけではなかなか栄養指導業務の実践力を養うことは難しい。そこで、「栄養教育論実習Ⅱ」では、学内の児童教育学科の学生を対象に食事調査を行い、栄養士コースの学生が各々の担当学生を対象に、個別の対面栄養相談、携帯電話のメールや写真メールを使った栄養相談を行う学内インターン実習を行っている。この実習を通して、栄養士業務への職業理解をより深め、卒業後の自信を培う効果を上げている。児童教育の学生にとっても、自分の食生活を見直し、将来の食育の担い手になる自覚を持つ機会となっている。

#### ③保護者への授業理解に対する取り組み

栄養士コースの「給食管理校内実習」では、日頃から学内の学生・教職員を対象に、100食を超える大量調理を行っている。そこで、2年次後期の実習の中で、日頃の授業成果を保護者に理解していただく機会として、実習の参観、試食会を行っている。保護者の方からは、本学での学びを理解できた、学生が成長した姿を見ることができるといったなどの意見が寄せられている。

#### 〔児童教育学科〕

①「ボランティア活動」という授業科目を設置し、一定時間のボランティア活動に対し単位を与えている。地域の小学校における特別支援教育活動への参加や子育て支援センター、子育て支援サークル、幼稚園や保育園など教育・保育現場での活動、老人ホームや障害者（児）更生施設などの福祉施設での活動など幅広く実施している。

②長年にわたり、音楽・美術・体育に関わる実技能力の向上に力を注いでいる。毎年行われる「クリスタル・コンサート」（音楽分野）、「卒展」（美術分野）、「オペレッタ合同発表会」（体育分野）等、分野ごとに学習成果発表の機会を設け、保育・教育の実践的指導力向上に努めている。また、年度初めに、2回生が、音・美・体三分野に関わる一年間の学習成果を新入生に発表する「学外オリエンテーション」を実施している。

③「音楽（ピアノ）」の授業は、短大入学以前の鍵盤楽器経験等を考慮し、個人レッスンの形態で、一人ひとりの学生の実態に応じた指導を展開している。

④「保育入門」などの科目を設定し、夙川学院高校と本学が連携して保育者志望の高校生を対象に長期的な視野に立って資質向上を支援している。

⑤「教育実習」に関しては、「教育実習事前事後指導」を1回生から2年間開講し、1回生の観察実習と2回生の本実習のための事前事後の指導をきめ細かく行っている。また、教育実習は夙川学院短期大学付属幼稚園とも連携を図り実施されている。

⑥子どもと関わる機会の少ない現代の学生に対して実地研修の機会をより多く提供できるように、大阪府私立幼稚園連盟主催のインターンシップ事業に参加している。

⑦専攻科（保育専攻）では「修了研究及び論文」を必修科目として設置している。指導教員の下で、各自が定めた研究テーマに関して1年間研究や制作を進め、その成果を論文、作品、演奏などの形で発表しており、大きな達成感を得ることにつながっている。

◇参考資料「クリスタルコンサート」「卒展」「オペレッタ合同発表会」各プログラム

『修了研究及び論文』研究録

[美術・デザイン学科]

①卒業・修了制作展を毎年、学外の展示会場にて開催している。本科の卒業制作と専攻科の修了制作の合同での展示となるが、相互に刺激を共有できる有意義なものとなっている。また、この卒業制作展は、平成21年1月で第41回の開催を果たしたが、その内容の充実度と多様な個性は、内外から高く評価されている。

②毎年、冬至前後の夜、本学科生と専攻科生が主体となって企画・運営する展覧会「冬至祭・光のメタファー展」が開催される。ジャンルの異なる学生たちが「光が何を喩えようとしているか」をテーマに光の作品を制作、発表し、平成20年度で14回目を迎えた。暗闇に学生作品が浮き上がる幻想的な風景は、学外から観覧に訪れた人たちに好評を得、テレビ、新聞などメディアでも報道されている。内容は展示だけでなく、ポスター・DMの制作、音楽とのコラボレーション、子どもたちへ提供するワークショップ、来訪者へ提供する冬至にちなんだスープなど、ホスピタリティに満ちた企画となっている。地域自治組織の協力を得、大学全体と連動しながら、学習成果を地域に公開して交流する本イベントは、学生が達成感を得る貴重な機会となっている。

③西宮市と西宮芸術文化協会が平成2年から実施している「野外アートフェスティバル」に、積極的に参加している。西宮市役所前の公園を移動遊園地に見立て、木材、竹材、フェルトなどを素材に、子どものための作品を制作し、展示するものである。幼稚園児、小学生をはじめ様々な住民が多く訪れ、作品を触り、入り込む参加型の展覧会として定着してきた。学生が、行政・地域住民・子どもたちとの交流を通じて、喜びを感じ合い、学びの意義を確認する絶好の機会となっている。

④平成13年から「ATC 関西学生卒業作品展」へ参加を続けている。この作品展は、関西圏の学生300人以上が卒業制作をアジアトレードセンターに展示する合同展覧会であり、多様な交流をおおして、作品や制作姿勢を評価し合う機会である。これまで本学科に対し、作品だけでなく展示空間にも高い関心が寄せられ、大きな賞賛を得ている。

◇参考資料「卒業・修了制作展作品集」「冬至祭・光のメタファー展資料」

「野外アートフェスティバル資料」「ATC 関西学生卒業作品展資料」

(2) 特別の事由や事情があり、この《Ⅱ教育の内容》の評価項目や評価の観点求められることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

### 《Ⅲ 教育の実施体制》

#### 【教員組織について】

(1) 現在の専任教員数を下表を例にして作成して下さい。

専任教員等の人数 (平成21年5月1日現在)

学科・専攻名	専任教員数					設置基準で定める教員数		助手	[ハ]	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	[イ]	[ロ]			
家政 学科	ファッション専攻	2	1	1		4	4(2)	—		
	食物栄養専攻	2	2	3	1	8	4(2)	—	2	
児童教育学科		5	8	3		16	10(4)	—		
美術・デザイン学科		5	1	1		7	5(2)	—		
(小計)		14	12	8	1	35	23(10)	—	2	
[ロ]			1	1		2	—	5		
(計)		14	13	9	1	37	23(10)	5	2	

[イ] 学科の種類に応じて定める教員数

[ロ] 短大全体の入学定員に応じて定める教員数(上記2名の他は、各学科の余剰人数を充てる)

[ハ] 助手以外の教育研究活動に直接従事する教職員(事務職員を除く) ( )は、教授数

\*上表には、学長は含んでいない。

(2) 短期大学の教員にふさわしい資格と資質の有無については、訪問調査の際に、教員の個人調書(①履歴書、②研究業績書、③担当授業科目名、④その他)を提示していただきます。したがって個人調書をこの報告書に添付する必要はありません。

◇参考資料「教員の個人調書」

(3) 教員の採用、昇任が適切に行われている状況を記述して下さい。その際、選考基準等を示した規程等があれば訪問調査の際にご準備をお願いいたします。

教員の選考を的確に行うための基準や選考方法をより明確にするため委員会を立ち上げ、平成14年に教員選考規程の大幅な見直しと教員選考規程細則を新たに制定した。平成20年にその見直しをおこない、現在に至っている。

①採用については、公募を原則としてインターネットや関係大学への案内などで幅広く募集する。当該学科で選ばれた候補者は、人事委員会の承認を得て、3名の審査委員により審査基準に基づき1ヶ月審査され、教授会で採否が審議される。教授会で決定後理事長の承認を得る。

②昇任については、昇任の基準となるポイントと在職年数が決められており、本人の自己推薦による手続きをとる。候補者は人事委員会の承認を得て、3名の審査委員により「教育業績」、「研究業績」、「学内管理・運営活動」、「地域・社会活動」にわたる審査基準に基づき、1ヶ月審査され、教授会で適否が審査される。

◇参考資料「教員選考規程」「教員選考規程細則」

(4) 教員の年齢構成について下表を例に現状を記載して下さい。

50歳代から60歳代の教員が7割近くを占めており、今後の課題として20歳代から30歳代の若手教員の増員が望まれる。



専任教員の年齢構成表

(平成 21 年 4 月 1 日現在)

	年齢ごとの専任教員数(助教以上)						平均年齢	助手等の平均年齢	備考
	70 以上	60～69	50～59	40～49	30～39	29 以下			
合計人数 (37 名)	-	9	16	5	6	1	51 歳	28.5 歳	
割合	-	24%	43%	14%	16%	3%			

\*上表には、学長は含んでいない。

(5) 専任教員は、(a) 授業、(b) 研究、(c) 学生指導、(d) その他教育研究上の業務に対して意欲的に取り組んでいるか。また上記 4 つの分野の業務取り組み状況にはどのような傾向があるかを学長等が記述して下さい。その際、過去 3 ヶ年(平成 18 年度～20 年度)程度の教員の担当コマ数(担当コマ基準、平均担当コマ数等を含む)、教員の研究業績、教員が参画する学生指導の業務、教員が参画するその他の教育研究上の業務概要を示して下さい。

(a) 本学の教員の授業担当コマ数は平均年 12 コマである。平成 18 年度の授業の平均コマ数については学科間で多少差が見られたが(人間コミュニケーション学科 11.6 コマから美術・デザイン学科 13.3 コマ)、平成 20 年度は、家政学科 12.1 コマ、児童教育学科 12.8 コマ、美術・デザイン学科 12.6 コマとなっている。児童教育学科、美術・デザイン学科における「学修の成果に対して単位を授与する科目(認定科目)」の指導は、コマ数外での対応となっている。教員は半期毎に実施される授業評価を真摯に受け止め、学生が理解しやすい授業の方法を工夫し、学習の到達目標を達成するため意欲的に取り組んでいる。

(b) 研究については VI. (1) (p. 79) にあるように教員間でやや偏りがあるが、教員は熱意を持って研究に取り組んでいる。研究活動は教育の基礎となるものであるから、個人研究だけではなく、共同研究や教材研究も含め、活性化を図っていきたい。

(c) 学生指導については、各学科所属の教員がクラスアドバイザーを担当し、学生生活や学習等きめ細やかな指導を行っている。また、学生支援部での業務にも参画し、大学祭での指導や就職についての面談、履歴書の書き方指導を実施している。

(d) 教員の多くが社会的活動に関わっている。地域社会に向けた公開講座や生涯学習授業などに積極的に取り組んでいる。

(6) 助手、副手、補助職員、技術職員等を十分に、あるいは可能な限り配置しているか、また助手等が教育研究活動等において適切に機能しているかを学長等が現状を記述して下さい。

家政学科食物栄養専攻に助手 3 名を配置している。また、3 名の助手は教育研究活動等において適切に機能している。

教務系職員については家政学科に 3 名(うち 1 名は非常勤)、児童教育学科に 3 名(うち 2 名は非常勤)、美術・デザイン学科に 3 名(うち 2 名は非常勤)、人間コミュニケーション学科に 1 名(平成 19 年度まで)が配属されている。

(7) 2 以上の校地(校地が隣接はしていないものの極めて近接しており、学生に対する日常的な学習相談、進路指導、厚生補導等が支障なく行うことができる体制にある

場合など例外的な場合以外)において教育研究を行う場合においては、それぞれの校地の専任教員の配置状況について記述して下さい。

特になし

**【教育環境について】**

(1) 校舎・校地一覧表を下の表を例に作成して下さい。

校舎について、まず短期大学設置基準第31条（通信教育学科を置く短期大学の場合には短期大学通信教育設置基準第10条を含む）の規定による短期大学全体の基準面積（基準面積を算出する計算式を含む）を示して下さい。また校舎を法人が設置する他の学校等と共用している場合は、他の学校の校舎の基準面積も記載して下さい。さらに校舎の配置図、用途（室名）、専用・共用の別を示した各階の図面を準備しておいて下さい。なお主要校舎については訪問調査の際にご案内いただきます。

校舎・校地一覧

(平成21年5月1日現在)

区分	収容定員	校舎			校地		
		基準面積	現有面積	差異	基準面積	現有面積	差異
夙川学院短期大学	820人	7,300㎡	24,730㎡	17,430㎡	8,200㎡	41,323㎡	33,123㎡
計	820人	7,300㎡	24,730㎡	17,430㎡	8,200㎡	41,323㎡	33,123㎡

(a) 校舎について

設置基準第31条の規定による夙川学院短期大学の基準面積算出は、家政関係学生収容定員320名、教育学・保育学関係収容定員370名、美術関係収容定員130名に基礎を置いている。

① 家政関係 収容定員350人までの面積 3,100㎡

② 教育学・保育学関係 収容定員400人までの面積 2,550㎡

③ 美術関係 収容定員200人までの面積 1,650㎡

校舎の基準面積は、①～③の合計7,300㎡であるが、本学の総校舎面積は24,730㎡であり、基準を充分満たしている。

(b) 校地について

校地の基準面積は（収容定員×10㎡）で表せるが本学学生の収容定員は、820名である。したがって、本学に求められる校地基準面積は820人×10㎡＝8,200㎡となる。本学は41,323㎡を有しており、基準を充分満たしている。

◇参考資料「校舎・校地に関する図面」

(2) 校地・校舎について、他の学校等との共有部分がある場合は、教育研究上の支障が生じないように、どのような措置をとっているかについても記述して下さい。

校地・校舎について他の学校等との共有部分はない。

(3) 教育研究に使用する情報機器を設置するパソコン室、マルチメディア室、学内LAN、LL教室及び学生自習室の整備状況（機種、台数等を含む）について記述して下さい。またその使用状況（使用頻度等）についても記述して下さい。なお、2以上の校地において教育研究を行う場合においては、校地ごとに記述して下さい。

## 情報機器一覧

### ①整備状況

(平成 20 年度)

2-101 I. アパレル CAD	1. アパレルカッティングプロッター、2. 大型デジタイザー	各 1 台
	3. P-DIGI2 一式 4. SDS-ONE 一式・モニター	5 台
2-101 II. CG	1. Apple Power Mac G4-733<M8705J/A>、2. Apple Studio Display<M2454>	各 16 台
	3. Air Mac ベースステーション、4. Epson プリンタシステム <LP8800CCS>	各 1 台
	5. ロジテック MO<LMOF636HUB>	16 台
	6. ロジテック外付け HD<LMD-ED250FU2>、7. ロジテック外付け DVD<LDR-MA18FU2/WN>	各 1 台
	8. 教師用ネットワーク対応マルチメディア・パーソナルコンピューター式 (端末機)	2 台
3-304	1. 記録用光ディスク (MO) 一式	44 台
10-201、10-203 サーバ関係	1. Active directory サーバ	2 台
	2. プリントサーバ 3. リバースプロシキサーバ	各 1 台
	4. メール学内 Web-サーバ 5. ファイルサーバ、6. Web メールサーバ	各 1 台
10-201	1. 教育用パーソナルコンピューター	48 台
	2. 教師用パーソナルコンピューター	3 台
	3. ネットワーク対応 A3 カラープリンタ	1 台
	4. ネットワーク対応 A4 モノクロプリンタ	4 台
	5. 120 インチ液晶プロジェクター	1 台
	6. 中間モニター用 17 インチ液晶ディスプレイ	14 台
	7. 教材提示装置 (書画カメラ、スキャナ、VHS/DVD プレーヤ)	1 式
10-203	1. 教育用パーソナルコンピューター	44 台
	2. 教師用パーソナルコンピューター	2 台
	3. ネットワーク対応 A3 カラープリンタ	1 台
	4. ネットワーク対応 A4 モノクロプリンタ	4 台
	5. 120 インチ液晶プロジェクター	1 台
	6. 中間モニター用 17 インチ液晶ディスプレイ	12 台
	7. 教材提示装置 (書画カメラ、スキャナ、VHS/DVD プレーヤ)	1 式
11-202、 11-203CG	1. 教育用ネットワーク対応マルチメディア・パーソナルコンピューター端末機	22 台
	2. 教師用ネットワーク対応マルチメディア・パーソナルコンピューター端末機	1 台
	3. ネットワーク対応インクジェットプリンタ	5 台
	4. 教育用 A4 対応スキャナ	11 台
	5. 教師用 A3 対応スキャナ、6. 教材提示用モニター	各 1 台
11-203CG 演習 室	1. 教育用ネットワーク対応マルチメディア・パーソナルコンピューター端末機	32 台
	2. 教師用ネットワーク対応マルチメディア・パーソナルコンピューター端末機	1 台
	3. ネットワーク対応インクジェットプリンタ	7 台
	4. 教育用 A4 対応スキャナ	16 台
	5. 教師用 A3 対応スキャナ、6. 教材提示用モニター	各 1 台
	7. システム管理、認証用サーバ	2 台
	8. データバックアップ用ハードディスク、9. サーバ用バックアップ電源	各 1 台
	10. 大判プリンター	2 台

### ②使用状況

演習室	OS	台数	使用状況	稼働率	利用可能時間
2-101	MAC	16 台	6 コマ	30%	授業以外での使用不可
10-201	Windows	48 台	14 コマ	70%	8 時～19 時
10-203	Windows	44 台	9 コマ	45%	8 時～19 時
11-202	MAC	22 台	10 コマ	50%	8 時～19 時
11-203	MAC	32 台	6 コマ	30%	8 時～19 時
ホワイトホール (1 号館 1 F)	Windows	7 台	-	-	8 時～19 時半
クリスタルホール (11 号館 1 F)	Windows	3 台	-	-	8 時～17 時

(4) 授業用の機器・備品の整備状況及び整備システム（管理の状況、整備計画等を含む）について、その概要を記述して下さい。2以上の校地において教育研究を行う場合においては、校地ごとに記述して下さい。なお機器・備品の整備状況については訪問調査の際に校舎等をご案内いただく際にご説明いただきます。

授業用の機器備品は各学科の中で、授業に支障が起きないように点検している。また、購入については万一の故障等に備え、計画的に購入している。専門機器の利用については、教員が事前に学生に操作指導を行い、使用後は収納時の点検と故障等の確認も行っている。

教室に常設している機器

教室	黒板	マイク	VTR 提示装置	暗幕スクリーン	OHP	OHC	DVD	パソコン	ピアノ	移動机	テーブデッキ
1-310	白		モニター&液晶プロジェクター	○	○	○	○	○			
1-401	緑	○	液晶プロジェクター	○					○		
1-402	緑	○	モニター	○		○	○				
1-404	白		モニター	○	○	○	○				
1-406	緑		モニター				○				
1-407	緑		モニター				○			○	
1-408	白		モニター&液晶プロジェクター	○	○	○	○	○			
1-409	緑		モニター				○			○	
1-411	緑		モニター							○	
3-201	緑	○	モニター	○	○	○	○				
3-202	緑	○	モニター	○	○	○	○				
3-302	白	○	モニター&液晶プロジェクター	○	○	○	○	○			
8号館(1F~3F)	-	-	-						○ 43台		
11-301	緑		モニター				○				○
11-302	緑		モニター				○				○
11-303	白		モニター				○				
11-304	白		モニター				○				
11-305	緑		モニター								
11-401	緑		モニター	○		○	○				
12-305	緑		モニター								
12-401	緑		モニター								
12-402	緑	○	モニター	○			○				

(5) 校地、校舎の安全性、障害者への対応、運動場、体育館、学生の休息場所等について記述して下さい。訪問調査の際にご案内いただき、ご説明願います。

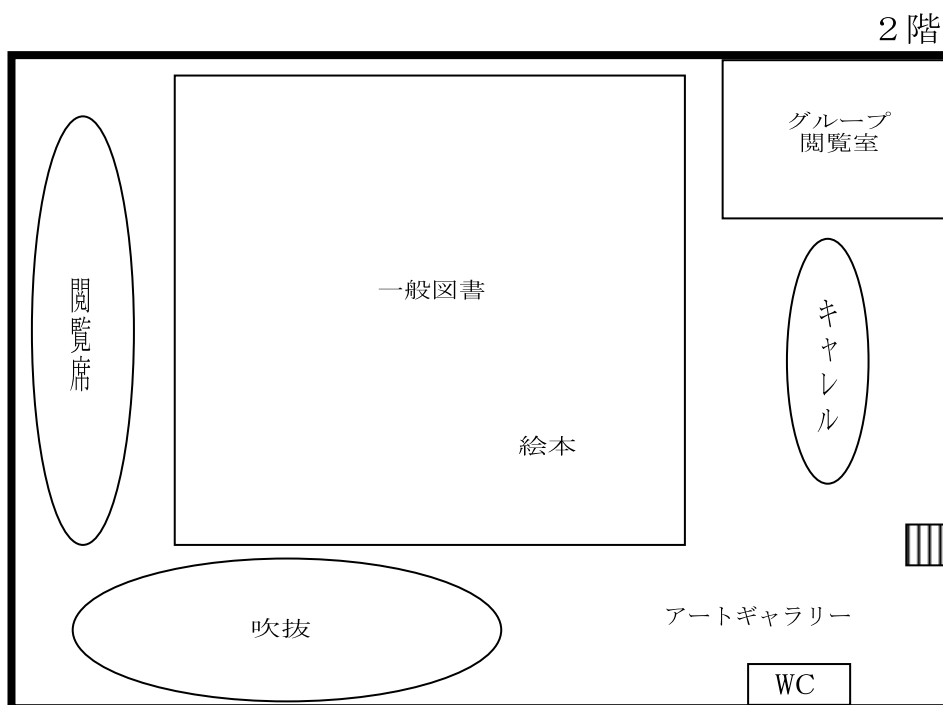
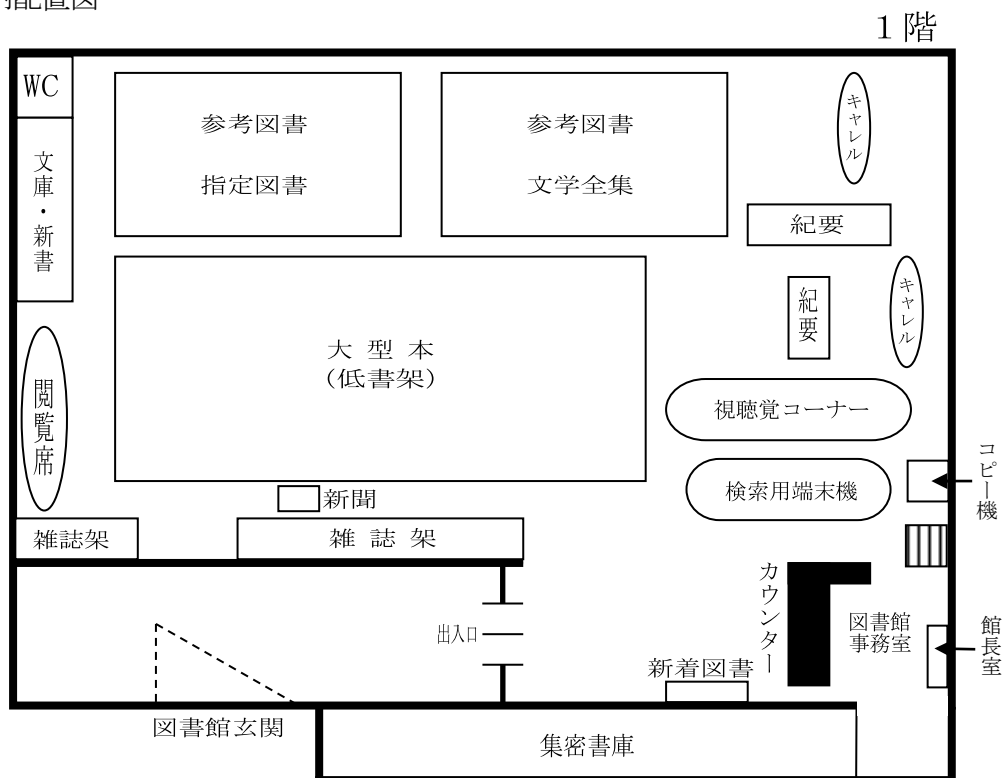
校地、校舎は、整備された環境を維持するため、常に保守点検を実施するとともに、計画的に維持管理に努めている。危険箇所には注意喚起の表示板や夜間照明を設置、屋外階段・通路には滑り止め、手摺、屋根を設置し安全性を確保している。視覚障害者のために照明器具の照度を上げ、動線上に黄色の敷きブロックを設置している。運動場及びテニスコート2面と体育館を完備し、授業に有効的に活用している。休憩場所としては、ホワイトホール、クリスタルホール及び学生食堂等がある。購買部や自動販売機を設置し、学生が快適に過ごせる憩いの場となるよう配慮している。また、学内中庭にベンチを置き、学生が季節を問わず楽しく歓談できるスペースも確保している。今後、環境の整備を一層充

実らせて行きたい。

**【図書館・学習資源センター等（以下「図書館等」という）について】**

(1) 図書館等の概要について、全体の配置図、座席数、年間図書館予算、購入図書等選定システム、図書等廃棄システム、司書数、情報化の進捗状況等を含めて記述して下さい。なお図書館等には訪問調査の際にご案内いただきます。

①館内配置図



## ②施設・座席数

昭和 63 年 4 月、12 号館（図書館・美術棟）学舎竣工と同時に現在の図書館が開館した。12 号館の 1 階と 2 階部分を図書館とし、楕円形のエントランスの吹抜に通じる 2 階部分には、アートギャラリーを併設し、逐次学生の作品を展示し憩いの空間となっている。1 階入り口は図書資料無断持ち出し防止の BDS 装置を設置している。平成 7 年の震災で転倒した高書架は、上部を連結させて耐震構造とした。

所蔵資料は一般図書、大型本（低書架）、参考図書、指定図書、文学全集、新書・文庫ごとに配架し、新聞、雑誌、紀要などもゆとりあるスペースのなかで閲覧することができる。本学図書館のコレクションとして、幼児教育研究所が選定した絵本（約 12、800 冊）を独自の分類基準により整理し、配架している。

・延床面積	1、954 m <sup>2</sup>
・図書収容能力	97、200 冊
・座席数	148 席
	うち 閲覧席 102 席／キャレルデスク 16 席／ブラウジングコーナー 18 席／グループ閲覧室（1 室）12 席
・視聴覚コーナー	24 席

## ③図書館予算

### 過去 3 年間の年間図書館予算一覧表

（単位：千円）

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
経常費	2,079	2,203	2,093
資料費総額	8,607	8,217	7,503
うち図書購入費	5,390	4,800	4,556
うち新聞・雑誌費	3,047	3,247	2,747
うち AV 資料費	170	170	200

## ④購入図書等選定システム

図書館委員会（各学科教員より構成）において、各学科の配分額を決定している。設置学科に関連する指定図書や研究図書は専任教員が選定し、参考図書、一般教養図書に関しては図書館員が中心となって選書している。またリクエスト制度により、学生や教職員からの希望図書も購入している。平成 20 年度は学生による書店の店頭選書を行った。

◇参考資料「図書館委員会規程」

## ⑤図書等廃棄システム

図書等の廃棄については図書館除籍図書処理規程に従って実施している。

◇参考資料「図書館除籍図書処理規程」

## ⑥司書数

図書館業務専従職員は 3 名、うち司書資格者は 2 名である。

## ⑦情報化の進捗状況

昭和 63 年現図書館開館時に全図書の書誌データを遡及入力（外部委託）し、コンピュータによる貸出業務を開始した。平成 10 年 11 月に図書館システム“情報館”（ブレインテック製）を導入し、目録作成が省力化、迅速化され、検索の操作性があがった。平成 16 年、平成 19 年にバージョンアップを行い、学内のパソコンから Web による OPAC 蔵書検索が可能となった。平成 19 年には所蔵雑誌のタイトル検索を可能にした。Web 外部データベースについては平成 18 年に知識検索「ジャパンナレッジ」を導入、平成 19 年には新聞記

事検索データベース「ヨミダス文書館」を導入した。

・システム名	情報館 Ver. 6.0 (ブレインテック製)
	サーバー機 1台
	業務用端末 4台
	検索用端末 3台 (1階閲覧室2台、2階閲覧室1台)
・インターネット用端末	4台 (1階閲覧室)
・CD-ROM検索用端末	1台 (1階閲覧室)

(2) 図書館等に備えられている蔵書数(和書、洋書、学術雑誌数、AV資料数等)を下  
表を例に作成して下さい。

図書館蔵書数一覧(図書・学術雑誌・AV資料) (平成21年5月1日現在)

冊(種)	図 書			学術雑誌			AV資料
	和書	洋書	合計	和雑誌	洋雑誌	合計	
	73,690冊	11,377冊	85,067冊	74種	5種	79種	1,076点

過去3年間の図書受入状況一覧表 (平成21年3月31日現在)

図 書	平成18年度	平成19年度	平成20年度
図書蔵書数	83,629	84,390	84,935
その年に受け入れた図書の冊数	1,641	1,395	1,714

(3) 図書館等には学生が利用できる授業に関連する参考図書、その他学生用の一般図書  
等は整備されているか。また学生の図書館等の利用は活発かを、図書館等の責任者  
(図書館長等)が現状をどのように捉えているかを記述して下さい。

①授業に関する図書の整備

学生に配布している「講義概要」記載の参考文献は毎年購入し備えつけ、教員が選定する指定図書のコーナーも設けている。また館長や各学科の教員が取引書店に出向いて直接選書する「先生による店頭選書」を行い、カリキュラムに沿った新しい図書の選定に配慮している。今後も教員との連携を密接なものにし、学生に必要な図書をスムーズに提供できるシステムづくりや利用指導を提案していく。

②学生の図書館利用を活発にするための努力

毎年、学生を対象に実施している「図書館に関するアンケート調査」の集計報告から問題点を取り上げ、利用が活性化するよう改善を行っている。また平成20年度にはテーマ展示を行って学生の図書館への関心を高め、利用促進を図った。さらに、学生が気軽に図書館員に声をかけられるような雰囲気づくりに努め、居心地のよい場所になるよう努力している。新入生オリエンテーション期間中にはグループごとに図書館内で利用指導を行っている。図書館の開館時間は9時から18時30分までとし、試験前の土曜日には臨時開館をしている。また教育実習者には貸出日数の延長と貸出冊数の変更を実施するなど必要に応じたサービスを提供している。図書館の利用統計は次の通りである。

◇参考資料「図書館に関するアンケート調査」「図書館利用案内」

### 開館日数および入館者数、図書貸出冊数

	開館日数	入館者数（一日平均）	図書貸出総冊数（一日平均）
平成 18 年度	244	26,839 (110)	8,742 (35.8)
平成 19 年度	243	24,952 (103)	6,635 (27.3)
平成 20 年度	242	24,716 (102)	6,977 (28.8)

### 学生貸出数の推移

	学生図書貸出				学生AV資料貸出(館内)		
	貸出人数	貸出冊数	一人あたり貸出冊数	一日平均貸出冊数	貸出点数	一人あたり貸出点数	一日平均貸出点数
平成 18 年度	3,817	7,437	6.7	30.5	3,596	3.2	14.7
平成 19 年度	2,844	5,758	6.3	23.7	2,472	2.7	10.2
平成 20 年度	2,156	4,354	6.1	18.0	2,233	3.1	9.2

\*学生には科目等履修生・研究生・聴講生を含む

\*一人あたり貸出冊（点）数は各年度5月1日現在の在籍者数で算出

(4) 図書館等からの学内外への情報発信、他の図書館等との連携等、現在の図書館活動について、図書館長等がどのように受け止めているかを記述して下さい。

図書館からの情報発信の手段として、短大ホームページの中に図書館ページを設け、利用案内、お知らせ、蔵書検索、外部データベースへのリンクなどを掲載している。ただし蔵書検索、有料データベースの利用は学内からのアクセスに限定している。キャンパスメールによる学生への催し物や特別貸出の案内も行っている。年2回発行している図書館日より「SENSE」は、教員からのメッセージ、学生による本の紹介などを掲載し、図書館からの情報発信とともに図書館・学生・教員の三者を結びつける役割も果たしている。

他の図書館等との連携では、閲覧・文献複写の依頼や受付、図書貸出等の相互協力を行っている。平成20年度は閲覧の紹介状発行1件、文献複写依頼12件、図書貸出依頼2件であった。設置別・地域別の図書館協議会等に参加し、平成19年度・20年度は私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会の幹事館であった。

今後は、図書館ネットワークを利用して、学術情報システム（NACSIS-IR、NACSIS-ILL）に参加するなど、より豊富な学術情報にアクセスできるよう整備に努めたい。平成20年から本学付属幼稚園保護者の図書館利用を開始した。今後は地域開放も見据えたいと考えている。

◇参考資料「SENSE」

#### 【特記事項について】

(1) この《Ⅲ教育の実施体制》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば外国人教員の採用、授業の公開、学習評価活動等、努力していることがあれば記述して下さい。

特になし

(2) 特別の事由や事情があり、この《Ⅲ教育の実施体制》の評価項目や評価の観点を求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし



## 《Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果》

### 【単位認定について】

(1) 次の「単位認定の状況表」を例に、単位認定の方法と評価の実態を記載して下さい。  
 なお、この表は平成20年度卒業生が入学時より卒業までに履修した科目について作成して下さい。

本学では、評価の基準を下記の通りとしている。

A・100～80、B・79～70、C・69～60、E・59～0、F・出席不足による単位不認定。

平成21年度入学生より、A評価をさらに細分化しS・100～90、A・89～80で評価している。

教養教育科目の単位認定の状況表

(平成20年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再考	計	A	B	C	E・F
教養ゼミ	教養ゼミ	演習	284	レポート、発表、受講態度	96	4	100	58	31	11	0
クリエイティブ教養	健康と生活	講義	125	期末試験、出席状況	75	16	91	25	34	32	9
	異文化の世界	講義	16	期末試験、提出物、出席状況	94	6	100	83	6	12	0
	こころの科学	講義	69	期末試験、レポート	97	0	97	58	26	13	4
	I T入門	講義	32	期末試験	91	3	94	50	22	22	9
	くらしの行動学	講義	65	期末試験、受講態度	75	8	83	18	40	25	17
	歴史再発見	講義	25	期末試験、受講態度	100	0	100	28	44	28	0
	数学再発見	講義	10	期末試験、課題、出席状況	70	0	70	50	10	10	30
	ジェンダー論	講義	24	期末試験、受講態度	96	0	96	25	25	46	8
	人権と平和・環境	講義	10	提出物	100	0	100	80	50	0	0
	日本国憲法	講義	169	期末試験、受講態度	95	5	100	24	63	13	1
	自然の楽しみ方	講義	52	期末試験、受講態度	67	6	73	23	15	35	27
	メディアの読み方	講義	36	期末試験、提出物、出席状況	100	0	100	72	14	14	0
	キャリア開発論	講義	3	期末試験、受講態度	100	0	100	67	0	33	0
	日本の文化	講義	26	レポート、発表、出席状況	73	4	77	23	35	19	23
	日本語を考える	講義	54	提出物、発表、出席状況	96	0	96	28	57	11	6
	芸術・芸能論	講義	56	レポート	96	0	96	82	13	2	4
	シェイクスピアの子供たち	講義	1	(注1)	0	0	0	0	0	0	100
	映像で学ぶアメリカの社会問題	講義	1	(注1)	100	0	100	100	0	0	0
	心理学入門(06)	放送	1	(注2)	0	0	0	0	0	0	100
スキルアップ	文章のトレーニング	演習	164	期末試験、課題、受講態度	91	0	91	48	27	16	9
	英語のトレーニング	演習	28	期末試験、小テスト、課題	89	0	89	29	39	21	11
	漢字のトレーニング	演習	163	期末試験、小テスト、受講態度	90	7	97	48	24	25	3
	ディベートのトレーニング	演習	31	期末試験、受講態度	97	0	97	52	29	16	3
	コンピュータの基礎	演習	202	小テスト、課題、受講態度	95	5	100	48	31	21	1
	コンピュータA	演習	191	小テスト、課題、受講態度	96	2	98	50	26	23	3
	コンピュータB	演習	138	小テスト、課題、受講態度	90	3	93	41	25	27	7
	コンピュータC	演習	37	課題、受講態度	76	0	76	51	24	0	24
外国語	基礎英語Ⅰ	演習	281	期末試験、受講態度	100	0	100	60	25	15	0
	基礎英語Ⅱ	演習	283	期末試験、受講態度	96	4	100	40	31	29	0
	生活の英語	演習	4	研修先の評価、レポート	100	0	100	75	25	0	0
	総合英語	認定	1	認定科目	100	0	100	100	0	0	0
	日本語Ⅰ	演習	1	小テスト、レポート、受講態度	100	0	100	100	0	0	0
	日本語Ⅱ	演習	1	小テスト、レポート、受講態度	100	0	100	100	0	0	0
	中国語Ⅰ	演習	1	期末試験、受講態度	100	0	100	100	0	0	0

	ハングルⅠ	演習	5	試験、受講態度	100	0	100	0	100	0	0
	ハングルⅡ	演習	1	試験、受講態度	0	0	0	0	0	0	100
	フランス語Ⅰ	演習	33	平常点、レポート	97	0	97	39	58	0	3
	フランス語Ⅱ	演習	15	平常点、レポート	93	0	93	53	40	0	7
	イタリア語Ⅰ	演習	9	小テスト、受講態度	89	0	89	78	11	0	11
	イタリア語Ⅱ	演習	6	小テスト、受講態度	50	0	50	50	0	0	50
	日本語基礎A（'06）	放送	1	（注2）	0	100	100	0	100	0	0
スポーツ	生涯スポーツA	実習	84	出席状況、受講態度、技能の向上	100	0	100	61	25	14	0
	生涯スポーツB	実習	116	出席状況、受講態度、技能の向上	97	0	97	63	27	7	4
	生涯スポーツC	実習	121	出席状況、受講態度、技能の向上	92	0	92	65	19	7	8
	生涯スポーツD	実習	78	出席状況、受講態度、技能の向上	97	0	97	53	29	15	4
	健康スポーツ	実習	55	出席状況、受講態度、技能の向上	95	0	95	64	16	15	5
	レクリエーションスポーツ	実習	101	出席状況、受講態度、技能の向上	98	0	98	58	24	16	2
	シーズンスポーツA	実習	14	出席状況、受講態度、技能の向上	86	0	86	71	14	0	14
	シーズンスポーツB	実習	29	受講態度、技能の向上	100	0	100	93	7	0	0
	シーズンスポーツC	実習	9	出席状況、受講態度、技能の向上	89	0	89	78	11	0	11

注1 西宮市大学交流センター・共通単位講座

注2 放送大学科目

### 中二種・栄養教諭科目の単位認定の状況表 (平成20年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	E・F
	教師論	講義	20	受講態度、レポート、小テスト	100	0	100	100	0	0	0
	教育原理Ⅰ	講義	20	受講態度、レポート、小テスト	100	0	100	100	0	0	0
	教育原理Ⅱ	講義	10	受講態度、レポート、小テスト	100	0	100	100	0	0	0
	教育心理	講義	20	テスト、受講態度	90	0	90	40	35	15	10
	教育行政学	講義	20	受講態度、小レポート	85	0	85	75	5	5	15
	教育課程論	講義	20	受講態度、レポート、小テスト	95	0	95	95	0	0	5
	家庭科教育法	講義	2	レポート、課題提出	100	0	100	100	0	0	0
	美術科教育法	講義	8	レポート	75	13	88	75	0	13	13
	道德教育研究	講義	20	筆記試験、小レポート	90	0	90	70	20	0	10
	特別活動研究	講義	20	受講態度、レポート、小テスト	100	0	100	100	0	0	0
	教育方法論	講義	20	受講態度、レポート、小テスト	90	0	90	80	10	0	10
	生徒指導論	講義	20	受講態度、レポート、小テスト	95	0	95	40	55	0	5
	進路指導論	講義	10	受講態度、レポート、小テスト	90	0	90	80	10	0	10
	教育相談（カウンセリングを含む）	講義	19	受講態度、レポート	89	0	89	53	32	5	11
	総合演習	演習	20	受講態度、レポート、小テスト	85	0	85	85	0	0	15
	教育実習事前・事後指導	講義	9	受講態度、レポート、小テスト	100	0	100	44	56	0	0
	教育実習	実習	9	実習先の評価	100	0	100	67	22	11	0
	栄養教育実習事前・事後指導	講義	10	受講態度、レポート	80	0	80	20	60	0	20
	栄養教育実習	実習	10	実習先の評価	80	0	80	40	0	40	20

### 学校図書館司書教諭科目の単位認定の状況表 (平成20年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	E・F
	学校経営と学校図書館	講義	7	受講態度、レポート	100	0	100	71	29	0	0
	読書と豊かな人間性	講義	7	受講態度、レポート、実技発表	100	0	100	14	86	0	0
	学校図書館メディアの構成	講義	7	試験、受講態度	86	0	86	86	0	0	14
	学習指導と学校図書館	講義	7	試験、レポート、受講態度	100	0	100	100	0	0	0
	情報メディアの活用	講義	7	小テスト、レポート、受講態度	100	0	100	43	43	14	0

図書館司書科目の単位認定の状況表 (平成20年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再考	計	A	B	C	E・F
甲群	図書館概論	講義	30	受講態度、レポート、試験	87	0	87	77	10	0	13
	図書館資料論	講義	30	受講態度、レポート、試験	87	0	87	83	3	0	13
	情報サービス概説	講義	29	受講態度、レポート、試験	90	0	90	90	0	0	10
	生涯学習概論	講義	30	小作文	90	0	90	60	27	7	7
	図書館サービス論	講義	30	受講態度、レポート、試験	80	0	80	7	33	40	20
	資料組織概説	講義	28	受講態度、テスト	86	0	86	82	0	4	14
	資料組織演習	演習	29	受講態度、課題提出、テスト	90	0	90	76	14	0	10
	情報検索演習	演習	28	受講態度、演習課題、試験	89	0	89	54	21	14	11
	専門資料論	講義	29	受講態度、レポート、試験	86	0	86	83	3	0	14
	児童サービス論	講義	29	受講態度、レポート、実技発表	83	0	83	52	17	14	17
	レファレンスサービス演習	演習	29	受講態度、課題提出	86	0	86	83	3	0	14
	図書館経営論	講義	28	試験、レポート	85	0	85	42	27	15	15
乙群	資料特論	講義	30	受講態度、レポート、試験	80	0	80	80	0	0	20
	図書及び図書館史	講義	30	受講態度、レポート	97	0	97	90	7	0	3
	コミュニケーション論	講義	0	平成20年度未開講	0	0	0	0	0	0	0
	図書館特論	講義	0	平成20年度未開講	0	0	0	0	0	0	0

家政学科(ファッション専攻)の単位認定の状況表 (平成20年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再考	計	A	B	C	E・F
共通科目	衣生活文化論	講義	35	試験、提出物、授業態度	89	11	100	31	46	23	0
	色彩学	講義	35	試験、演習課題、授業態度	60	40	100	17	20	63	0
	カラーコーディネート演習	演習	35	試験、演習課題、授業態度	74	26	100	31	31	37	0
	服飾文化史	講義	35	レポート	100	0	100	6	94	0	0
ファッションサイエンスに関する科目	テキスタイル材料学	講義	35	試験、授業態度	89	11	100	60	20	20	0
	アパレル材料学	講義	35	試験、授業態度	83	14	97	17	46	34	3
	アパレル材料学実験	実習	31	レポート、授業態度	97	0	97	52	42	3	3
	被服管理学	講義	34	試験、提出物、授業態度	79	21	100	47	24	29	0
	被服管理学実験	実習	18	試験、レポート、授業態度	100	0	100	72	22	6	0
	被服衛生学	講義	32	試験、提出物、授業態度	94	6	100	38	38	25	0
デザインに関する科目	ファッションデザイン論	講義	35	試験、レポート、授業態度	97	3	100	43	43	14	0
	ファッションデザイン演習Ⅰ	演習	35	試験、作品、レポート	83	17	100	31	37	31	0
	ファッションデザイン演習Ⅱ	演習	31	作品、授業態度	100	0	100	16	42	42	0
	ファッションドローイングⅠ	実習	35	平常課題作品	100	0	100	54	40	6	0
	ファッションドローイングⅡ	実習	19	平常課題作品、パネル制作	95	0	95	74	21	0	5
	コンピュータデザイン演習Ⅰ	演習	23	作品、授業態度	96	0	96	39	39	17	4
	コンピュータデザイン演習Ⅱ	演習	14	作品、授業態度	100	0	100	29	71	0	0
ファッション造形に関する科目	ファッション造形論	講義	35	試験、提出物、授業態度	86	14	100	31	34	34	0
	ファッション造形実習Ⅰ	実習	35	作品、授業態度	100	0	100	66	20	14	0
	ファッション造形実習Ⅱ	実習	29	作品、授業態度	97	0	97	66	31	0	3
	ファッション造形実習Ⅲ	実習	24	提出物、授業態度	88	0	88	58	21	8	13
	ドレーピング実習Ⅰ	実習	18	作品、試験、授業態度	83	6	89	28	33	28	11
	ドレーピング実習Ⅱ	実習	16	作品、授業態度	100	0	100	50	50	0	0
	パターン設計演習Ⅰ	演習	32	試験、提出物、授業態度	94	3	97	44	34	19	3
	パターン設計演習Ⅱ	演習	26	提出物、授業態度	85	0	85	50	19	15	15
	アパレルCAD演習Ⅰ	演習	22	試験、提出物、授業態度	95	0	95	55	18	23	5
	アパレルCAD演習Ⅱ	演習	16	試験、提出物、授業態度	100	0	100	63	13	25	0
	ゆかた造形実習	実習	15	試験、作品、授業態度	100	0	100	73	27	0	0

販売・ビジネスに関する科目	ファッション販売論Ⅰ	講義	31	試験、授業態度	100	0	100	45	35	19	0
	ファッション販売論Ⅱ	講義	31	試験、提出物、授業態度	74	19	94	42	19	32	6
	ファッション販売技術演習	演習	9	レポート、授業態度	100	0	100	78	11	11	0
	消費科学	講義	31	試験、提出物、授業態度	97	3	100	32	55	13	0
	ファッションマーケティング論	講義	35	試験、提出物、授業態度	97	3	100	77	17	6	0
	ビジュアルマーチャンダイジング	実習	6	試験、提出物、授業態度	100	0	100	83	0	17	0
	計数管理演習	演習	0	平成20年度未開講	0	0	0	0	0	0	0
	アパレル企画論	講義	33	試験、提出物、授業態度	85	0	85	58	21	6	15
	ファッション心理	講義	34	試験、提出物、授業態度	85	15	100	21	50	29	0
ファッションと福祉	講義	15	試験、提出物、授業態度	87	13	100	33	13	53	0	
コーディネートに関する科目	ファッションコーディネート論	講義	35	課題作品	77	23	100	0	49	51	0
	ファッションコーディネート実習	実習	0	平成20年度未開講	0	0	0	0	0	0	0
	スタイリスト演習	演習	9	提出物、授業態度	89	0	89	78	11	0	11
	ブライダルコーディネーター論	講義	33	提出物、授業態度	94	3	97	24	45	27	3
	身体装飾論	講義	27	試験、提出物、授業態度	96	0	96	30	67	0	4
	メイク&ネイル実習Ⅰ	実習	18	提出物、授業態度	94	0	94	78	17	0	6
	メイク&ネイル実習Ⅱ	実習	14	作品提出	86	0	86	43	43	0	14
	アクセサリー実習	実習	19	作品、授業態度	84	0	84	47	37	0	16
科目 総合	ファッション総合演習	演習	8	提出物、授業態度	88	0	88	50	25	13	13
	ファッション総合制作	実習	31	作品、授業態度	77	23	100	52	23	26	0

家政学科（食物栄養専攻栄養士コース）の単位認定の状況表（平成20年度卒業生）

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再試	計	A	B	C	E・F
健康 社会と	社会福祉概論	講義	46	期末試験、レポート、受講態度	96	4	100	57	39	4	0
	公衆衛生学	講義	46	期末試験、レポート、受講態度	100	0	100	46	41	13	0
人体の構造と機能	解剖学	講義	46	期末試験、小テスト、受講態度	98	2	100	78	20	2	0
	生化学	講義	46	期末試験、小テスト、受講態度	76	24	100	15	24	61	0
	生化学実験	実習	46	受講態度、レポート	100	0	100	63	24	13	0
	生理学	講義	46	期末試験、小テスト、受講態度	100	0	100	70	28	2	0
	解剖生理学実験	実習	46	レポート、受講態度	100	0	100	61	24	15	0
	病理学	講義	46	期末試験、小テスト、受講態度	100	0	100	63	37	0	0
食品と衛生	食品学Ⅰ	講義	46	期末試験	76	17	93	35	20	39	7
	食品学Ⅱ	講義	46	期末試験、レポート、受講態度	89	9	98	43	37	17	2
	食品加工学	講義	46	期末試験、小テスト、受講態度	100	0	100	48	37	15	0
	食品加工学実習	実習	46	受講態度、レポート	100	0	100	54	33	13	0
	食品衛生学Ⅰ	講義	46	期末試験、レポート、受講態度	100	0	100	48	39	13	0
	食品衛生学実験	実習	46	レポート、受講態度	100	0	100	76	15	9	0
	食品学実験	実習	45	レポート、受講態度	100	0	100	53	33	13	0
	食品微生物学	講義	31	期末試験、レポート、受講態度	52	10	61	42	6	13	39
栄養と健康	基礎栄養学	講義	46	期末試験、小テスト、受講態度	100	0	100	67	20	13	0
	健康管理概論	講義	46	期末試験、レポート、受講態度	100	0	100	26	72	2	0
	応用栄養学	講義	46	期末試験、レポート、受講態度	100	0	100	39	37	24	0
	臨床栄養学	講義	46	期末試験、小テスト、受講態度	100	0	100	35	48	17	0
	栄養学実習	実習	46	レポート、受講態度	96	2	98	57	17	24	2
	臨床栄養学実習	実習	46	期末試験、レポート、受講態度	96	2	98	63	28	7	2
栄養の指導	栄養教育論Ⅰ	講義	46	期末試験、レポート、受講態度	100	0	100	54	37	9	0
	栄養教育論Ⅱ	講義	46	期末試験、レポート、受講態度	96	4	100	74	15	11	0
	学校栄養教育法	講義	12	期末試験、レポート、受講態度	75	0	75	8	58	8	25
	公衆栄養学	講義	46	期末試験、レポート、受講態度	100	0	100	37	35	28	0
	栄養教育論実習Ⅰ	実習	46	課題提出、発表、受講態度	100	0	100	87	11	2	0

	栄養教育論実習Ⅱ	実習	44	課題提出、発表、受講態度	98	0	98	64	27	7	2
給食の運営	調理学実習Ⅰ	実習	46	期末試験、実技試験、レポート	100	0	100	43	46	11	0
	調理学Ⅰ	講義	46	期末試験、レポート、受講態度	91	9	100	65	15	20	0
	給食計画論	講義	44	期末試験、レポート、受講態度	100	0	100	45	45	9	0
	給食実務論	講義	46	期末試験、レポート、受講態度	91	7	98	41	30	26	2
	給食管理校内実習	実習	46	課題提出、受講態度	100	0	100	43	39	17	0
	給食管理校外実習	実習	46	実習先の評価票、課題提出	100	0	100	98	2	0	0
	調理学実習Ⅱ	実習	46	レポート、受講態度	98	2	100	46	41	13	0
食生活領域 拡充科目	食料経済	講義	30	期末試験、レポート、受講態度	100	0	100	97	0	3	0
	フードスペシャリスト論	講義	24	期末試験、受講態度	92	0	92	71	21	0	8
	フードコーディネーター論	講義	24	期末試験、レポート、受講態度	92	0	92	54	33	4	8
	製菓実習Ⅰ	実習	21	レポート、受講態度	86	0	86	57	29	0	14

家政学科（食物栄養専攻食生活コース）の単位認定の状況表（平成20年度卒業生）

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)				
					本試	再考	計	A	B	C	E・F	
食の専門領域	食生活	食生活論	講義	16	期末試験、課題提出、受講態度	94	6	100	13	63	25	0
		食料経済	講義	18	期末試験、レポート、受講態度	94	0	94	78	17	0	6
		フードスペシャリスト論	講義	16	期末試験、受講態度	10	0	100	38	44	19	0
		フードコーディネーター論	講義	18	期末試験、レポート、受講態度	10	0	100	67	28	6	0
		食物史	講義	18	期末試験、課題提出、受講態度	10	0	100	67	28	6	0
	栄養と健康	健康の管理	講義	16	期末試験、レポート、受講態度	81	6	88	44	25	19	13
		健康と運動	演習	14	受講態度、課題提出、期末試験	10	0	100	50	36	14	0
		基礎栄養学	講義	19	期末試験、レポート、受講態度	95	5	100	26	47	26	0
		ライフステージ栄養	講義	18	期末試験、レポート、受講態度	78	0	78	50	28	0	22
		ライフステージ栄養実習	実習	12	レポート、受講態度	92	0	92	92	0	0	8
		ウェルネス栄養	講義	16	期末試験、レポート、受講態度	94	6	100	56	38	6	0
	調理	調理学Ⅰ	講義	19	期末試験、レポート、受講態度	10	0	100	37	21	42	0
		調理学実習Ⅰ	実習	19	期末試験、実技試験、レポート	95	5	100	84	5	11	0
		調理学Ⅱ	講義	18	期末試験、レポート、受講態度	78	22	100	22	22	56	0
		調理科学Ⅰ	講義	19	課題提出、レポート、期末試験	89	5	95	26	37	32	5
		調理科学Ⅱ	講義	11	課題提出、レポート、期末試験	91	9	100	36	45	18	0
		調理科学実験Ⅰ	実習	12	レポート、受講態度、期末試験	50	17	67	25	25	17	33
		調理科学実験Ⅱ	実習	8	レポート、受講態度、期末試験	10	0	100	38	38	25	0
		製菓実習Ⅰ	実習	16	レポート、受講態度	94	0	94	38	50	6	6
		製菓実習Ⅱ	実習	15	レポート、受講態度	10	0	100	60	33	7	0
		調理学実習Ⅱ	実習	19	レポート、受講態度	10	0	100	84	16	0	0
	食品と衛生	食品衛生学Ⅰ	講義	19	期末試験、課題提出、受講態度	10	0	100	58	26	16	0
		食品学Ⅰ	講義	19	期末試験、小テスト、受講態度	79	11	89	21	42	26	11
		食品学Ⅱ	講義	18	期末試験、小テスト、受講態度	89	6	94	33	39	22	6
		食品衛生学Ⅱ	講義	19	期末試験、課題提出、受講態度	95	5	100	63	16	21	0
		食品加工学実習	実習	16	受講態度、レポート	88	0	88	75	6	6	13
		食品加工学	講義	19	期末試験、小テスト、受講態度	89	11	100	37	42	21	0
食品の保存と包装		講義	18	期末試験、小テスト、受講態度	10	0	100	39	44	17	0	
食品微生物学		講義	13	期末試験、レポート、受講態度	31	31	62	8	15	38	38	
食品学実験		実習	4	レポート、受講態度	75	0	75	25	25	25	25	
食品微生物学実習		実習	4	レポート、受講態度	10	0	100	25	50	25	0	
生活の科学 領域	家庭経営及び家族関係	講義	15	期末試験、課題提出、受講態度	10	0	100	33	7	60	0	
	被服学	講義	17	期末試験、レポート、受講態度	71	24	94	47	24	24	6	
	生活経済学	講義	15	期末試験、レポート、受講態度	10	0	100	100	0	0	0	
	服飾構成学実習Ⅰ	実習	5	課題提出、受講態度	80	0	80	80	0	0	20	

服飾構成学実習Ⅱ	実習	4	課題提出、受講態度	10	0	100	50	50	0	0
コンピュータ演習Ⅰ	演習	6	期末試験、課題提出、受講態度	10	0	100	50	17	33	0
コンピュータ演習Ⅱ	演習	4	期末試験、課題提出、受講態度	10	0	100	50	50	0	0
保育学	講義	9	小テスト、レポート、受講態度	10	0	100	89	11	0	0
住居学	講義	17	期末試験、レポート、受講態度	10	0	100	71	29	0	0
環境と人間	講義	13	小テスト、レポート、受講態度	10	0	100	46	38	15	0

児童教育学科（初等教育コース）の単位認定の状況表

（平成20年度卒業生）

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	E・F
	教職総論	講義	31	期末試験、出席状況、小レポート	100	0	100	84	16	0	0
	教育原理	講義	31	期末試験、課題提出、出席状況	100	0	100	65	29	6	0
	教育心理学	講義	31	期末試験、出席状況、平常点	97	3	100	23	74	3	0
	教育行政学	講義	31	期末試験	97	3	100	35	45	19	0
	教育課程論	講義	31	期末試験、課題提出、出席状況	84	16	100	23	45	32	0
	教育方法論	講義	31	期末試験、課題提出、出席状況	94	6	100	68	16	16	0
	国語科教育法	講義	30	期末試験、作品、出席状況	100	0	100	63	13	23	0
	社会科教育法	講義	13	課題提出、出席状況、発表	100	0	100	100	0	0	0
	算数科教育法	講義	28	期末試験、課題提出、出席状況	93	0	93	79	14	0	7
	理科教育法	講義	24	期末試験、課題提出、出席状況	96	4	100	42	25	33	0
	生活科教育法	講義	18	期末試験、課題提出、出席状況	72	22	94	33	28	33	6
	家庭科教育法	講義	13	課題提出、出席状況、平常点	77	23	100	69	8	23	0
	音楽科教育法	演習	23	課題提出、出席状況、平常点	100	0	100	13	57	30	0
	図画工作科教育法	演習	24	作品、出席状況	92	0	92	54	25	13	8
	体育科教育法	演習	18	課題提出、出席状況、発表	94	0	94	39	44	11	6
	道徳教育研究	講義	31	期末試験、課題提出、出席状況	100	0	100	58	32	10	0
	特別活動研究	講義	31	期末試験、課題提出、出席状況	100	0	100	42	45	13	0
	保育内容・健康Ⅰ	演習	13	期末試験	85	15	100	23	38	38	0
	保育内容・健康Ⅱ	演習	1	期末試験	100	0	100	0	100	0	0
	保育内容・人間関係Ⅰ	講義	28	期末試験、出席状況、授業態度	96	0	96	54	18	25	4
	保育内容・人間関係Ⅱ	講義	19	期末試験、出席状況、平常点	74	26	100	26	32	42	0
	保育内容・環境Ⅰ	講義	19	期末試験、出席状況	84	5	89	53	26	11	11
	保育内容・環境Ⅱ	講義	5	期末試験、出席状況、平常点	100	0	100	80	20	0	0
	保育内容・言葉Ⅰ	演習	15	小テスト、発表、出席状況	100	0	100	93	7	0	0
	保育内容・言葉Ⅱ	演習	11	小テスト、発表、出席状況	100	0	100	100	0	0	0
	保育内容・身体表現Ⅰ	演習	12	作品、出席状況、ノート提出	92	0	92	42	50	0	8
	保育内容・身体表現Ⅱ	演習	12	課題提出、出席状況、発表	92	0	92	75	17	0	8
	保育内容・造形表現Ⅰ	演習	31	作品、出席状況	100	0	100	52	35	13	0
	保育内容・造形表現Ⅱ	演習	9	期末試験、作品	78	0	78	44	33	0	22
	生徒指導論（進路指導を含む）	講義	31	課題提出、出席状況、平常点	65	35	100	29	26	45	0
	教育相談（カウンセリングを含む）	講義	31	課題提出、平常点	100	0	100	35	65	0	0
	幼児理解の理論および方法（教育相談を含む）	講義	31	課題提出、出席状況	97	0	97	32	45	19	3
	総合演習	演習	31	提出物、授業態度	97	3	100	55	26	19	0
	教育実習事前・事後指導	演習	28	課題提出、出席状況	100	0	100	96	4	0	0
	教育実習（小学校） （幼稚園）	実習	28	出席状況、実習先評価表	100	0	100	79	21	0	0
	国語	講義	17	期末試験、課題提出、小テスト	100	0	100	53	24	24	0
	算数	講義	10	期末試験、平常点	90	0	90	60	20	10	10
	生活	講義	12	期末試験、課題提出、出席状況	83	0	83	17	33	33	17
	社会	講義	7	期末試験、課題提出、受講態度	100	0	100	43	57	0	0
	家庭	講義	6	期末試験、課題提出、出席状況	100	0	100	33	33	33	0
	音楽（ピアノ）	実習	31	期末試験、出席状況、小テスト	81	19	100	6	32	61	0
	音楽（声楽）	実習	1	期末試験、出席状況	0	0	0	0	0	0	100

図工演習	演習	30	作品	97	0	97	43	53	0	3
体育実技	実習	31	課題提出、出席状況、発表	97	0	97	71	23	3	3
社会福祉概論	講義	19	期末試験、出席状況	95	0	95	79	16	0	5
社会福祉援助技術	演習	10	期末試験、出席状況	100	0	100	90	10	0	0
児童福祉論	講義	15	期末試験、小テスト、レポート	87	7	93	33	20	40	7
保育原理Ⅰ	講義	11	期末試験、出席状況、発表	100	0	100	73	27	0	0
保育原理Ⅱ	講義	11	期末試験、課題提出、発表	73	18	91	55	9	27	9
養護原理	講義	14	期末試験、小テスト	100	0	100	57	21	21	0
発達心理学	講義	25	課題提出、出席状況、小テスト	100	0	100	80	20	0	0
小児の食生活	講義	13	期末試験、作品、出席状況	69	8	77	38	15	23	23
幼児美術	実習	2	作品	100	0	100	100	0	0	0
児童文化	講義	7	課題提出、作品、出席状況	86	0	86	0	29	57	14
カウンセリング特論	講義	27	期末試験、課題提出、出席状況	96	0	96	81	11	4	4
体育理論	講義	18	期末試験、課題提出、出席状況	89	0	89	39	6	44	11
器楽活用法	演習	11	出席状況、平常点	73	0	73	18	55	0	27
保育入門	講義	18	課題提出、平常点（発表）	100	0	100	100	0	0	0
特別研究及び演習Ⅰ	演習	11	期末試験、出席状況、修了演奏会	82	0	82	36	45	0	18
特別研究及び演習Ⅱ	演習	5	期末試験、出席状況、修了演奏会	100	0	100	20	60	20	0

児童教育学科（幼児教育コース）の単位認定の状況表（平成20年度卒業生）

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再考	計	A	B	C	E・F
	教職総論	講義	118	期末試験、出席状況、小レポート	99	1	100	73	14	14	0
	教育原理	講義	118	期末試験、課題提出、出席状況	97	3	100	55	23	22	0
	教育心理学	講義	118	期末試験、出席状況、平常点	100	0	100	47	47	7	0
	教育行政学	講義	118	期末試験	100	0	100	24	42	35	0
	教育課程論	講義	118	期末試験、課題提出、出席状況	90	10	100	34	35	31	0
	教育方法論	講義	118	期末試験、課題提出、出席状況	92	8	100	44	29	27	0
	保育内容・健康Ⅰ	演習	118	期末試験	91	8	99	32	42	25	1
	保育内容・健康Ⅱ	演習	118	期末試験	86	14	100	27	39	34	0
	保育内容・人間関係Ⅰ	講義	118	期末試験、出席状況、授業態度	97	3	100	36	37	27	0
	保育内容・人間関係Ⅱ	講義	118	期末試験、出席状況、平常点	75	20	95	8	27	60	5
	保育内容・環境Ⅰ	講義	118	期末試験、出席状況	97	3	100	34	40	26	0
	保育内容・環境Ⅱ	講義	118	期末試験、出席状況、出席態度	94	6	100	41	41	19	0
	保育内容・言葉Ⅰ	演習	118	小テスト、発表、出席状況	99	1	100	78	19	3	0
	保育内容・言葉Ⅱ	演習	117	小テスト、発表、出席状況	99	1	100	74	16	10	0
	保育内容・身体表現Ⅰ	演習	118	課題提出、出席状況、平常点	100	0	100	82	15	3	0
	保育内容・身体表現Ⅱ	演習	118	期末試験、課題提出、出席状況	99	0	99	75	21	3	1
	保育内容・造形表現Ⅰ	演習	118	作品、出席状況	96	3	99	62	31	7	1
	保育内容・造形表現Ⅱ	演習	118	期末試験、作品	83	14	97	53	28	17	3
	幼児理解の理論および方法 (教育相談を含む)	講義	117	課題提出、出席状況	98	1	99	32	54	14	1
	総合演習	演習	118	提出物、授業態度	94	6	100	54	36	10	0
	教育実習事前・事後指導	演習	114	課題提出、出席状況	97	0	97	95	3	0	3
	教育実習（幼稚園）	実習	114	出席状況、実習先評価表	97	0	97	96	2	0	3
	国語	講義	115	期末試験、課題提出、出席状況	90	0	90	29	29	33	10
	算数	講義	19	期末試験、課題提出、出席状況	47	26	74	21	21	32	26
	生活	講義	22	期末試験、課題提出、出席状況	100	0	100	68	18	14	0
	音楽（ピアノ）	実習	118	期末試験、出席状況、小テスト	88	8	96	17	30	49	4
	音楽（声楽）	実習	53	期末試験、出席状況	92	0	92	45	40	8	8
	図工演習	演習	117	作品	100	0	100	59	29	12	0
	体育実技	実習	118	課題提出、出席状況、平常点	92	6	98	57	28	14	2
	社会福祉概論	講義	113	期末試験、出席状況	98	1	99	56	28	15	1
	社会福祉援助技術	演習	94	期末試験、出席状況	97	0	97	73	19	4	3

児童福祉論	講義	117	期末試験、小テスト、レポート	70	26	97	14	33	50	3
保育原理Ⅰ	講義	111	期末試験、出席状況、平常点	93	5	98	46	30	23	2
保育原理Ⅱ	講義	111	期末試験、課題提出、平常点	86	13	99	45	26	28	1
養護原理	講義	107	期末試験、小テスト	95	3	98	51	28	19	2
発達心理学	講義	116	課題提出、出席状況、小テスト	100	0	100	86	14	0	0
小児の食生活	講義	105	期末試験、作品、出席状況	95	3	98	56	21	21	2
児童とあそび	演習	39	期末試験、出席状況、平常点	82	0	82	26	38	18	18
幼児美術	実習	15	作品	100	0	100	100	0	0	0
児童文化	講義	46	課題提出、作品、出席状況	98	0	98	52	35	11	2
カウンセリング特論	講義	79	期末試験、課題提出、出席状況	95	0	95	81	14	0	5
体育理論	講義	117	期末試験、課題提出、出席状況	91	6	97	41	25	32	3
器楽活用法	演習	65	出席状況、活動内容、実技テスト	98	0	98	69	29	0	2
保育入門	講義	95	課題提出、平常点（発表）	100	0	100	74	24	2	0
特別研究及び演習Ⅰ	演習	32	期末試験、出席状況、修了演奏会	53	0	53	28	16	9	47
特別研究及び演習Ⅱ	演習	39	期末試験、出席状況、修了演奏会	74	0	74	23	36	15	26
ボランティア活動	実習	2	活動時間、レポート	0	0	0	0	0	0	100

美術・デザイン学科の単位認定の状況表

(平成20年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再試	計	A	B	C	E・F
講義科目	西洋美術史	講義	35	期末試験、レポート、出席状況	100	0	100	71	29	0	0
	東洋美術史	講義	35	期末試験	80	20	100	29	14	57	0
	造形の心理	講義	35	提出物	97	3	100	46	49	6	0
	色彩学	講義	34	期末試験、提出物	100	0	100	44	50	6	0
	インテリアエレメント	講義	11	期末試験	91	0	91	36	9	45	9
	民族芸術論	講義	21	レポート、受講態度	100	0	100	48	38	14	0
	建築施工	講義	6	レポート、出席状況	100	0	100	83	17	0	0
	グラフィックデザイン論	講義	25	期末試験、レポート、出席状況	92	0	92	32	56	4	8
	マンガとアートA	講義	16	レポート	100	0	100	50	38	13	0
	デザイン史	講義	28	期末試験、提出物、受講態度	89	0	89	43	39	7	11
	デザイン情報論	講義	30	レポート	100	0	100	20	70	10	0
	建築設備計画	講義	11	レポート、受講態度	91	0	91	45	27	18	9
	建築法規	講義	13	期末試験、レポート、受講態度	100	0	100	85	8	8	0
	マンガとアートB	講義	26	レポート、受講態度	96	0	96	35	35	27	4
	建築構造	講義	10	期末試験、レポート、受講態度	90	0	90	30	40	20	10
	現代美術論	講義	28	レポート	100	0	100	18	82	0	0
	現代文化論	講義	30	レポート	100	0	100	43	30	27	0
	構造と造形	講義	23	期末試験、レポート、受講態度	91	0	91	87	4	0	9
実習が伴う科目	専門基礎実習A	実習	35	作品、受講態度	100	0	100	66	31	3	0
	専門基礎実習B	実習	35	作品、受講態度	100	0	100	54	46	0	0
	専門基礎実習C	実習	35	作品、受講態度	100	0	100	51	49	0	0
	専門応用実習ⅠA	実習	35	作品	100	0	100	60	40	0	0
	専門応用実習ⅠB	実習	35	作品	100	0	100	57	43	0	0
	専門応用実習ⅠC	実習	35	作品	100	0	100	57	43	0	0
	専門応用実習ⅡA	実習	35	作品	100	0	100	60	40	0	0
	専門応用実習ⅡB	実習	35	作品、受講態度	100	0	100	51	49	0	0
	専門応用実習ⅡC	実習	35	作品、受講態度	100	0	100	91	3	6	0
	専門応用実習ⅡD	実習	35	作品、受講態度	100	0	100	49	43	9	0
	専門総合実習A	実習	35	作品	100	0	100	71	29	0	0
	専門総合実習B	実習	35	作品、レポート	100	0	100	57	40	3	0
	専門総合実習C	実習	35	作品、発表	100	0	100	80	20	0	0
	専門総合実習D	実習	35	作品	100	0	100	51	49	0	0



専門総合実習 E	実習	35	作品	100	0	100	94	6	0	0
図法及び製図	演習	12	提出物	100	0	100	83	17	0	0
平面造形 A	演習	25	作品	84	0	84	16	68	0	16
平面造形 B	演習	17	作品	88	0	88	18	71	0	12
立体造形 A	演習	14	作品	93	0	93	57	21	14	7
立体造形 B	演習	17	作品、受講態度	100	0	100	88	12	0	0
工芸 A	演習	24	作品	100	0	100	25	71	4	0
工芸 B	演習	9	作品、受講態度	100	0	100	33	67	0	0
ベーシックデザイン	演習	30	作品、受講態度	90	0	90	33	53	3	10
版画表現	演習	15	作品	100	0	100	40	60	0	0
映像表現	演習	22	作品、受講態度	91	0	91	68	18	5	9
色彩表現	演習	23	作品、出席状況	100	0	100	30	52	17	0
C G 演習 A	演習	7	作品	100	0	100	57	43	0	0
C G 演習 B	演習	26	提出物	96	0	96	65	31	0	4
発想と表現	演習	33	作品、レポート、受講態度	73	0	73	21	48	3	27

専攻科（保育専攻）の単位認定の状況表

（平成 20 年度卒業生）

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再試験	計	A	B	C	E・F
	保育理論	講義	96	期末試験、課題提出、出席状況	100	0	100	51	43	6	0
	児童福祉行政	講義	72	期末試験	96	3	99	67	22	10	1
	精神保健	講義	96	期末試験、課題提出	100	0	100	56	31	13	0
	家族援助の理論と技術	講義	96	期末試験、課題提出、出席状況	99	1	100	59	29	11	0
	臨床心理学	講義	62	課題提出、出席状況	98	2	100	35	53	11	0
	障害児の心理	講義	89	課題提出、平常点	90	10	100	36	54	10	0
	小児保健 I	講義	96	期末試験、出席状況、小テスト	99	1	100	40	45	16	0
	小児保健 II	講義	96	期末試験、出席状況、小テスト	90	10	100	21	43	36	0
	小児保健実習	実習	96	期末試験、出席状況、レポート	94	6	100	17	41	43	0
	生活援助技術 I	演習	33	出席状況、受講態度、レポート	97	0	97	79	15	3	3
	生活援助技術 II	演習	4	出席状況、発表、レポート	75	0	75	0	75	0	25
	乳児保育	演習	95	期末試験、作品、出席状況	99	1	100	47	27	25	0
	障害児保育	演習	96	出席状況、受講態度、小レポート	100	0	100	70	19	11	0
	こどもと造形	演習	40	作品	100	0	100	60	40	0	0
	養護の実際	演習	96	期末試験、課題提出、出席状況	99	1	100	66	30	4	0
	保育実習指導	実習	94	課題提出、出席状況	100	0	100	74	16	10	0
	保育実習 I A	実習	94	課題提出、出席状況、実習先評価	100	0	100	63	37	0	0
	保育実習 I B	実習	93	課題提出、出席状況、実習先評価	100	0	100	64	36	0	1
	保育実習 II	実習	91	課題提出、出席状況、実習先評価	100	0	100	70	26	3	0
	保育実習 III	実習	3	課題提出、出席状況、実習先評価	100	0	100	67	33	0	0
	身体表現及び即興演奏法	演習	40	期末試験、出席状況、発表、実技	98	0	98	13	70	15	3
	幼児音楽特別研究	演習	29	期末試験、出席状況、発表	97	0	97	31	48	17	3
	保育音楽療育演習	演習	29	期末試験、出席状況、小テスト	97	0	97	21	76	0	3
	青年心理学	講義	43	期末試験、出席状況、小レポート	93	0	93	84	7	2	7
	精神医学	講義	33	期末試験、出席状況、小テスト	94	0	94	70	21	3	6
	保育音楽療育概論	講義	29	期末試験、課題提出、出席状況	97	0	97	38	41	17	3
	音楽と心理	講義	9	期末試験、出席状況、小論文	89	0	89	89	0	0	11
	障害者福祉論	講義	47	課題提出、出席状況	98	0	98	55	30	13	2
	保育音楽療育実習	実習	28	期末試験、実習レポート	96	0	96	18	71	7	4
	ボランティア	実習	3	活動時間、レポート	67	0	67	0	0	67	33
	修了研究及び論文	認定	96	提出物	100	0	100	72	22	6	0

専攻科（美術・デザイン専攻）の単位認定の状況表（平成20年度卒業生）

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再試験	計	A	B	C	E・F
美術制作に関する科目	研究制作Ⅰ	認定	12	作品、レポート	100	0	100	83	17	0	0
	修了制作演習	演習	12	作品	100	0	100	83	17	0	0
	専攻実習Ⅰ	実習	10	作品	100	0	100	50	30	20	0
	専攻演習Ⅰ	演習	11	作品	100	0	100	73	27	0	0
	研究演習Ⅰ	演習	12	作品	100	0	100	50	50	0	0
	デジタルアート演習Ⅰ	演習	12	作品	100	0	100	42	50	8	0
	専攻実習Ⅱ	実習	11	作品	91	0	91	73	18	0	9
	研究演習Ⅱ	演習	12	作品	100	0	100	8	92	0	0
	デジタルアート演習Ⅱ	演習	11	課題提出	100	0	100	55	27	18	0
	色彩計画演習	演習	12	発表、受講態度	83	0	83	25	42	17	17
	表現研究演習Ⅰ	演習	12	作品	100	0	100	75	25	0	0
	専攻実習Ⅲ	実習	12	作品、レポート	100	0	100	42	58	0	0
	研究演習Ⅲ	演習	12	作品	100	0	100	58	42	0	0
	表現研究演習Ⅱ	演習	12	作品	100	0	100	67	33	0	0
	映像デザイン演習	演習	11	作品	91	0	91	45	45	0	9
	研究制作Ⅱ	認定	12	作品、レポート	100	0	100	83	17	0	0
専攻実習Ⅳ	実習	12	作品	100	0	100	92	8	0	0	
専攻演習Ⅱ	演習	12	作品	100	0	100	92	8	0	0	
美術理論・美術史に関する科目	デッサン特論	講義	11	期末試験	100	0	100	91	9	0	0
	創造特論	講義	12	レポート、受講態度	92	0	92	67	17	8	8
	デザイン史特論	講義	12	レポート、受講態度	92	0	92	83	8	0	8
	サウンドアート論	講義	12	期末試験、レポート	100	0	100	0	92	8	0
	西洋美術史特論	講義	8	発表、受講態度	88	0	88	38	13	38	13
	デザイン特論	講義	12	レポート	92	0	92	33	50	8	8
	現代芸術論A	講義	12	期末試験、課題提出	92	0	92	25	67	0	8
	東洋美術史特論	講義	12	レポート	100	0	100	50	50	0	0
	環境デザイン論	講義	12	レポート	100	0	100	50	8	42	0
	映画映像論	講義	12	期末試験、課題提出、受講態度	92	8	100	75	17	8	0
	現代芸術論B	講義	12	レポート、小テスト、課題提出	100	0	100	42	58	0	0
専門関連科目	実用英語Ⅰ	演習	8	小テスト	100	0	100	75	25	0	0
	実用英語Ⅱ	演習	4	小テスト	75	0	75	75	0	0	25
	論文演習Ⅰ	演習	12	課題提出、受講態度	100	0	100	17	75	8	0
	色彩文化論	講義	12	レポート	100	0	100	100	0	0	0
	論文演習Ⅱ	演習	6	課題提出、受講態度	83	0	83	67	0	17	17
	民族文化論	講義	12	レポート、受講態度	100	0	100	33	67	0	0
	情報文化論	講義	12	レポート、受講態度	83	0	83	58	17	8	17

(2) 学科長等がそれぞれの学科について、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状についてどのように受け止めているかを記述して下さい。

**[教養教育]**

評価方法は、その科目の特性や担当教員が学生の履修成果のどの点を重視するかによって違うが、多くの科目で総合的な評価が行われている点は評価したい。ただ、単位の取得状況・評価の現状は、担当教員によって違いが見られるようであり、平成21年度よりGPA制度が導入されるため、検討が必要であると思われる。

### **[家政学科 ファッション専攻]**

単位認定の方法は、講義、演習、実習、実験と授業形態によって多様であるが、講義は試験やレポート、演習、実習は作品を中心とするなど、概ね相応しい評価方法と思われる。単位の修得状況は、概ね9割前後の取得率である。取得率の低い科目は途中放棄の学生で、通常の単位取得希望の学生の場合は、本試験で不合格だった場合も、再試などで合格し単位取得している。

担当教員による評価の現状は、科目の特性などの結果と思われ、適切な範囲と考える。

### **[家政学科 食物栄養専攻 栄養士コース]**

単位認定は、講義科目では主として筆記試験で、実験・実習科目ではレポートや受講態度などを総合してなされている。単位の取得状況と評価の現状については、概ね適切であると受け止めている。それぞれの科目の特殊性や評価の観点の違いがあるため、科目間のばらつきは特に問題ないと考えられる。栄養士コースでは、栄養士免許必修科目の再試験実施の割合が多くなる傾向があるが、栄養士免許取得のための科目の評価としては妥当であると考えている。

### **[家政学科 食物栄養専攻 食生活コース]**

単位認定の方法は、栄養士コースと原則同じである。単位の取得状況及び担当教員による評価の現状については、科目により単位の取得状況の割合が低いものも見受けられる。卒業あるいは免許・資格に必須ではない科目においては、途中での授業放棄もある。今後、学生への指導、および、より勉学意欲を駆り立てる魅力的な授業作りなどの工夫によって、改善していきたい。

### **[児童教育学科、専攻科 (保育専攻)]**

単位認定は、講義・演習科目は主として期末の筆記試験やレポートの内容、実習科目は実技試験、作品内容や出席状況等を総合して判断されている。担当科目の特質、教員の考え方により、重視する評価の観点は当然のことながら異なっているものの、概ね適切であると受け止めている。授業科目ごとの単位取得状況をみると、再試験の実施数には、教員間に差がみられる。しかし、担当教員による評価観の違いがあるため、容認の範囲と考える。また、全体的にみると、専攻科生の再試験実施数は、本科の学生より少ない。これについては、専攻科生の勉学意欲の高さであると考えている。

### **[美術・デザイン学科]**

単位認定の主たる方法は、講義は試験やレポート、演習・実習は作品の提出を中心としており、相応しい評価方法と思われる。ただし芸術系教育の特性として、個性的で創造的表現が求められるため、評価基準も多様にならざるをえない。それらと社会的要請を結び付け普遍的価値を模索することが学生の学習意欲を高めるために必要と考え、いかに両者の一致点を見出すことができるかを課題としている。本学科では学内・学外を問わず、学習成果の発表の場における搬入・展示・運営・搬出までを単位認定、評価の対象としている。この機軸は、全教員に理解を得ており、学生の学習意欲の増進、達成感の獲得にもつながるものと捉えている。

### **[専攻科 (美術・デザイン専攻)]**

単位認定の方法は、講義・演習・実習と授業形態によって違うが、講義はレポート中心に、演習・実習は作品の提出をもとに評価しており、いずれも適切な評価であると思われ

る。単位取得状況については、モチベーションの高さから概ね良好である。

(3) 学長等は、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状について、短期大学全体の状況をどのように受け止めているかを記述して下さい。

単位認定の方法は、講義、演習、実習、実技と授業形態によって多様であるが、シラバスに明記され厳正に行われている。出席状況の把握と指導、再試験者への指導も適切に行われ、単位取得の状況は概ね良好である。平成20年度入学生から従来のABC評価にS評価を加えたこと、さらに、平成21年度からGPA制度を導入することにより、より厳格な評価の実施にむけて取組んでいる。

#### 【授業に対する学生の満足度について】

(1) 各授業について、終了後に「学生の満足度」の調査を実施していればその調査の概要を記述して下さい。また調査票の様式等を訪問調査の際にご準備下さい。

「教育改善の努力について」で述べた授業評価アンケートの評価項目の最後に、総合的な評価項目として、各授業への満足度を調査する項目を設定している。「総合的に判断して、この授業は満足できるものであった」という質問項目に対し、4段階評価により回答を求めている。

この評価項目に対する平成20年度前期の全学的な評価結果は、「とてもそう思う」(47%)、「ややそう思う」(44%)、「あまりそう思わない」(7%)、「まったくそう思わない」(2%)であった。平成20年度後期は「とてもそう思う」(51%)、「ややそう思う」(41%)、「あまりそう思わない」(6%)、「まったくそう思わない」(2%)と、「とてもそう思う」が増加して「ややそう思う」を上回っており、学生の満足度は概ね良好なものであると判断できる。今後、各学科とも、これまで以上に学生の授業に対する意識に配慮し、満足度の高い授業を展開して行きたい。

(2) 担当教員が授業終了後の学生の満足度に配慮しているかについて、学科長等が現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

#### 【教養教育】

授業評価アンケートの結果、総合的な満足度で「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた割合は、前期91%、後期89%と前年度より改善傾向にあるが、授業の理解はやや低い。これは授業内容が一部の学生に少し高度に受け取られている可能性を示唆している。授業内容の質を落とさず、平易な提示方法を心がけるとともに、学生自身の受講姿勢の向上に努めたい。

#### 【家政学科】

授業評価アンケートの結果は、総合的な満足度において「とてもそう思う、ややそう思う」の割合は、ファッション専攻において前期91%、後期84%。食物栄養専攻栄養士コースにおいて前期79%、後期88%。食物栄養専攻食生活コースにおいて、前期86%、後期88%である。このように満足度が高いのは、各教員が学生の授業に対する受講姿勢を充分把握し工夫した成果であると考えられる。

**〔児童教育学科、専攻科（保育専攻）〕**

平成 20 年度の授業評価アンケート結果によると、総合的評価で「とてもそう思う、ややそう思う」と回答した割合は、本科は前期 92%、後期 95%、専攻科では前期 92%、後期 96%で、いずれも非常に高い評価を得ている。これは、全教室に DVD やビデオを設置しているため、各教員は授業時にそれらを活用したり、発表形式を組み込むなどの工夫をこらした成果であると考えている。今後とも学生のニーズに応じた満足度の高い授業が提供できるよう努めたい。

**〔美術・デザイン学科〕**

平成 20 年度の授業評価結果によれば、総合評価は「とてもそう思う、ややそう思う」と回答した割合は前期、後期とも 95%と極めて高く、各教員は学生の満足度に充分配慮している。

**〔専攻科（美術・デザイン専攻）〕**

学生の単位取得状況は良好であり、授業に対する満足度は前期は 98%、後期は 95%と総合的にはいずれも高い。また、「野外アートフェスティバル」「冬至祭・光のメタファー展」などイベント参加は、ハードな取り組みとなっているが、学生たちは確実に満足感を得ており、「冬至祭・光のメタファー展」の振り返りとして行ったアンケートにもそれはよく現われている。

◇参考資料「冬至祭・光のメタファー展資料」

(3) 学長等は短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

平成 20 年度の「学生による授業評価アンケート」の結果は、概ね良好であると思われる。教員各自が今後もさらにきめ細かい学習支援を行い、学生のニーズに応じた満足度の高い授業の提供に期待したい。

**【退学、休学、留年等の状況について】**  
 (1) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の退学、休学、留年等の数を、次の表を例にして学科等ごとに記載し、学科等の状況を明らかにして下さい。

家政学科（ファッション専攻）の退学者等一覧表 (平成21年3月31日現在)

区分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備考
入学者数	28	38	31	
うち退学者数(除籍含む)	5	2	0	
うち休学者数	0	0	0	
休学者のうち復学者数	0	0	0	
うち留年者数	1	1	0	
卒業者数(3月卒+9月卒)	23	35		

家政学科（食物栄養専攻栄養士コース）の退学者等一覧表 (平成21年3月31日現在)

区分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備考
入学者数	88	53	59	
うち退学者数(除籍含む)	4	6	3	
うち休学者数	3	0	0	
休学者のうち復学者数	1	0	0	

うち留年者数	2	2	0	
卒業者数(3月卒+9月卒)	83	46		

\*18年度入学・・休学者数3のうち2は同一学生。留年者数2は同一学生。

家政学科（食物栄養専攻食生活コース）の退学者等一覧表 (平成21年3月31日現在)

区分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備考
入学者数	29	22	18	
うち退学者数(除籍含む)	4	2	0	
うち休学者数	0	2	0	
休学者のうち復学者数	0	0	0	
うち留年者数	4	3	0	
卒業者数(3月卒+9月卒)	25	19		

\*19年度入学・・留年者数3のうち2は同一学生。

児童教育学科（初等教育コース）の退学者等一覧表 (平成21年3月31日現在)

区分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備考
入学者数	39	38	29	
うち退学者数(除籍含む)	3	6	1	
うち休学者数	1	3	1	
休学者のうち復学者数	0	0	0	
うち留年者数	2	5	0	
卒業者数(3月卒+9月卒)	36	31		

児童教育学科（幼児教育コース）の退学者等一覧表 (平成21年3月31日現在)

区分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備考
入学者数	193	132	108	
うち退学者数(除籍含む)	32	12	7	
うち休学者数	2	1	2	
休学者のうち復学者数	1	0	1	
うち留年者数	17	3	3	
卒業者数(3月卒+9月卒)	160	118		

\*18年度入学・・留年者数17のうち6は、2回留年の学生3名

美術・デザイン学科の退学者等一覧表 (平成21年3月31日現在)

区分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備考
入学者数	56	41	33	
うち退学者数(除籍含む)	3	6	1	
うち休学者数	3	0	1	
休学者のうち復学者数	1	0	0	
うち留年者数	4	4	1	
卒業者数(3月卒+9月卒)	53	35		

\*18年度入学・・休学者数3のうち2は同一学生。留年者数4のうち2は同一学生。

専攻科（保育専攻）の退学者等一覧表 (平成21年3月31日現在)

区分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備考
入学者数	86	98	97	
うち退学者数(除籍含む)	0	0	1	
うち休学者数	0	0	0	
休学者のうち復学者数	0	0	0	
うち留年者数	0	0	0	
修了者数	86	98	96	

専攻科（美術・デザイン専攻）の退学者等一覧表

(平成21年3月31日現在)

区分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備考
入学者数	8	13	9	
うち退学者数(除籍含む)	0	1	0	
うち休学者数	0	0	0	
休学者のうち復学者数	0	0	0	
うち留年者数	0	0	0	
修了者数	8	12		

(2) 退学者の退学理由割合、退学理由の最近の傾向及び退学者、休学者（復学者を含む）及び留年者に対する指導（ケア）の現状について学科等ごとに記述して下さい。

**[家政学科]**

退学・除籍の理由は、「修学の意味なし」、「進路変更」および「経済的な理由」が大半を占める。一人暮らしなどで身内に相談しにくい場合や、友人とのコミュニケーションが上手くとれない学生などもおり、学生の欠席が目立ってきた場合、アドバイザーから欠席学生に連絡をとり、本人または保護者に事情を聴くなどの支援を行っている。特に進路変更に関しては、本人にとって最善の決断ができるよう支援している。

**[児童教育学科]**

退学・除籍の理由は、「進路変更」、「修学の意味なし」および「経済的な理由」が大半を占める。教職への適正に自ら疑問を感じ、進路を変更するケースが見られる。調査結果から欠席の多い学生に関する情報の提供を受けて、アドバイザーが中心となり学生との面談及び保護者との連絡を行う等、早急な対応に心掛けている。さらに本人の抱える問題によっては、授業担当者や学生相談室などとも連携を取り、退学者等の防止に努めている。

**[美術・デザイン学科]**

退学・除籍の理由は、「修学の意味なし」、「進路変更」および「経済的な理由」が大半を占める。近年の経済的な不安を抱え、また、多様な価値観及び学修履歴を持った学生が増加している状況においては、特に退学・休学・留年に対する取り組みの強化が肝要であり、それらに焦点を当てた学生指導を行っていくべきと考えている。

**[専攻科（保育専攻）]**

専攻科（保育専攻）は、保育士資格取得をめざして選抜された者が、本科2年を卒業後進学してくるため、目的意識が明確で授業内容への満足度も高い。これまでに退学者等はほとんどないが、アドバイザーや授業担当者等が連携し、学生の学業・生活などの支援に努めている。

**[専攻科（美術・デザイン専攻）]**

退学理由については、経済的理由ならびに自身の意欲・方向性に関する問題ということがある。経済的理由については、奨学金等で援助できる範囲のものもあるが、材料費などで過剰な負担にならないよう配慮している。アドバイザーだけでなく、各授業担当の教員が常にアドバイスできる体制をとっている。

(3) 退学、休学、留年等の現状を、学科長等がどのように受け止めているかを学科等ごとに記述して下さい。

### 〔家政学科〕

入学時には明確な目的を持って入学しても、学費負担者（＝保護者、両親）の経済的事情により学費未納の末、退学する学生が存在することは、非常に残念である。また基礎学力の不足により、退学、休学、留年者が出ており、この点については、補習や個別指導により対応している。その成果が現れていると考えるが、退学者数は減少傾向にある。

### 〔児童教育学科〕

平成 18 年から 20 年の 3 カ年、年々退学者の比率は減少している。特に、平成 18 年に比べて、20 年の退学者比率は大幅に減少した。これについては、教務課と教員が全学欠席調査を行い欠席状況の把握と、教員間の意思疎通を図る情報交換に努めた成果と考えられる。欠席が目立つ学生には、アドバイザーが連絡を取り、本人や保護者から事情を聞くなど、早めに対応している。今後もさらに退学者の減少に努める。

### 〔美術・デザイン学科〕

対象となる学生は減少している。学内のカウンセリング、アドバイザー制度がよく機能した成果と受け止めている。さらに、教職員間の情報交換や協力的な学習環境を保ち、学生生活を豊かにするよう努めたい。ただし、保護者の経済状況によって、退学せざるをえない学生がいることに課題を感じており、解決策を探りたい。

### 〔専攻科（保育専攻）〕

現在のところ、退学、休学、留年等はほとんどみられない。過去 3 カ年の中で、退学者は平成 20 年の 1 名のみである。退学等が少ない理由として、入学者の目的意識の高さと、それに対応し得る充実した教育内容が考えられる。今後とも専攻科（保育専攻）生の高いニーズに応えられるような授業内容を提供し続けて行くことが責務であると考ええる。

### 〔専攻科（美術・デザイン専攻）〕

対象となる学生はごく少数である。専攻科に進学して何が変わるかといえば、本科では与えられていた課題やその実践の方法を自身で決定していくということである。今後、個人的な差異への視点も見失わず、教員相互の意思の疎通を図りながらいかにサポートしていくか、さらなる改善方策を探りたいと考える。

（4）学長等は、短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

退学・除籍者数は、平成 18 年度の本科に関しては、入学者数に対して 10%を超える学科もあり、高い割合を示していた。しかし、平成 20 年度はどの学科においても大幅な減少が見られる。5 名の学内カウンセラーを置き、クラスアドバイザー制を導入して、きめ細かな学生指導を行ってきたことに加え、教務課を中心として欠席がちな学生の早期把握を行い、アドバイザー等が適切なケアに努めたことなどが、一定の成果につながったと考えられる。退学・除籍の主な理由としては「進路変更」「修学の意味なし」に加え「経済的な理由」が大きな位置を占めるようになった。経済的理由に対しては奨学金制度で、また、学力不足、目的意識を持っていない、友人関係等の悩みなどの問題を抱えた学生については、「愛と誠実」を基本により丁寧な指導と対応ができるように教員の交流と研鑽に努めたい。



**【資格取得の取り組みについて】**

(1) 《Ⅱ教育の内容》の【教育課程について】(3)(8ページ)で報告頂いた取得が可能な免許・資格、また教育課程とは別に取得の機会を設けている免許・資格の取得状況(取得をめざした学生数、取得者数、取得割合等)を学科等ごとに示して下さい。

家政学科(ファッション専攻)の免許・資格の取得状況表 (平成20年度)

免許・資格名	取得をめざした学生数	取得者数	取得割合(%)	備考
図書館司書	1	1	100	
2級衣料管理士	17	17	100	
ファッションデザイン色彩技能検定3級	22	22	100	
2級サービス接遇検定	3	2	67	
3級サービス接遇検定	5	5	100	
2級漢字能力検定	1	0	0	
準2級漢字能力検定	5	1	20	
3級漢字能力検定	2	0	0	
2級色彩検定	1	0	0	
3級色彩検定	5	2	40	
2級秘書検定	2	0	0	
3級秘書検定	1	0	0	
2級情報処理技能検定(表計算)	1	1	100	

家政学科(食物栄養専攻栄養士コース)の免許・資格の取得状況表 (平成20年度)

免許・資格名	取得をめざした学生数	取得者数	取得割合(%)	備考
栄養士免許	48	42	88	
栄養教諭二種免許	10	8	80	
図書館司書	2	2	100	
フードスペシャリスト	19	10	53	
フードサイエンティスト	22	17	77	
2級漢字能力検定	7	1	14	
準2級漢字能力検定	12	1	8	
3級漢字能力検定	1	1	100	
3級サービス接遇検定	1	0	0	
2級秘書検定	8	2	25	
3級秘書検定	9	2	22	
3級情報処理技能検定(表計算)	2	0	0	

家政学科(食物栄養専攻食生活コース)の免許・資格の取得状況表 (平成20年度)

免許・資格名	取得をめざした学生数	取得者数	取得割合(%)	備考
中学校教諭二種免許状(家庭)	2	2	100	
図書館司書	9	6	67	
フードスペシャリスト	5	1	20	
フードサイエンティスト	3	3	100	
2級サービス接遇検定	1	0	0	
3級サービス接遇検定	2	1	50	
2級漢字能力検定	3	1	33	
準2級漢字能力検定	1	0	0	
3級漢字能力検定	5	1	20	

2級秘書検定	2	1	50	
3級秘書検定	7	0	0	
2級情報処理技能検定（表計算）	9	8	89	

児童教育学科（初等教育コース）の免許・資格の取得状況表（平成20年度）

免許・資格名	取得をめざした学生数	取得者数	取得割合(%)	備考
小学校教諭二種免許	28	28	100	
幼稚園教諭二種免許	28	28	100	
図書館司書資格	2	2	100	
学校図書館司書教諭資格	4	3	75	
ピアヘルパー	16	11	69	
2級漢字能力検定	6	0	0	
準2級漢字能力検定	8	1	13	
2級秘書検定	9	3	33	
3級秘書検定	3	0	0	

児童教育学科（幼児教育コース）の免許・資格の取得状況表（平成20年度）

免許・資格名	取得をめざした学生数	取得者数	取得割合(%)	備考
幼稚園教諭二種免許	117	106	91	
図書館司書資格	8	7	88	
ピアヘルパー	49	41	84	
2級サービス接遇検定	1	1	100	
3級サービス接遇検定	3	1	33	
2級漢字能力検定	8	2	25	
準2級漢字能力検定	15	1	7	
3級漢字能力検定	10	2	20	
2級秘書検定	4	0	0	
3級秘書検定	10	1	10	
3級情報処理技能検定（表計算）	2	2	100	

美術・デザイン学科の免許・資格の免許・資格の取得状況表（平成20年度）

免許・資格名	取得をめざした学生数	取得者数	取得割合(%)	備考
中学校教諭二種免許状（美術）	7	7	100	
図書館司書	5	5	100	
学校図書館司書教諭	3	3	100	
商業施設士補	6	6	100	
色彩検定2級	1	1	100	
色彩検定3級	13	10	77	
2級漢字能力検定	11	1	9	
準2級漢字能力検定	17	4	24	
3級漢字能力検定	7	2	29	
2級色彩検定	2	1	50	
3級色彩検定	20	10	50	
2級秘書検定	2	1	50	
3級秘書検定	2	0	0	
3級情報処理技能検定（表計算）	1	0	0	

専攻科（保育専攻）の免許・資格の取得状況表

（平成20年度）

免許・資格名	取得をめざした学生数	取得者数	取得割合(%)	備考
保育士	95	93	98	科目等履修生1名取得
保育音楽療育士	28	27	96	
社会福祉主事任用資格	98	98	100	
ピアヘルパー	6	5	83	
3級サービス接遇検定	1	0	0	
2級漢字能力検定	1	0	0	
準2級漢字能力検定	4	1	25	
2級秘書検定	2	1	50	
3級秘書検定	1	1	100	

専攻科（美術・デザイン専攻）の免許・資格の取得状況表

（平成20年度）

免許・資格名	取得をめざした学生数	取得者数	取得割合(%)	備考
学士（芸術学）	10	9	90	※
3級色彩検定	1	1	100	
2級漢字能力検定	1	0	0	
3級漢字能力検定	1	1	100	
2級秘書検定	2	0	0	

※学位授与機構認定。平成21年3月修了生の4月期審査の状況は含まれていない。

(2) 今後導入を検討している免許・資格があれば記述して下さい。

**【家政学科 食物栄養専攻 食生活コース】**

レストランサービス技能士（3級）受験資格を平成21年度より導入する。

**【児童教育学科】**

レクリエーション・インストラクター資格を平成21年度より導入する。また、専攻科でのみ取得していた社会福祉主事任用資格を平成21年度から本科においても取得できるようにする。

**【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】**

(1) 学科等ごとに専門就職（当該学科等で学習した分野に関連する就職）の状況（専門就職数、割合等）について記述して下さい。また学科等ごとに専門就職先からの卒業生に対する評価について何か文書や資料があれば参考資料として準備して下さい。

**【家政学科 ファッション専攻】**

卒業生の就職希望者の内、織物衣料・身の回り品等の小売業や繊維関係への就職率(a)、その内、販売職に就いている者の率(b)は、平成18年度 (a)69% (20人)、(b)95% (19人)、平成19年度 (a)41% (7人)、(b)100%、平成20年度(a)56% (19人)、(b)100% (19人)で、専門関係への就職は年度によって違いがあるものの、専門関係に就職した者のうちの9割以上が販売職となっている。このほか、例年、若干名、企画・デザイナーへの就職や、紡績検査などの衣料管理士資格活用の就職がある。

**【家政学科 食物栄養専攻】**

食物栄養専攻の専門就職は、栄養士が該当する。

栄養士としての就職率は、平成 18 年度 29% (24 人)、平成 19 年度 35% (29 人)、平成 20 年度 57% (20 人) である。

#### [児童教育学科]

本科生の多くは専攻科（保育専攻）に進学している。平成 18 年から 20 年度では、専門就職を希望している者のうち、約 90%が幼稚園等に就職している（平成 20 年度 94% (16 人)）。専攻科の定員増などを図り、本学において 3 年間修学することで、保育・教育の力を付けた学生を専門分野に送り出せるように努力している。卒業生に対する就職先の評価については、教育実習巡回指導の折に、担当指導教員や施設長から伺う機会を設けているが全般的に良い評価を得ている。

#### [美術・デザイン学科]

平成 20 年度就職内定率は 78%だが、専門就職率は低い。ただし、事務職につきながら作家活動をしたり、専門の知識・技能を家庭やボランティア、異業種に生かしていきたいと考える学生の傾向が増えており、今後、多様な進路を目指す学生に細やかに対応したい。なお卒業生の情報、専門就職先からの卒業生に対する評価については教員が個人的に収集しているが、今後、同窓会および学生支援課と連携して組織的に行いたい。

#### [専攻科（保育専攻）]

平成 18～20 年度では約 96%（平成 20 年度 97% (83 人)）が本学での 3 年間で得た資格を生かし、保育士、幼稚園教諭等の専門職に就いている。また、就職先からの評価は、保育実習や本科での教育実習の巡回指導の折に伺っているが概ね良好である。

#### [専攻科（美術・デザイン専攻）]

平成 20 年度就職内定率は 64%である。専門就職については、インテリア・ディスプレイ・グラフィック・テキスタイル等デザイン系が主となるが、修了時にあわせての就職とは限らず、修了後、仕事を獲得していく学生が増えている。在学時にはテキスタイルを専攻しながら Web デザイナーをしている者や、福祉施設で美術の指導する者など、専門の枠を超えて美術、デザインの仕事についている者も多い。一方、事務職につきながら作家活動を続けている者や、絵画教室の講師などをしながら作家として発表を続けている者も多い。他の職種に就く者にあっても、職場において創造的な力を生かしている旨、卒業生から個別に報告されている。

◇参考資料「本学卒業生に関するアンケート」

(2) 卒業生に対する就職先（専門就職に限らない）及びその他の進路先（編入先等）からの評価をどのように受け止めているかについて、短期大学全体については学長等が、学科等については学科長等が記述して下さい。

#### [家政学科]

アパレル関連販売店の店長で活躍し、売り上げを伸ばして優秀な成績を修めると企業から評価されている卒業生も多い。服飾デザイナーとして活躍している卒業生もいる。ファッション専攻においても、食物栄養専攻においても、本学の教育が卒業後役立ち、社会に有用な人材を育成していると考えられる。

### 〔児童教育学科〕

就職先からの評価については、本学科の教員や学生支援部のスタッフが就職先を訪問した際に聞いており、概ね肯定的な評価を得ている。本学卒業生の在職する就職先からの求人も多く、卒業生に対する良好な評価の表れと受け止めている。

### 〔美術・デザイン学科〕

教職員が企業訪問した際に得る評価は、肯定的なものが多い。特に、卒業生の勤務する企業からの求人は評価が高いことを示すものである。編入学状況は、本学専攻科がほとんどを占めるが、他大学に編入した学生の評価も概ね高い。本学の教員が編入先の授業の合評に参加することもあり、教員間で交流することで評価の高さを確認している。

### 〔専攻科（保育専攻）〕

卒業生のほとんどが幼稚園、保育所への専門職に就いている。就職先からの評価については、本学科の教員や学生支援部のスタッフが就職先を訪問した際に聞いており、概ね肯定的な評価を得ている。同じ卒業生の就職先からの求人も多く、卒業生に対する良好な評価の表れと受け止めている。

### 〔専攻科（美術・デザイン専攻）〕

本科に準ずる。特に評価されることは、専攻科卒業生は創造的であること、そして自分の考えを表現できるということである。作家活動を続けるものにも共通する資質であり、画廊などでの評価も高く、企画展への招聘にもつながっている。

### 〔学長見解〕

卒業生の就職先および進路先からの評価については数的な把握はできていないが、全体的に良好であると受け止めている。このことは長年にわたって求人依頼があり、高就職率であることから判断できる。また本学の教員や学生支援部のスタッフが就職先や進路先を訪問した際、卒業生に対して「明るくて素直である」「真面目」「努力家」「よく頑張る」という肯定的な評価を得ている。

(3) 卒業生に対して「学生時代についてのアンケート（卒業後評価等）」等を実施している場合はその概要とその結果を記述して下さい。また教育の実績や効果を確認するための卒業生との接触、同窓会等との連携等を行っている場合もその取り組みの概要と結果について記述して下さい。

卒業時に「学生生活についてのアンケート」を実施している。その内容は、教育内容、教育環境、学習支援、進路支援、学生生活支援などの項目に対して4段階で評価する様式である。

### 〔家政学科〕

卒業時の「学生生活に関するアンケート」では、満足していると回答している者が半数以上を占めている。また、食物栄養専攻では、毎年1月に卒業生対象の管理栄養士国家試験対策講座を実施し、その機会に短大での教育内容への要望や意見を聞いている。

### 〔児童教育学科〕

卒業時の「学生生活に関するアンケート」では、肯定的な回答が70%以上を占めている。また、毎年夏休みには、卒業生の音楽・美術・体育等の保育技術向上をねらいとして「夏期

実技講習会」(幼児教育研究所主催)を実施している。参加者の卒業生より本科への要望等を把握するよう努めているが、その機会をより充実させ、平成21年度からは開始時期を早め、6月に実施する予定である。

#### **[美術・デザイン学科、専攻科(美術・デザイン専攻)]**

卒業時に「学生生活についてのアンケート」を実施している。卒業生へのアンケートは現時点では実施されていないが、卒業生が個展など作品発表の連絡をしてくる場合が多く、教員が出向いて直接、在学時の満足度と改善点をヒヤリングするように努めている。また、学科主催の進路説明会などで、幅広い分野から卒業生を招いて情報を集めている。そのほか、技術指導を求めて来学する卒業生も多く、積極的にコミュニケーションをとり接触の機会を作るよう努めている。本年度、3月末に20年間の卒業生が一堂に会すOG会を開いたコースがあり、その際、聞くことのできた卒業生たちの意見・感想を今後の参考にしたといと考える。

#### **[専攻科(保育専攻)]**

修了時のアンケートでは、教育内容を含む大学生活全般についての満足度は高く、ほぼ80%が肯定的な回答を寄せている。また、児童教育学科で毎年行っている、保育・教育職に就く卒業生を対象とした「夏期実技講習会」には専攻科(保育専攻)修了生も多数参加している。そこでは、職場や世代を超えた交流、情報交換が活発に行われるため、大学に対する評価や要望など専攻科修了生の声を聞く機会がある。今後は、アンケートを採るなどして、より積極的にこの機会を活用していくことを検討している。

◇参考資料「学生生活に関するアンケート」

「幼児教育研究所報」(第18号、第19号、第20号)

(4) 卒業生が社会からどのように評価されているか、学科長等、学長等は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

#### **[家政学科]**

ファッション専攻卒業生は短大卒業後、販売職に就く者が多いが、その後キャリアを積み、営業や人事担当までいく者、専門職として検査部に配属になる者など、各々の分野で評価された結果、適材適所に抜擢され活躍していると受け止めている。食物栄養専攻においては、校外実習訪問や栄養士関係の研修会等の機会に卒業生の動向や評価を聞くことがある。その多くが、「真面目」、「努力家」、「よく頑張る」という評価であり、全体的に良い評価をされていると受け止めている。

#### **[児童教育学科]**

本学科は、長年にわたる保育者・教育者養成の歴史を有している。その間、教育・保育の現場に多くの人材を輩出してきた。現在、短期大学の卒業生のなかには、小学校、幼稚園、保育所等の管理・運営の責任を担っている人材も多く、伝統に支えられた社会的評価は高いと考えられる。

#### **[美術・デザイン学科]**

卒業生の社会活動は多様で、市役所に勤めながらデザインの職能を発揮する公務員、デザイン事務所の経営者、アート作品を販売するカフェの経営者、養護施設でアートの能力

を活かしたセラピスト、主婦でありかつ介護ボランティアのリーダーもいる。卒業生は、美術、デザインの専門を応用することで現代社会に貢献しているものと捉えている。

#### **【専攻科（保育専攻）】**

卒業生の96%が幼稚園、保育所への専門職就職を果たしている。就職先からの評価については、本学科の教員や学生支援部のスタッフが就職先を訪問した際に聞いており、概ね肯定的な評価を得ている。卒業生が在職する就職先からの求人も多く、卒業生に対する良好な評価の表れと受け止めている。専攻科設置から5年を経過し、3年制保育士養成課程の社会的評価が定着したと考えられる。

#### **【専攻科（美術・デザイン専攻）】**

修了生は、社会において「発想の柔軟さ」と「行動力」を特に高く評価されている。それは、専門技術だけではなく、創造性・発想力・協働性・実現力・表現力など人間の能力に気づき、自信を持って社会を生きていく力を身につけたことによる「明快さ」の所以であろう。本専攻科の教育目標が達成されている証しであり、今後もこの方向性を維持していきたい。

#### **【学長見解】**

卒業生の多くは、「明るくて素直である」「真面目で努力家」「よく頑張る」という評価を得ており、職場や家庭において円満な人間関係を構築していると考えられる。

総卒業生数は32,900人を超え、多岐にわたる分野で活躍しているが、今後もより人間力のある、社会に貢献できる人材育成を目指したいと考えている。

#### **【特記事項について】**

(1) この《IV教育目標の達成度と教育の効果》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教育目標の達成度と教育の効果について努力していることがあれば記述して下さい。

#### **【児童教育学科】**

進路支援の一環として設けた、ピアヘルパー資格取得のための資格認定試験対策講座(正課外)に、学生の積極的な参加を促し、一定の成果を上げている。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## 《V 学生支援》

### 【入学に関する支援について】

- (1) 入学志願者に対し、短期大学は建学の精神・教育理念や設置学科等の教育目的・教育目標、求める学生像をどのような方法、手段で明示しているかを記述して下さい。なおそれらが記載されている短期大学案内等の印刷物を添付して下さい。

建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標を大学案内とホームページに明示している。入学試験要項には学科の教育目的・教育目標と求める学生像を明示し志願者に周知をはかっている。また、授業内容を紹介したDVDや年4回発行している小冊子「パルフル」などを志願者に届け、学科の教育目的・教育目標をわかりやすい形で志願者に知らせる努力をしている。さらに、オープンキャンパスや進路ガイダンス（学外の業者主催）でも、説明を通じて周知をはかるべく工夫をしている。

◆添付資料「大学案内2009」

◇参考資料「2009年度入学試験要項」「パルフル」

- (2) 入学志願者に対し、入学者選抜の方針、選抜方法（推薦、一般、AO入試等）をどのような方法、手段で明示しているかその概要を簡潔に記述して下さい。なおそれらが記載されている募集要項等の印刷物を参考資料としてご準備下さい。

学科の目標と求める学生像、入学者選抜の方針、選抜方法（推薦、一般、AO入試等）を入学試験要項に明記している。

◇参考資料「2009年度入学試験要項」

- (3) 広報及び入試事務についての体制（組織等）の概要を記述して下さい。また入学志願者、受験生等からの問い合わせにはどのような体制で応じているかを記述して下さい。

学長を委員長とし、部・館長、各学科長、事務局長と広報課職員をメンバーとする入学委員会を設置し、入試広報・入試制度の企画・立案や入学試験の結果判定などを行っている。事務組織としては、広報課を設置し、7名の職員で入試広報の企画・立案（素案づくり）、大学案内等印刷物の作成、ホームページの編集、オープンキャンパスなど本学主催のイベントの運営、見学者の応対、入学試験の実施にあたっている。さらに、入学志願者・高校教員などからの問い合わせには電話やEメールで回答をし、高校訪問も行って情報提供に努めている。

- (4) 願書受付から合否通知にいたる入学試験の流れについて、選抜方法ごとにその概要を記述して下さい。また多様な選抜を公正かつ正確に実施しているかどうか、入試事務の責任者は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。入学願書等を参考資料としてご準備下さい。

願書を受付後、提出資料をチェックし、要件を満たしている出願者を受理して受験番号を付番し、志願者情報をコンピュータに入力、入学試験後、結果をコンピュータに入力し



て合否判定資料を準備、合否決定後、合否通知を発送している。合否判定については、学長を委員長とする「入学委員会」を置いて、各学科の検討結果を基にした入試結果判定案を作成し、教授会に提案して審議決定している。

入試制度としては、「AO入試」、「指定協力校制推薦入試」、「専願推薦入試」、「併願推薦入試」、「夙川学院高校特定学科推薦入試」、「夙川学院高校対象推薦入試」、「一般入試」、「外国人留学生特別入試」、「社会人特別入試」がある。また、2つの専攻科生を募集する「専攻科（保育専攻）入試」と「専攻科（美術・デザイン専攻）入試」がある。入試制度ごとに、それぞれの特色を生かしながら選抜方法を工夫している。処理については、広報課職員が複数で担当し、チェック機能を働かせている。推薦入試には、筆記試験・実技試験（美術）・面接・小論文など多様な入試方法を用意して、色々な特性を持った入学者の受け入れに努めている。

外国人留学生特別入試には、「日本留学試験（日本語）200点以上の得点がある方、または日本語能力試験2級以上に合格の方」という客観的評価による出願資格を導入している。また外国人留学生特別入試で入学する学生には、勉学に専念できるように「入学料免除」、「授業料30%減免」、「外国人留学生特別奨学金」など経済的支援を行っている。

身体に障害を有する志願者には、入学試験要項に「事前相談を要するケース」として、座席指定による受験や筆談による受験等を例示し、必要があれば試験実施にあたって配慮を行っている。

#### 選抜方法ごとの入学試験方法

入試制度	選抜方法
AO	所定の課題レポートを提出し、1回の面談を実施。内定通知によって出願手続きに入る
指定協力校制推薦	書類審査と面接により判定
夙川学院高校特定学科推薦	
専願推薦	書類審査と適性検査により判定
併願推薦	書類審査と適性検査により判定
夙川学院高校対象推薦	
一般	筆記試験または実技試験により判定
外国人留学生特別	面接により判定
社会人特別	小論文と面接により判定
専攻科（保育専攻）	書類審査ならびに適性検査と小論文の総合点により判定
専攻科（美術・デザイン専攻）	小論文と作品または論文の総合点ならびに面接により判定

様々な志願者に応じて多様な選抜方法を提供することができていると考えるが、今後さらに公正かつ適正に実施していく努力を続けたい。

◇参考資料「2009年度入学試験要項」

(5) 合格者もしくは入学手続き者に対し、入学までの間、授業や学生生活についてどのような方法、手段で情報の提供を行っているかを記述して下さい。なおそのための印刷物等があれば参考資料としてご準備下さい。

入試合格者と入学手続き完了者には各学科・専攻からのメッセージを送付し、入学までの学習目標を提示している。また、各学科で開催するイベントの案内を送付し、本学学生の学習成果の発表に直接触れる機会を提供している。また、AO、指定協力校制推薦、専願推薦、併願推薦の各入試での入学予定者には、学習支援として、日本漢字能力検定（漢検）

2級と実用英語技能検定（英検）準2級の文部科学省認定通信教育講座受講費用を補助している。（希望者のみ）

◇参考資料「学科・専攻からのメッセージ」「各種展覧会等の案内」「学習支援の案内」

(6) 入学後（入学直前を含む）、入学者に対して行っている学業や学生生活のためのオリエンテーション等の概要を示して下さい。

入学者に対して行うオリエンテーションは、大学生活を円滑に行うための導入として、入学式翌日から4日間にわたり実施している。教務部では、新入生全体に対し、まず大学生として知っておくべき基本的な知識を説明し、その後各学科に分かれ、さらには専攻、コース、クラス別に分かれて細部にわたる説明を行い、授業の受講方法や単位の計算方法など学生の質問に答えながら、理解が得られるよう個別指導も行える体制をとっている。また、学生支援部では、学生生活全般ならびに奨学金説明会なども実施している。

#### 【学習支援について】

(1) 入学時もしくは学期ごとに行っている学習や科目選択のためのガイダンス等の概要を示して下さい。

科目選択のためのオリエンテーションを4月初めに4日間開催して、前期・後期の科目選択が円滑にできるように指導している。2年生については、この期間に成績表を配布し、今後の単位修得の確認、履修相談を受け付けている。

また、本学では学生の携帯電話に休講や教室変更、行事等を送信するキャンパスメール制度を導入しているため、その操作方法等を説明する機会も設けている。

◆添付資料「履修ガイド2008」

◇参考資料「2008年度オリエンテーション行事」

(2) 学習や科目選択のための印刷物（学生便覧等を除く）があれば参考資料としてご準備下さい。

各学科の講義概要（シラバス）を履修ガイドとともに1冊にまとめている。

◆添付資料「履修ガイド2008」

(3) 基礎学力不足の学生に対し補習授業等の取り組みを行っている場合は、その概要を記述して下さい。

家政学科食物栄養専攻では平成21年度からの教育課程において、栄養士として最低限必要な数学・化学・生物の基礎学力を身に付けさせて、専門教育を円滑に行えるように1回生前後に「栄養士基礎演習」を開講する。児童教育学科ではピアノの基礎技能を補う授業「特別研究及び演習」を長年実施してきた。平成21年度からは「音楽の基礎」と名称変更して実施する。

(4) 学生の学習上の問題、悩み等に対し指導助言のための取り組みや体制があれば記述して下さい。通信教育学科を置く場合には、添削等による指導の学習支援、教育相

談の体制及び運営状況を記述して下さい。

大学生活での学習上、生活上の助言を行うため、各専攻コース、クラスごとに担当の教員をアドバイザーとして配置している。専任教員は、オフィスアワーの時間帯を設け、学生からの学習上や生活面での相談にのっている。学生へは、教員のオフィスアワーの時間を学生手帳や学内掲示でも知らせているが、研究室の扉にもその時間帯を明示している。

また、学生相談室を設け、カウンセラーとも連携して、学生個人の悩みに対応している。特に授業に関しては、教務課でも相談を受け付けており、相談者の氏名を出さずに、担当教員や学科長とも、解決策を模索している。

(5) 進度の早い学生や優秀学生に対する学習上の配慮や学習支援を行ってれば、記述して下さい。

特別な支援体制はとっていないが、各授業の中では、担当教員が個別に対応することにより、学生がさらに高度な技術を身につけられるよう配慮している。

教養ゼミでは、取り組みテーマの優れているものを各ゼミより選び、合同発表会で発表する機会を設けており、その内容をゼミ冊子に掲載している。

◇参考資料「『教養ゼミ』研究録」

#### 【学生生活支援体制について】

(1) 学生生活を支援するための組織や体制（教員組織、事務組織のいずれも）の現状を示して下さい。

本学では、「愛と誠実」の教育理念の下、学生の立場に立った親身な指導と誠実な対応を心がけている。具体的には、専任教員によるアドバイザー、学生委員会、学生支援部が学生生活の支援、指導する体制をとっている。

①アドバイザーは、種々の相談や連絡の窓口となり、学生生活全般にわたって学生の状況を把握するとともに指導を行っている。また、すべての専任教員に週1回オフィスアワーを設け、アドバイザー以外の教員にも学生が自由に相談できる体制を整えている。

②学生委員会は、学生支援部長、部長補佐、各学科から選出された委員と学生支援課長で構成され、学生生活全般に対する指導、提案をするとともに、学友会（学生の自治会組織）行事など学生主催行事の指導・支援方法、地域を含む課外活動への援助などに関する内容について話し合っている。

③学生生活全般の窓口として、学生支援部の学生生活担当者が対応、指導、事務を行っている。主な内容として、学生生活に必要な様々な事務手続き、奨学金の手続き、アルバイトの紹介、学友会や寮の自治会の相談窓口など、学生生活全般のサポートである。

これらの組織以外に、学生相談室（カウンセリング室）を設けて、学生の精神面のケアを行っている。

(2) クラブ活動の現状、学友会の現状、学園行事（学園祭、短大祭等）の実施の状況を、その指導体制及び学生の活動状況を含めて記述して下さい。

①現在活動中のクラブは、文化系クラブは4団体（軽音楽部、ハンドベル部、甲岑会〔茶

華道部]、ボランティア部 [Freiwilliger]）、体育系クラブは4団体（バレーボール部、バスケットボール部、バドミントン部、タップダンス部 [Tap the Shiny]）がある。

各クラブの顧問は教員が担当し、年度初めに部長（クラブ代表）、部員名、年間活動計画表を学生支援部に提出させている。しかし近年の傾向として、授業やアルバイトなどで多忙なため、放課後に活動する時間的余裕がなく、各クラブとも部員の確保が難しくなっている状況である。

②学友会は、学生委員会、学生支援部のアドバイスを受けながら、学生大会、クラブ予算配分、献血運動、大学祭などの行事を企画し、実施している。役員の変更は12月に行われ、その後は1回生だけの組織となるため、役員間の引継ぎが円滑に行われ、活動しやすいように学生支援部が学友会の新役員に指導を行っている。

③大学祭は夙凛祭（シュクリンイ）と称し、毎年10月末に2日間の日程で開催している。学友会が中心となって、企画、渉外活動、運営をし、学生委員の助言、支援のもと、各種展示、模擬店、タレントの公演、ライブコンサートなど多様なイベントが行われている。しかし学生数の減少もあり、資金的には充分とは言えない。これらのバックアップのために、クラブ部費（学友会費から支出）以外に大学後援会から機材や合宿、大学祭でかかる費用の一部を補助している。

(3) 学生の休息のための施設・空間、保健室、食堂、売店の設置の概要について記述して下さい。なお訪問調査の際にご案内いただきます。

①学生の憩いの場として、本学の1号館（ホワイトホール）と11号館（クリスタルホール）に学生ラウンジが設置されている。ホワイトホールには、席数215席、自由にインターネットにアクセスできるコンピュータ7台、コピー機1台、飲料の自動販売機4台、パンの自動販売機1台設置。クリスタルホールには、席数150席、コンピュータ3台、コピー機1台、飲料の自動販売機7台を設置のほか、学生が自由に使用できる電子レンジや湯沸しポットを置いている。さらにミニコンビニを置き、文房具、スナック類、パン、お弁当、即席麺、雑誌や日用品を扱っている。また、中庭にはパラソル付のベンチ（2基）とピロティにはベンチ（12台）を配置し、学生の休息のためのスペースを提供している。また、個人用ロッカーを全学生に配備している。

②学生食堂は、見晴らしの良い明るい空間にあり240席がある。運営は業者委託しているが、和食・洋食・中華のメニューのほか、日替わり定食を低価格（350円）で提供している。その他飲物やアイスクリームの自動販売機も設置している。

③保健室では、ベッド4床とともに救急薬品を常備して、学内での怪我や体調不良の学生の応急処置にあたっている。

(4) 短期大学が設置する学生寮の状況、下宿・アパート等の宿舎の斡旋の体制、通学のための便宜（通学バスの運行、駐輪場・駐車場の設置等）の概要を示して下さい。

本学の学生寮（こしき岩寮）は、定員140名で、4人部屋制である。寮内には24時間常駐の寮監（夫婦）が寮生達の生活管理や緊急時の対応を行っている。

食事に関しては月曜日から土曜日の朝と夜の2食を給食管理会社が寮内の食堂で調理し

て提供している。寮内運営に関しては、学生支援部の助言、指導の下、寮自治会が行っている。また、定期的に学生支援部が寮生全員からアンケートを採り寮生の声を反映するように努めている。

下宿・アパート等の宿舎斡旋は、大学としては行わず、近隣の専門業者に任せているが、要望があれば資料を学生支援部で預かり、宿舎を探している学生に紹介をしている。

本学は最寄駅阪急電鉄甲陽園から徒歩 15 分の傾斜地に位置しているため、通学支援として午前 9 時から 11 時まで甲陽園から本学まで 9 人乗りのジャンボタクシーを 1 回 120 円で運行している（運行は業者に委託）。

基本的に自動車通学は認めていない。ただし、公共交通機関の不便な学生、身体に支障がある学生に対しては、申請により自動車通学を許可している。自転車に関しては、登録制で許可しており、駐輪場は 1 箇所（15 台）設置している。

(5) 平成 20 年度の日本学生支援機構等の外部奨学金の取得状況を記述して下さい。また短期大学独自の奨学金等があればその概要を記述して下さい。

外部奨学金として、「日本学生支援機構の奨学金」を 197 名が、(財)兵庫県国際交流協会の「私費外国人留学生奨学金」を中国国籍の学生 1 名が、美術・芸術・文化財等の分野を専攻する学生のための「(財)香雪美術館奨学金」を 2 名が各々受給した。

本学独自の奨学金としては、次のとおりである。

夙川学院短期大学独自の奨学金 (平成 20 年度実績)

奨学金種類	内容	採用人数枠	採用数
支給奨学金	(支給額) 上限 25 万円	20 名	23 名
貸与奨学金	(貸与額) 授業料相当額	12 名	4 名
後援会奨学金	(支給額) 上限 12 万円	15 名	6 名
社会人特別奨学金	(支給額) 30 万円	若干名	0 名
外国人留学生特別奨学金	(支給額) 20 万円	20 名	0 名
課外・自主活動奨学金	(支給額) 上限 10 万円	10 名(組)	2 組
海外研修奨学金	(貸与額) 上限 30 万円	若干名	0 名
緊急貸与奨学金	(貸与額) 当該年度学費未納分相当	若干名	0 名

採用人数枠に比べて採用数が少ない理由は、応募者が少なかったためである。

学生の家庭が経済的に困難を抱える状況になった場合、学生支援部では緊急に奨学金を受けられるよう体制を整えている。

◇参考資料「奨学金支給規程」「奨学金細則」「夙川学院短期大学後援会奨学金規程」「奨学生の選考に関する規程」「社会人特別奨学金規程」

(6) 学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの体制の概要を示して下さい。

①医務室

学生の健康維持と増進および病気やケガの応急処置のために医務室を設けている。具体的な業務内容としては健康相談、健康診断、傷害保険の手続きを行っている。その運営は、職員（養護教諭一種有資格者）1 名が駐在し、常駐職員がやむを得ず不在の時は、学生相談室長（医師）または学生支援部職員が緊急の対応をしている。またこの医務室は、次の学生相談室の窓口としての機能も担っている。

## ②学生相談室

学生生活における種々の問題の相談にのり、その解決に向かって支援することを目的としている。構成員は室長（医師）1名、専任教員2名（臨床心理士及び学校心理士）、非常勤教員2名（内1名は臨床心理士）で、月曜日から金曜日まで毎日最低1名が勤務し学生からの相談に当たっている。近年は心理・精神面での困難を抱える学生が本学に限らず増えてきていると思われるが、相談内容は本学においても心理・精神面でのものが主であり、それに対応できるような相談員の構成としている。また授業時間割に合わせて学生が相談に来やすいよう、昼休みや放課後に相談・カウンセリングを行うなど、柔軟に運営するよう配慮している。

◇参考資料「健康管理年報」

## ③感染症対策

近年、SARS、インフルエンザ、麻疹（はしか）などの流行によって授業はもとより、渡航、教育実習などに際して学校の対応が注目されたが、本学は、いずれの場合も、行政当局との連絡を密にするとともに、学生支援部、同医務室、教務部、各学科そして事務局の緊密な連携のもとに、混乱なく、迅速に対処してきた。今後、積み重ねたノウハウを生かして危機管理体制を強化していく。

(7) 学生支援のために学生個々の情報等を記録していれば、それらはどのように保管・保護されているかを記述して下さい。

入学時に学生及び保護者の住所等を記入した「個人データ票」を提出させ、その内容をコンピュータに入力・管理し、必要とする部署が利用できるシステムを導入している。入学後のデータ変更については本人の申請で行っている。この「個人データ票」は学年・学科・コースごとに整理し学生支援部が保管している。また学生住所録を作成しているが、管理職である教職員と各部署にのみ配布され、責任を持って管理されている。

◇参考資料「個人データ票」

### 【進路支援について】

(1) 下の進路状況表を例に、過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の就職状況を学科等ごとに記載して下さい。また進路一覧表等の印刷物があれば参考資料としてご準備下さい。

家政学科（健康科学専攻）の進路状況

		平成18年度	平成19年度
a 卒業者数		14人	11人
b 就職希望者数	b/a	13人 (93%)	11人 (100%)
c うち学校で斡旋した就職者数	c/b	5人 (38%)	4人 (36%)
d うち自己開拓分の就職者数	d/b	6人 (46%)	4人 (36%)
e 就職未定者	e/b	2人 (15%)	3人 (27%)
f 進学・留学者数	f/a	1人 (7%)	0人 (0%)
g その他	g/a	0人 (0%)	0人 (0%)

平成18年度4月入学生からは募集停止

### 家政学科（ファッション専攻）の進路状況

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
a 卒業生数	43人	22人	36人
b 就職希望者数	b/a 29人 (67%)	17人 (77%)	34人 (94%)
c うち学校で斡旋した就職者数	c/b 15人 (52%)	10人 (59%)	12人 (35%)
d うち自己開拓分の就職者数	d/b 9人 (31%)	6人 (35%)	17人 (50%)
e 就職未定者	e/b 5人 (17%)	1人 (6%)	5人 (15%)
f 進学・留学者数	f/a 8人 (19%)	2人 (9%)	0人 (0%)
g その他	g/a 6人 (14%)	3人 (14%)	2人 (6%)

### 家政学科（食物栄養専攻）の進路状況

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
a 卒業生数	113人	107人	65人
b 就職希望者数	b/a 101人 (89%)	96人 (90%)	54人 (83%)
c うち学校で斡旋した就職者数	c/b 57人 (56%)	50人 (52%)	17人 (31%)
d うち自己開拓分の就職者数	d/b 29人 (29%)	42人 (44%)	28人 (52%)
e 就職未定者	e/b 15人 (15%)	4人 (4%)	9人 (17%)
f 進学・留学者数	f/a 5人 (4%)	4人 (4%)	6人 (9%)
g その他	g/a 7人 (6%)	7人 (7%)	5人 (8%)

### 児童教育学科の進路状況

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
a 卒業生数	212人	201人	150人
b 就職希望者数	b/a 84人 (40%)	84人 (42%)	50人 (33%)
c うち学校で斡旋した就職者数	c/b 31人 (37%)	29人 (35%)	19人 (38%)
d うち自己開拓分の就職者数	d/b 30人 (36%)	48人 (57%)	28人 (56%)
e 就職未定者	e/b 23人 (27%)	7人 (8%)	3人 (6%)
f 進学・留学者数	f/a 113人 (53%)	105人 (52%)	93人 (62%)
g その他	g/a 15人 (7%)	12人 (6%)	7人 (5%)

### 美術・デザイン学科の進路状況

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
a 卒業生数	52人	52人	35人
b 就職希望者数	b/a 35人 (67%)	35人 (67%)	25人 (71%)
c うち学校で斡旋した就職者数	c/b 12人 (34%)	9人 (26%)	6人 (24%)
d うち自己開拓分の就職者数	d/b 16人 (46%)	20人 (57%)	13人 (52%)
e 就職未定者	e/b 7人 (20%)	6人 (17%)	6人 (24%)
f 進学・留学者数	f/a 15人 (29%)	12人 (23%)	8人 (23%)
g その他	g/a 2人 (4%)	5人 (10%)	2人 (6%)

### 人間コミュニケーション学科の進路状況

	平成18年度	平成19年度
a 卒業生数	38人	33人
b 就職希望者数	b/a 24人 (63%)	27人 (82%)
c うち学校で斡旋した就職者数	c/b 10人 (42%)	11人 (41%)
d うち自己開拓分の就職者数	d/b 7人 (29%)	11人 (41%)
e 就職未定者	e/b 7人 (29%)	5人 (19%)
f 進学・留学者数	f/a 12人 (32%)	5人 (15%)
g その他	g/a 2人 (5%)	1人 (3%)

平成18年度4月入学生から募集停止

### 専攻科（保育専攻）の進路状況

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
a	卒業生数	86人	98人	96人
b	就職希望者数	b/a	96人 (98%)	91人 (95%)
c	うち学校で斡旋した就職者数	c/b	51人 (53%)	55人 (60%)
d	うち自己開拓分の就職者数	d/b	43人 (45%)	31人 (34%)
e	就職未定者	e/b	2人 (2%)	5人 (%)
f	進学・留学者数	f/a	0人 (0%)	0人 (0%)
g	その他	g/a	2人 (2%)	5人 (5%)

### 専攻科（美術・デザイン専攻）の進路状況

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
a	卒業生数	14人	8人	12人
b	就職希望者数	b/a	8人 (100%)	11人 (92%)
c	うち学校で斡旋した就職者数	c/b	3人 (38%)	1人 (9%)
d	うち自己開拓分の就職者数	d/b	5人 (63%)	6人 (55%)
e	就職未定者	e/b	0人 (0%)	4人 (36%)
f	進学・留学者数	f/a	0人 (0%)	1人 (8%)
g	その他	g/a	0人 (0%)	0人 (0%)

◇参考資料「保護者対象進路説明会冊子」

(2) 学生の就職を支援する組織や体制（教員組織、事務組織のいずれも）の現状を記述して下さい。

各学科から選出した就職委員と就職委員長（学生支援部長・教員）、学生支援課長（職員）、書記（職員）で就職委員会（7名）を構成し、就職支援や進路指導に関する事項について随時開催検討をしている。日常の就職支援業務については、学生支援部の進路担当職員が担当している。また必要に応じて、教授会で学生支援部長と学生支援課長が学生の就職状況や就職支援対策の取り組みについての説明や報告、依頼を行い、教員と職員との意思の疎通を図っている。

(3) 就職支援室、就職資料室等の現状を示し、学生にどのように就職情報等を提供しているかを記述して下さい。

学生支援部は3号館1階の本学のキャンパスの中心に設置されており、学生が自由に活用できるように就職資料や書籍、パソコン(5台)、コピー機(2台)を設置し、カウンター近くに進路担当者の机を置き、学生の相談に即応できる体制にしている。なお、窓口の受付時間は9時から17時で、昼の休憩時間も学生の便宜を考え、職員は交代で休憩をとり、学生の相談等の対応に務めている。なお学生への連絡は、キャンパスメール（携帯へのメール）と電話を利用して個別に情報を提供している。

学生が最も活用している就職情報は本学に届く求人票と求人ファイルである。そのため求人票は分かりやすく、また見やすく掲示するように工夫をしている。その方法として、企業・幼稚園・保育園・施設別に掲示場所を分け、企業からの求人に対しては、学校推薦と逆推薦を分けて掲示、特別自由応募の求人票には、企業ごとにコメントを加えて掲示している。自由応募の求人は大きく業種別に分け、さらに本学の専門職といえる栄養士職、デザイン職の求人は、別に掲示するなど学生が関心を持てるように工夫をしている。



求人ファイルは企業・幼稚園・保育園・施設ごとに色分けをして事業所別にファイルを作り、五十音順に整理し学生が自由に閲覧できるようにしている。なお、ファイルの中身は、求人票・要項・今までの受験者が提出した受験内容報告書である。

平成 20 年度に実施した就職行事

月	対象 学年	対象者	就 職 行 事
4 月	2	企業	就職対策模擬試験
	2	企業	企業就職希望者対策ガイダンス
	2	園	園就職希望者対策ガイダンス
	2	園	保育士模擬試験
	2	全員	健康診断
	2	企業	模擬面接
	2	企業	論作文対策プログラム
5 月	1	全員	進路支援プログラム
	2	園	マナー&模擬面接
	2	企業	S P I 対策
	2	企業	論作文対策プログラム
	2	企業	模擬面接
6 月	1	全員	進路支援プログラム
	2	企業	S P I 対策
	2	企業	模擬面接
	2	園	マナー&模擬面接
	2	園	論作文対策プログラム
7 月	1	全員	進路支援プログラム
	2	園	マナー&模擬面接
8 月	2	園	園就職希望者対象園OG懇談会
10 月	1	該当	個人面談（企業希望・専攻科希望）
	1	企業	自己分析 P R セミナー
	1	企業	履歴書説明会
11 月	1	該当	個人面談（企業希望・専攻科希望）
	1	企業	サイト活用説明会・就職ハンドブック活用説明会
	1	企業	S P I 対策
	1	企業	マナー講座
	1	企業	自己分析 P R セミナー
	1	園	園長による講演会・個人面談
12 月	1	園	園長による講演会・個人面談
	1	企業	就職用写真撮影
	1	企業	マナー講座
	1	企業	S P I 対策
	1	企業	論作文対策プログラム
	1	企業	模擬面接
	1	企業	サイト活用説明会・就職ハンドブック活用説明会
	1	園	個人面談
	1	園	自己分析 P R セミナー
1	園	履歴書説明会	
1 月	1	企業	模擬面接
	1	全員	保護者対象進路説明会
	2	園	園就職内定者セミナー
2 月	1	企業	就職活動体験発表会
	1	企業	企業セミナー

◇参考資料「就職ハンドブック」

(4) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の就職状況について、就職率及び就職先を学長等、学科長等はどのように受け止めているかを記述して下さい。

各学科の専門就職の状況は学科、専攻によりかなり異なる。平成20年度の結果としては、免許・資格取得が大きなウエイトを占める家政学科食物栄養専攻（栄養士コース）では約6割が栄養士として、児童教育学科（初等、幼児）では9割以上が教諭（小学校、幼稚園）として、専攻科（保育専攻）では、ほぼ全員が保育士、または教諭として職を得ている。家政学科ファッション専攻は衣料品の販売、美術・デザイン学科は企画・デザインの職種に就く者が多い。（さらに詳しい専門就職状況については各学科の学科長見解に記載あり）  
（学生支援部長見解）

(5) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の進学（四年制大学、専門学校等）及び海外留学の実績について、その支援はどのような方法、体制で行ったかを記述して下さい。

#### 編入実績

編入大学名	平成18年度	平成19年度	平成20年度
夙川学院短期大学 専攻科（美術・デザイン専攻）	13	9	5
夙川学院短期大学 専攻科（保育専攻）	98	96	92
大阪産業大学	1		
大阪学院大学	1		
大阪芸術大学・短大部	1	2	
大手前大学	1		
大阪教育大学第二部	1		
大阪人間科学大学		1	
追手門学院大学	1		
神戸夙川学院大学	1		
神戸親和女子大学	1	1	
仏教大学	1		
聖徳大学		1	
神戸女子大学		1	
神戸松蔭女子学院大学	1	1	
四天王寺国際仏教大学(20年度から四天王寺大学)	1	1	
聖トマス大学		1	
帝塚山学院大学	2	1	
徳島文理大学	1	1	
甲子園大学	1		
梅花女子大学	1		1
東大阪大学	2		
兵庫大学		1	1
桃山学院大学	1		
龍谷大学		1	
大阪音楽大学短期大学部			1
合 計	130	118	100

## 進学実績

専門職別進学先名	平成18年度	平成19年度	平成20年度
ファッション関係	6		
保育関係	5	1	
医療関係		1	3
美容関係	4	3	
航空関係	1		
看護・介護関係	1		1
調理・栄養士関係	2		1
デザイン関係		4	3
その他	3	1	
合 計	22	10	8

編入学や進学を希望している学生を対象に、1回生時と2回生時に各1回説明会を開催しているが、個人によって希望は様々なので個別指導を主に支援している。資料としては、編入指定校制大学一覧表と公募制編入大学一覧表を作成し、編入専用の掲示板に編入可能大学のオープンキャンパス等のポスターとともに掲示をしている。

また、編入指定校の大学案内を一括してファイリングした冊子と公募制編入大学の入試要項を大学別にファイリングしたものを学生が自由に閲覧できるようにしている。

専門学校等については、パンフレットなどが届いた学校を順次掲示で知らせ、希望学生には自由に持ち帰ることができるように専門別に分けて整理している。

海外留学については、平成18年度2名、平成19年度はなし。平成20年度は1名である。海外留学については海外留学の経験のある教員が、学生からの相談があれば個別指導を行っている。

### 【多様な学生に対する支援について】

(1) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の留学生・社会人・帰国子女・障害者・長期履修学生・科目等履修生の受け入れ状況を示し、その学習支援、生活支援はそれぞれどのような方法、体制で行っているかを記述して下さい。

なお、学生数はいずれの年度も5月1日時点とします。

#### ①留学生

平成13年度入学試験から「外国人留学生特別入学試験」を導入し、留学生を受け入れている。また、経済的負担を軽くし、勉学に専念できるように学生納付金の減免制度を設けるとともに、学業および学生生活に意欲的な留学生に奨学金を支給するため、外国人留学生特別奨学金制度を設置した。平成15年度から留学生を対象に教養教育科目の言語・情報の分野に日本語科目を開講し、留学生の日本語能力の向上に努めた。

留学生の生活支援は、学生支援部留学生担当者（1名）が主に行っているが、入学時からほぼ週1回の割合でミーティングをもち、在留確認から大学保証人手続き後の住宅紹介、アルバイトの許可申請から紹介、医療補助手続き、奨学金手続きのほか各種情報提供を行い、留学生の学生生活全般の指導を行っている。

平成18年度	平成19年度	平成20年度
2名（中国2）	2名（中国2）	0名

## ②社会人

平成 11 年度入学試験から「社会人特別入学試験」を導入している。また、入学後の支援として、本学の社会人特別奨学金制度（支給額 30 万円、採用者数若干名）があり、各年度とも全員がこれを受給している。社会人学生は、学ぶ目的意識が明確なため、他の学生にも良い影響を与え、クラス全体で学習意欲が向上する傾向にある。

平成18年度	平成19年度	平成20年度
4名	4名	1名

## ③科目等履修生

科目等履修を希望する者は、在学中に免許、資格を取得できなかった卒業生が、必要単位を取得するために科目を履修するケースが大半であるが、平成19年・20年度では、中二種免許取得を希望する他学の卒業生を2年間受け入れた。

受け入れは、教務課が担当しており、1単位1万円（実験・実習は2万円）の履修料を徴収している。

平成18年度	平成19年度	平成20年度
10名	10名	10名

④障害者の受け入れに関しては、平成18年度から平成20年度にはないが、平成16年度には2名の受け入れ（聴覚障害者1名、肢体不自由1名）をし、ノートテーカーの手配等を行った。

なお、身体に障害がある場合は、障害の種類や程度によって、入学試験時に特別な措置を講じられるよう、事前相談の機会を設けている。

◇参考資料「2009年度入学試験要項」

### 【特記事項について】

(1) この《V学生支援》の領域で示した評価項目や評価の観点のほかに、例えば、学生の個人情報保護への取り組み、成績不良者への支援、長期欠席者への援助、学生に対する表彰制度等、学生支援について努力していることがあれば記述して下さい。

毎年1月に「夢プランスピーチコンテスト」を開催し、スピーチ能力、プレゼン能力の高い学生の表彰を行っている。平成20年度の参加者は17名であった。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## 《VI 研究》

### 【教員の研究活動全般について】

(1) 次の「専任教員の研究実績表」を例にして過去3ケ年（平成18年度～20年度）の専任教員の研究状況を記載し、その成果について記述して下さい。

平成18年度～20年度 専任教員の研究実績表

平成21年3月現在

学科等名	氏名	職名	研究業績				国際的活動の有無	社会的活動の有無	備考
			著作数	論文数	学会等発表数	その他＊)			
家政学科	橘 喬子	教授	0	2	4	3	無	有	
	田中 恵子	教授	0	2	2	0	無	無	
	中広 全延	教授	1	8	3	3	無	有	
	瀬尾 寛	特任教授	1	1	10	1	有	有	
	内田 直子	准教授	0	4	5	8	無	有	
	菊川 和彦	准教授	0	0	0	3	無	有	
	仲野 裕美	准教授	0	1	2	0	無	無	
	吉田 加代子	准教授	0	0	0	2	無	有	
	森 美奈子	講師	1	1	2	0	無	有	
	白坂 文	講師	0	2	1	2	無	無	
	三木 早苗	特任講師	0	0	1	0	無	無	
	須谷 和子	特任助教	0	2	5	0	無	無	
	山崎 真利子	特任助教	0	0	4	0	無	無	
阪本 祥子	特任助手	0	0	1	0	無	無		
児童教育学科	岡崎 公典	教授	2	0	0	0	無	有	
	岸永 康延	教授	0	0	3	0	無	有	
	片山 雅男	准教授	2	0	3	0	無	有	
	古賀 友也	准教授	1	6	10	0	有	有	
	小林 伸雄	准教授	0	1	0	2	無	有	
	藤島 みち	准教授	0	1	1	0	無	有	
	早田 由美子	准教授	1	4	2	4	有	有	
	久本 信子	准教授	0	0	5	1	無	有	
	三木 麻子	准教授	2	1	0	2	無	有	
	森田 健宏	准教授	1	6	6	2	無	有	
	和久 宗利	准教授	0	0	0	0	無	有	
	倉掛 妙子	講師	0	3	3	0	無	有	
	番匠 明美	講師	1	1	0	4	無	有	
井上 千晶	特任講師	0	0	0	0	無	無		
南 多恵子	特任講師	5	1	1	0	無	有		
美術・デザイン学科	青野 卓司	教授	0	0	0	6	有	無	
	池田 啓子	教授	0	0	0	6	無	有	
	北野 正治	教授	0	0	6	0	無	有	
	小川 忠彦	特任教授	1	0	13	0	無	有	
	河内 厚郎	特任教授	3	7	0	9	無	有	
	川上 比奈子	准教授	1	2	1	3	無	有	
	大本 徹	講師	0	0	0	0	無	無	
六村 真規子	講師	0	0	0	8	無	有		
(注)	齋藤 尚志	特任講師	0	7	0	3	無	有	
	湯浅 俊彦	特任准教授	4	5	2	7	有	有	

- ＊) 作品発表、演奏、講演、解説、審査などの活動を含む  
 注) 教職課程、司書課程

(2) 教員個人の研究活動の状況を公開していれば、その取り組みの概要を記述し、公開している印刷物等を訪問調査の際にご準備下さい。

全専任教員の研究活動状況を、毎年発行する「夙川学院短期大学研究発表等一覧」に掲載し、公開している。

◇参考資料「夙川学院短期大学研究発表等一覧」「夙川学院短期大学教育実践研究紀要」

(3) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の科学研究費補助金の申請・採択等、外部からの研究資金の調達状況（件数）を一覧表にして下さい。

外部研究資金の申請・採択状況（平成18年度～20年度） (件数)

外部資金調達先等	18年度		19年度		20年度	
	申請	採択	申請	採択	申請	採択
科学研究費補助金	2	1	5	3	3	2
その他の外部研究資金	1	1	0	0	0	0
飯島記念財団						

(4) 学科等ごとのグループ研究や共同研究、短期大学もしくは学科等の教育に係る研究の状況について記述して下さい。

平成20年度家政学科食物栄養専攻で「女子学生におけるお箸の作法と食生活、食習慣、生活習慣、食意識との関連について」、共同研究が行われ、その成果は日本栄養改善学会で発表された。

◇参考資料「第55回日本栄養改善学会講演集」

平成18年度の共同研究は児童教育学科で「幼児の食行動に関する考察（Ⅱ）」、「子どものあそび環境」の2件行われ、その成果は日本保育学会で発表された。

◇参考資料「日本保育学会第59回大会発表論文集」

平成19年の共同研究は児童教育学科で「女子短大生の養育観について（Ⅱ）」、「子どものあそび環境」の2件行われ、その成果は日本保育学会で発表された。

◇参考資料「日本保育学会第60回大会発表論文集」

平成20年度の共同研究は児童教育学科で「昔話に関する考察」、「子どもの遊び環境」の2件行われ、その成果は日本保育学会で発表された。

◇参考資料「日本保育学会第61回大会発表論文集」

**【研究のための条件について】**

(1) 研究費（研究旅費を含む）についての支給規程等（年間の支出限度額等が記載されているもの）を整備していれば訪問調査時に拝見します。なお規程等を整備していない場合は、過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の決算書から研究に係る経費を項目（研究費、研究旅費、研究に係る施設、機器・備品等の整備費、研究に係る図書費等）ごとに抽出し一覧表にして参考資料として準備して下さい。

◇参考資料「個人研究費制度内規」

(2) 教員の研究成果を発表する機会（学内発表、研究紀要・論文集の発行等）の確保について、その概要を説明して下さい。なお過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の研究紀要・論文集を訪問調査の際に拝見いたしますのでご準備下さい。

本学教員の研究成果を発表する場として、年1回、定期的に「夙川学院短期大学研究紀要」を400部刊行している。著作物は原則として、国立情報学研究所により電子化され公的機関のホームページに公開されている。現状の発行を継続し、研究発表の場を確保したい。なお、教育実践を広く評価するため、平成20年度から「夙川学院短期大学教育実践研究紀要」を発行している。

◇参考資料「夙川学院短期大学研究紀要」「夙川学院短期大学教育実践研究紀要」

(3) 教員の研究に係る機器、備品、図書等の整備状況について、平成20年度の決算よりその支出状況を記述して下さい。また訪問調査の際の校舎等案内時に教員の研究に係る機器、備品、図書等の状況を説明して下さい。

毎年、予算算定時に、研究に必要な機器、備品等に関する希望を教員から聴き取り、各学科で検討し調整が行われ必要な機器、備品については新規購入している。予算化されていない緊急の機器、備品についてもその都度必要性を鑑み、購入しており、教員の研究に係る機器、備品等については充分整備されている。

図書の整備は、図書館において授業用研究図書費として予算化している。購入した図書は各研究室に保管し、毎年度末に保管状況を調査している。また、その他の研究に必要な図書は、個人研究費より支出している。

研究費支出の内訳

(単位千円)

費用内訳	年度	消耗品費	旅費交通費	機器備品	その他	計
個人研究費	平成20年度	3,163	1,527	285	1,661	6,636
学術振興助成費	平成20年度	0	0	0	700	700

授業用研究図書費

(単位千円)

年 度	予 算	実 績 金 額
平成20年度	936	640

(4) 教員の教員室、研究室または研修室、実験室等の状況を記述して下さい。なお訪問調査の際に研究室等をご案内願います。

学科ごとに配置され広さも適切であり、教員との連携を図り維持管理に努めている。

名 称	室 数	面 積 (㎡)
研究室 (個人研究室)	36	890
実験室 (調理実習室・ピアノレッスン室他)	90	6,373

(5) 教員の研修日等、研究時間の確保の状況について記述して下さい。

研究日はすべての教員に週1日が確保されている。会議日の水曜日を除くいずれかの曜日を指定して研究日としており、この日は教員が自由に研究することができる。また、実験実習等の研究目的で教員が研究室、教室等の使用時間の延長を希望する場合は、柔軟に

対応し研究環境を整えるように配慮している。

**【特記事項について】**

(1) この《VI研究》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教員の研究について努力していることがあれば記述して下さい。

本学では、教員の申請による優れた学術・教育研究に資するため、学術振興委員会を設置し、その議を経て70万円を上限として特別研究助成金を交付、また、50万円を上限として短期海外研修費を交付し、研究の伸展を支援している。

◇参考資料 「短期海外研修に関する規程」「特別研究助成金交付規則」

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし



## 《Ⅶ 社会的活動》

### 【社会的活動（国際的活動は別項で記述）への取り組みについて】

- (1) 社会的活動への取り組みについて、その理念や方針等、教育・研究における位置づけについて、短期大学ではどのように考え、また今後どのように取り組む予定かを記述して下さい。

本学は「愛と誠実、清新な学識」という教育理念の下で、社会に貢献する女性の育成に取り組むとともに、短期大学で培ってきた教育研究の専門性をより幅広く社会に還元することの重要性を認識し、早くから多種多様な社会的活動に取り組んできた。そして、地域に開かれ、地域に貢献する大学としての役割を果たすべく努力を重ねてきた。平成12年度に、社会活動や広報活動を通じて地域社会に貢献する道を模索することを目的に企画広報課が、平成14年度に広報委員会および広報課が設置され、地元自治体と連携を取りながら、公開講座の開催や各種団体が主催する講座への講師派遣、地域の文化・産業の振興に協力するために学生がポスター制作を行う「アートハンド・プロジェクト」、高等学校への出張講座、ボランティア活動などを積極的に行ってきた。今後も、地域交流や地域文化の向上に多様な形で貢献できるよう取り組んでいく。

- (2) 社会人受け入れの状況について、生涯学習の観点から短期大学では社会人の受け入れを今後どのように考えているかを記述して下さい。

本学では早い段階から社会人に対する教育の重要性を認識してきた。社会人入試では奨学金を設け、広く市民対象には各種公開講座等を積極的に実施している。専攻科（保育専攻）へは本学卒業生が、就職後一定期間を経て進学するケースもあり、今後はこれをさらに推進したい。また、平成21年度からの教員免許更新制開始に伴い、本学においても免許更新のための講座を提供して広く現職教員のリカレント教育の場としても貢献したいと考えている。今後も、より積極的に社会人の受け入れを推進していきたい。

◆添付資料「社会人特別入学試験要項」

◇参考資料「社会人特別奨学金規程」

- (3) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）に短期大学が行った地域社会に向けた公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放等の実施状況を記述して下さい。

本学主催で近隣の美術館・博物館・企業に協力を得て実施する「阪神間ミュージアムリレー講座」を開講している。また、朝日カルチャーセンターとの共同開催による講座を年4クール（1クール6回）開講している。

さらに、西宮市内の10大学・短大が協力して西宮大学交流センターで開催する市民対象講座「インターカレッジ西宮」、大阪・神戸・奈良の大学・教育機関による「阪神奈生涯学習ネット」（35機関で構成）ほかを実施している。

#### 阪神間ミュージアムリレー講座

年度	実施回数	受講者数（人）
平成18年度	1	40
平成19年度	1	10
平成20年度	1	36

共催・提携講座

年度	朝日カルチャーセンター共催講座		JTB カルチャーサロン提携講座	
	講座回数	受講者数 (人)	講座回数	受講者数 (人)
平成 18 年度	4クール 6回ずつ	78	4クール 6回ずつ	350
平成 19 年度	4クール 6回ずつ	123	4クール 6回ずつ	185
平成 20 年度	3クール 6回ずつ	80	実施せず	

阪神奈生涯学習ネット (大阪府立文化情報センター)

年度	講座回数	受講者数 (人)
平成 18 年度	1	23
平成 19 年度	1	25
平成 20 年度	1	125

インターカレッジ西宮 (西宮市大学交流センター)

年度	講座回数	受講者数 (人)
平成 18 年度	2	39
平成 19 年度	2	86
平成 20 年度	2	114

地域団体主催(公民館・自治会など)による講座

年度	講座回数	受講者数 (人)
平成 18 年度	2	65
平成 19 年度	3	160
平成 20 年度	0	-

本学主催の講座

年度	阪神間ミュージアムリレー講座		写真のデジタル処理	
	実施回数	受講者数 (人)	実施回数	受講者数 (人)
平成 18 年度	1	40		
平成 19 年度	1	10		
平成 20 年度	1	36	1	10

◇参考資料「阪神間ミュージアムリレー講座」「朝日カルチャーセンター」「JTBカルチャーサロン」「阪神奈生涯学習ネット」「インターカレッジ西宮」「地域団体共催講座」のパンフレット・チラシ

(4) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の短期大学と地域社会(自治体、商工業、教育機関、その他団体等)との交流、連携等の活動について記述して下さい。

西宮市大学交流協議会「学生による地域活性化支援委員会」が主催する学生ボランティア交流事業に本学、学友会が参加した。学友会は8回の「西宮ブランド向上大作戦プロジェクト」イベントプロデューサー講座に出席し、仕上げとして11月23日のイベント「灯巡祭」(西宮市大学交流センター)に参加し、西宮市の地域活性化に貢献した。なお、このイベントには西宮市内の大学、短大合せて6校が参加した。

家政学科食物栄養専攻では、栄養教育論実習の授業成果の発表と地域貢献活動として、毎年、西宮市健康フェアに市民の健康増進をテーマとしたポスターの掲示や教育による栄養指導を行っている。

児童教育学科では、毎年、地域の幼稚園・保育園や子育てサークル等の子育て支援の現場から数多くのボランティアの要請があり、それらの要請に対して積極的に対応している。

指人形、手遊び、立体紙芝居の上演、ハンドベルの演奏、自作遊具による遊び等。子ども・保護者・関係者に好評で、高い評価を得ている。これらの取り組みは、地域への貢献を果たすとともに、学生自身の保育者としての力量向上につながるものと考えられる。

美術・デザイン学科関係では、地域社会との交流を目的とした表現の機会を設定し、地域社会との密接な関係を保持するよう努めている。

西宮市野外文化事業として、西宮市が西宮芸術文化協会に委託し、西宮市教育委員会、(財)西宮文化振興と共催で、毎年秋に美術作品の屋外展示、演奏会等の文化活動として市民と交流するイベント、野外アートフェスティバルに短大として参画し、9年間の実績を積み上げている。実行委員として教員が事業に参画するとともに、平成20年度は40名の学生が参加、40名が展示を行った。

(財)ひょうご産業活性化センター主催による産学連携事業である「ひょうご産業デザイン発掘プログラム」に参加し、イラスト・ビジュアルコースの課題として取り上げている。兵庫県の地場産業を中心とした企業の実際的な課題に取り組むことにより、現場の人たちの意見が反映された、生きたデザインを提供している。

神戸市、デジタル映像関連企業、教育機関等によって構成される「神戸デジタルコンテンツ振興会議」の一部会で「作品制作発表部会」の主行事である「DG展」に参画し、参加大学、専修学校での巡覧展を行っている。

授業成果の発表の場としてスタートした「冬至祭・光のメタファー展」は、平成5年度より、全学的協力を得て地域社会と交流する大学行事となった。平成20年度も、学生が光を作品の表現素材とした授業成果を展示、また、ワークショップ、演奏会、パフォーマンスを同時開催して地域・近隣の方々に公開し、交流するイベントを行った。なお、このプログラムは西宮教育委員会、(財)西宮市文化振興財団の後援を受けている。

◇参考資料「野外アートフェスティバル資料」「ひょうご産業デザイン発掘プログラム資料」「神戸デジタルコンテンツ振興会議 DG 展資料」

「冬至祭・光のメタファー展資料」

### 【学生の社会的活動について】

(1) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の学生による地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等社会的活動の状況を記述して下さい。

①美術・デザイン学科独自の社会貢献として平成13年度に発足した「アートハンド・プロジェクト」がある。このプロジェクトは、地域の文化・産業の振興に協力するために行政団体や企業・市民団体の依頼により美術・デザイン学科および専攻科(美術・デザイン専攻)の学生がポスターやパンフレットなどのデザイン・制作を行うものである。学生にとっては無報酬(材料費などの実費のみ)で単位認定もないが、発足以来、現在までに約40件を実施した。展示や作品も年々充実し、新聞報道、テレビ、ラジオ等で紹介され、西宮教育委員会、(財)西宮市文化振興財団の後援を受けている。

アートハンド・プロジェクトの主な行事 (平成20年度)

制作年月	主催、共催など	参加人員	主な制作物など
平成20年7月	杜のまち自治会	1	「杜のまち夏祭り」のポスター
平成20年7月	にしのみや市民祭り協議会 越木岩青年会	1	第34回サマーフェスティバル・イン越木岩ポスター

平成 20 年 9 月	夙川学院短期大学	1	阪神間ミュージアムリレー講座（第 6 回）パンフレット
平成 20 年 10 月	(財)ひょうご産業活性化センター	1	「ひょうご産業デザイン発掘プログラム」特別賞受賞
平成 21 年 1 月	バレーボール学会	1	バレーボール学会第 14 回大会プログラム・抄録集
平成 21 年 1 月	西宮市、西宮市商工会議所	1	菓子店パッケージ
平成 21 年 1 月	西宮市大学交流センター	1	2009 単位互換履修生募集ポスター、パンフレット
平成 21 年 3 月	西宮市大学交流センター	1	カレッジタウン西宮パンフレット
平成 21 年 3 月	西宮市大学交流センター	1	同センターポスター

②児童教育学科が実施している活動としては、西宮市みやっこキッズパーク（平成18・20年11月）、原田の森ギャラリー「こどもアートフェスティバル」（平成19年3月）、高槻市において開催された手作り絵本創作サークル「いろえんぴつ」（平成19年9月）、西宮市立子育て総合センター「のびのび青空館」（毎年）、地域の子育てサークルへのボランティア参加などがある。学生が制作した紙芝居を上演する等、参加者への支援活動に対して大変好評を得ている。

③その他の団体のボランティア活動等社会的活動をまとめると以下ようになる。

#### 平成 20 年度のボランティア活動

月	内容	参加団体
5 月	日本赤十字社の献血推進活動	学友会他
7 月	苦楽園地区夏祭り ステージ出演	軽音楽部
8 月	サマーフェスティバル・イン・越木岩	学友会、軽音楽部、Tap the Shiny、バスケットボール部、甲冑会、ボランティア部 (Freiwilliger)
10 月	西宮大学交流祭	学友会
10 月	スポーツ・アート・フェスティバル	美術・デザイン学科、軽音楽部
12 月	保育園での出張演奏	ハンドベル部
10 月・12 月・2 月	施設への慰問	寮生有志
1 月	越木岩防災の日	こしき岩寮自治会
2 月	西宮市献血推進大会	学友会

(2) 短期大学では学生の地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等についてどのように考え、どのように評価しているか記述して下さい。

学生は地域社会の一員として、将来の職業人として、自己の修養に資するものとして、社会活動に積極的に取り組んでいる。大学には行政、地域団体、幼稚園、保育所、施設などから多くの依頼があり、すべてに応じきれないのが実情である。しかし学生は休日や授業の空き時間などに意欲的に活動しており、地域社会からの期待は大きく、高い評価を受けている。なお、ボランティア活動は一部の民間資格に要するもの以外は単位の認定を行っていない。

#### 【国際交流・協力への取り組みについて】

(1) 過去 3 ヶ年（平成 18 年度～20 年度）の学生の海外教育機関等への派遣（留学〈長期・短期〉を含む）の状況を記述して下さい。

##### ①本学の国際交流の概要

本学は海外提携大学との交換留学および海外研修を長年にわたって全学的に意欲的に実施して来た。交換留学はアメリカのピッツァ大学を中心とするクレアモント大学群からの学生を本学に受け入れるプログラムと本学の学生を奨学金留学生としてピッツァ大学に派遣するプログラムで構成されている。

この交換留学は昭和 62 年に始まり、平成 20 年には 22 年の歴史を築き上げるに至った。サマー・スタディ・イン・ジャパン（以降 SSJ と表記する）と称されるピッツァ大学からの本学への派遣留学生は本年度までで 108 名になる。ピッツァ特別奨学金留学生と称される本学からピッツァ大学への留学生は 47 名にのぼる。平成 18 年度は夏期休暇中の 41 日間に全学から 4 名、次年度から 31 日間とし 5 名を派遣している。その他にピッツァ大学とオーストラリアのバララット大学に夏期及び春期休暇中に留学する短期留学プログラムがある。

ピッツァ大学への短期留学は昭和 58 年に語学研修提携校契約が結ばれて以来、26 年の歴史を築いている。参加学生は総計 782 名を数えるに至っている。また、バララット大学への留学は平成 4 年度から実施されており、参加学生は総計 144 名である。

#### 海外教育機関等への派遣

	ピッツァ・カレッジ特別奨学金留学プログラム (41 日間、31 日間)	ピッツァ・カレッジプログラム (夏期 3 週間)	オーストラリアプログラム (春期 2 週間)
平成 18 年度	4 (41 日間)	0	0
平成 19 年度	5 (31 日間)	0	0
平成 20 年度	5 (31 日間)	0	募集停止

#### プログラムの概要

ピッツァ・カレッジ特別奨学金留学プログラム (41 日、31 日)	ピッツァ・カレッジプログラム (夏期 3 週間)	オーストラリアプログラム (春 期 2 週間)
研修地：ピッツァ大学 カリフォルニア州・クレアモント 期間：8 月～9 月、41 日間、31 日間 募集人員：4～5 名	研修地：ピッツァ大学 カリフォルニア州・クレアモント 期間：8 月約 3 週間 募集人員：10～20 名	研修地：バララット大学 ビクトリア州・バララット 期間：3 月約 2 週間 募集人員：10～20 名

◇参考資料「平成 20 年度海外研修報告書」「海外研修募集パンフレット」

#### ②海外への派遣：ピッツァ・カレッジ特別奨学金留学生（交換留学）

夏期休暇中に 4～5 名が 41 日間(平成 18 年度)派遣されている(次年度からは 31 日間)。全学の学生（専攻科生を含む）がこの留学に応募でき、学内選考が行われる。奨学金はピッツァ大学が授業料、寮費、食費、ホームステイ費用を全額負担するという方法で給付されている。よって留学生は渡航費等を負担するのみである。

ピッツァ大学での学業成果は、家政、児童教育、美術・デザイン学科の学生は教養教育科目の「生活の英語」の 2 単位が認定される。ただし、専攻科生には対象となる科目は開講されていない。平成 20 年度まで実施してきた特別奨学金留学制度及び SSJ プログラムは、平成 21 年度からは神戸夙川学院大学へ移行する。

#### ③海外への派遣：短期留学ーピッツァ・カレッジプログラム

全学学生を対象とするピッツァ大学への短期留学制度は、参加者の減少により廃止する。

#### ④海外への派遣：短期留学ーオーストラリアプログラム

全学学生を対象とするバララット大学への短期留学は、内容は英語の授業のほか専攻に応じて小学校、専門学校や福祉施設への訪問をし、地域社会との交流を行う。平成 18 年度から平成 19 年度の間で参加者がなく平成 19 年度をもって募集を停止した。

### 海外への派遣：パリ（フランス）研修旅行

	パリ研修旅行（8日間）	参加者数
平成20年度	研修地：パリ 期間：8日間 募集人員：10～15名	12名

平成20年度からフランスのパリの芸術や文化に関する教養を高めることを目的として、8日間の研修旅行を設定している。本学の教職員がエスコートし、現地では日本語ガイドが全日程において全見学時間同行する。

(2) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の短期大学と海外教育機関等との交流の状況を記述して下さい。

### Summer Study in Japan(略してSSJと表記)参加者

年 度	参加人数	プログラムの概要
平成18年度	4	期間：毎年6月上旬～7月上旬の33日間 参加人数：ピッツァ大学からの学生4～5名 (最大受入人数5名)。 内容：日本語授業、本学への授業への参加、ホームステイ、フィールドトリップなど。
平成19年度	4	
平成20年度	5	

### 交換留学：留学生の受け入れ

海外提携大学からの交換留学生受け入れとして、毎年6月上旬から約1ヶ月間、本学とは26年に及ぶ提携校であるピッツァ大学から約5名の交換留学生が本学で学ぶ。このプログラムはサマー・スタディ・イン・ジャパン（SSJ）と称される。平成18年度からの過去3年間の留学生数は13名である。

内容は日本語の授業、授業・クラブ活動への参加、そして日本文化の体験的学習である。本学の学生は、授業・クラブ活動、学外での各所見学の案内や、ホストファミリーになることで、留学生と多面的かつ有意義な交流を図っている。

(3) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等の状況を記述して下さい。

教員の短期海外研修については「短期海外研修に関する規程」を設け、学術の研究、調査学会発表等のために外国で研修をする際に助成金を援助している。

◇参考資料「短期海外研修に関する規程」

### 短期海外研修実績（平成18年度～20年度）

年度	研修者	研修期間	研修地	目的	助成金(円)
平成18年度	高木良助	6月24日～7月3日	ノルウェイ	IC9(International Conference of Inorganic Membranes)での学会発表	279,000
	古賀友也	12月5日～12月10日	シンガポール	ClaSIC 2006における学会発表及び研修	158,000
	早田由美子	1月2日～1月9日	イタリア	モンテッソーリ100周年会議への参加	240,000
平成19年度	なし				
平成20年度	川上比奈子	11月14日～11月20日	フランス	アリン・グレイおよび菅原精造の研究に関する資料収集および情報交換のため	239,000

**【特記事項について】**

- (1) この《Ⅶ社会的活動》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば高大連携等の他の教育機関との連携、外国人への日本語教育等、社会的活動について努力していることがあれば記述して下さい。

夙川学院高等学校との高大連携を平成18年度から行っている。平成21年度からは、兵庫県立西宮甲山高等学校との高大連携を行う。

また、平成15年度から、本学の教員が高校へ出向き、短期大学の授業を体験してもらう「出張講座」を開講している。平成18年度は14回、平成19年度は36回、平成20年度は12回実施した。

- (2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## 《Ⅷ 管理運営》

### 【法人組織の管理運営体制について】

- (1) 短期大学を設置する法人のトップである理事長は、短期大学の運営に対して適切にリーダーシップを発揮しているか、また短期大学に係る重要事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで理事長はどのように関与しているかを、できれば理事長自身が率直に現状を記述して下さい。

理事長は、寄附行為第 13 条により「この法人を代表し、その業務を総理する」職責の重要さに鑑み常勤であり、学校法人全般についてリーダーシップを適切に発揮している。短期大学の管理運営については、短期大学学長に大幅な権限の付与がなされているが、理事長としてこれを指導管理している。

#### ◆添付資料「学校法人夙川学院寄附行為」

- (2) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の理事会の開催状況（主な議案、理事の出席状況等を含む）を下表を例に開催日順に記述して下さい。加えて理事会についての寄附行為上の規定を記述して下さい。平成21年5月1日現在の理事・監事・評議員名簿等を準備し、理事の構成に著しい偏りがないことをお示し下さい。また理事会議録は必要に応じて閲覧いたします。

理事会は、寄附行為第 18 条～第 19 条の定めるところに従って開催し、本学院の最高意思決定機関として適切に運営している。

#### 理事会についての「学校法人夙川学院寄附行為」上の規定

(理事会)

第 18 条 この法人に理事をもって組織する理事会を置く。

- 2 理事会は、学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。
- 3 理事会は、理事長が招集する。
- 4 理事長は、理事総数の3分の2以上の理事から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から7日以内に、これを招集しなければならない。
- 5 理事会を招集するには、各理事に対して、会議開催の場所及び日時並びに会議に付議すべき事項を書面により通知しなければならない。
- 6 前項の通知は、会議の7日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合はこの限りでない。
- 7 理事会に議長を置き、理事長をもって充てる。
- 8 理事長が第4項の規定による招集をしない場合には、招集を請求した理事全員が連名で理事会を招集することができる。この場合における理事会の議長は、出席理事の互選によって定める。
- 9 理事会は、この寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、理事総数の過半数の理事が出席しなければ、会議を開き、議決をすることができない。ただし、第12項の規定による除外のため過半数に達しないときは、この限りではない。
- 10 前項の場合において、理事会に付議される事項につき書面をもって、あらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
- 11 理事会の議事は、法令及びこの寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、出席した理事の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 12 理事会の決議について、直接の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(業務の決定)

第 19 条 この法人が、次の各号の一に該当する重要事項を実施しようとするときは、理事総数の3分の2以上の議決を必要とする。

- (1) 予算・決算の承認
- (2) 借入金及び基本財産の処分
- (3) 寄附行為の変更
- (4) 法人の解散及び合併
- (5) その他重要事項とみなされる事項



理事会開催状況（平成18年度～20年度）

年	月	日	主な議案	出席者数	定数
18	3	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事及び評議員の退任の受理報告</li> <li>・柏堂グラウンド及び甕岩テニスコート売却完了報告</li> <li>・学校用地購入資金調達の承認</li> <li>・4年制大学設置に伴う事業計画の承認</li> <li>・寄附行為の一部変更の承認</li> <li>・平成18年度予算及び事業計画の承認</li> <li>・会計監査人の選任の承認</li> <li>・学則、定年制規定の承認</li> </ul>	6	8
	5	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の重任の承認</li> <li>・平成17年度決算の承認</li> </ul>	7	7
	7	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夙川学院短期大学学則一部変更の承認</li> <li>・神戸夙川学院大学学則の一部変更の承認</li> <li>・神戸夙川学院大学教職員定年制規程に基づく採用の承認</li> </ul>	7	7
	11	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄附行為の一部変更の承認</li> <li>・施設設備資金借入の承認</li> </ul>	7	7
	12	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夙川学院短期大学学則の変更の承認</li> <li>・夙川学院中学高等学校学則の変更の承認</li> <li>・付属幼稚園園則の変更の承認</li> <li>・経理規程の一部変更の承認</li> <li>・夙川学院短期大学の第三者評価制度の報告</li> </ul>	7	7
19	3	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事及び監事の重任の承認</li> <li>・評議員の退任及び就任の承認</li> <li>・平成19年度予算及び事業計画の承認</li> </ul>	7	7
	5	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事及び評議員の承認</li> <li>・夙川学院高等学校学則の一部変更の承認</li> <li>・平成18年度決算の承認</li> </ul>	6	7
	7	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸夙川学院大学学長、夙川学院短期大学学長の退任及び新学長任命の承認</li> <li>・理事の退任及び新任の承認</li> </ul>	6	7
	12	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事の重任、退任及び新任の承認</li> <li>・評議員の推薦</li> <li>・神戸夙川学院大学諸規定の新規及び改定の承認</li> <li>・幼稚園園則の一部改定の承認</li> <li>・借入金の承認</li> <li>・日本私立大学協会入会の承認</li> <li>・新法人設立の為の「準備検討委員会」立上げ及び委員会開催の承認</li> </ul>	6	7
	1	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の推薦</li> <li>・大学設置計画の一部変更の承認</li> <li>・新法人設立に伴う分割案の承認</li> <li>・新法人設立基本方針及びスケジュールの承認</li> <li>・運営権限委譲案の承認</li> <li>・幼稚園の名称変更方針の承認</li> </ul>	7	7
20	3	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度予算の一部変更の承認</li> <li>・平成20年度予算案及び事業計画の承認</li> <li>・神戸夙川学院大学学則及び諸規定の一部変更の承認</li> <li>・夙川学院短期大学学則の一部変更の承認</li> <li>・監事の候補者選出の承認</li> <li>・評議員の新任の承認</li> <li>・夙川学院短期大学学長の任期満了の承認</li> </ul>	6	7
	5	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監事の選任承認</li> <li>・評議員の選任承認</li> <li>・神戸夙川学院大学学則の一部変更の承認</li> </ul>	7	7

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・夙川学院短期大学学則の一部変更の承認</li> <li>・夙川学院高等学校学則の一部変更の承認</li> <li>・夙川学院中学高等学校就業規則の一部変更</li> <li>・平成 19 年度決算の承認</li> <li>・大学設置計画の一部追加工事の承認</li> </ul>		
20	7	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夙川学院高等学校介護福祉士養成に関する件承認</li> <li>・夙川学院高等学校学則の一部変更の承認</li> <li>・夙川学院中学高等学校育児・介護休業規程一部変更の承認</li> <li>・夙川学院中学高等学校耐震工事の承認</li> <li>・平成 19 年度決算の件</li> </ul>	7	7
	10	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資産運用に伴う追加担保等に関する件承認</li> </ul>	6	7
	12	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の選任承認</li> <li>・理事の選任承認</li> <li>・夙川学院短期大学学則の一部変更承認</li> <li>・夙川学院高等学校学則の一部変更承認</li> <li>・夙川学院中学校学則の一部変更承認</li> <li>・夙川学院短期大学附属幼稚園園則の一部変更承認</li> <li>・常任理事会規程の一部変更承認</li> <li>・資産運用の承認</li> <li>・借入金の承認</li> </ul>	6	7
21	3	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 21 年度予算案及び事業計画の承認</li> <li>・借入金の承認</li> <li>・基本金取崩の承認</li> <li>・神戸夙川学院大学学則の一部変更承認</li> <li>・評議員の選任承認</li> <li>・理事の選任承認</li> <li>・監事の選任承認</li> <li>・神戸夙川学院大学学長及び夙川学院短期大学学長の選任承認</li> </ul>	8	8

◇参考資料「現在の理事・監事・評議員の名簿」

「平成 20 年度理事会議事録」

(3) 理事会の下に理事会の業務を一部委任する常任理事会、幹部会等を置いている場合は、その名称と根拠規程、理事会との関係、構成メンバー等を記述して下さい。

理事会の下に「常任理事会規程」に基づき学院の日常の業務を審議、決定する常任理事会を置いている。構成メンバーは常任理事 4 名。

(4) 監事の業務についての寄附行為上の規定、平成 20 年度における監事の業務執行状況について、できれば監事自身が率直に現状を記述して下さい。

寄附行為規定に基づき、この法人の業務監査・財務状況を監査し、会計年度終了後 2 ヶ月以内に理事会及び評議員会に監査報告書を提出している。監事の業務についての寄附行為上の規定、平成 20 年度における監事の業務執行状況は以下のとおり。

#### 監事の業務についての「学校法人夙川学院寄附行為」上の規定

(監事の職務)

第 16 条 監事は、次の各号に掲げる職務を行う。

- (1) この法人の業務を監査すること
- (2) この法人の財産の状況を監査すること
- (3) この法人の業務又は財産の状況について、毎会計年度、監査報告書を作成し、当該会計年度終了後 2 月以内に理事会

- 及び評議員会に提出すること
- (4) 第1号又は第2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実があることを発見したときは、これを文部科学大臣に報告し、又は理事会及び評議員会に報告すること
- (5) 前号の報告をするために必要があるときは、理事長に対して評議員会の招集を請求すること
- (6) この法人の業務又は財産の状況について、理事会に出席して意見を述べること

### 監事の業務執行状況（平成20年度）

職務内容	職務執行状況
(1) 財産状況の監査 (平成19年度決算及び平成20年度期中の監査)	①実施時期・期間：平成20年5月26日 ②対象分野・事項：平成19年度決算状況の把握 ③監査結果：適正に運用されていた ④公認会計士との連携の状況：会計処理の具体的事項については、公認会計士の専門的知識に一任し、結果について意見交換
(2) 業務執行状況の監査	①方法：学院が実施する各種行事を利用する ②内容：学院幹部より執行聴取、事業計画に基づく執行状況及び資金計画に基づく執行状況 ③監査結果：適正に行われている
(3) 財産状況、理事の業務執行状況についての理事への意見具申	無
(4) 監査の結果、不正あるときの所轄庁への報告又は理事会及び評議員会への報告	無

- (5) 平成20年度の評議員会の開催状況（主な議案、評議員の出席状況等を含む）を開催日順に記述し、評議員会についての寄附行為上の規定を記述して下さい。

### 評議員会についての「学校法人夙川学院寄附行為」上の規定

- (評議員会)
- 第21条 この法人に、評議員会を置く。
- 2 評議員会は、15人以上23人以内の評議員をもって組織する。
- 3 評議員会は、理事長が招集する。
- 4 理事長は、評議員総数の3分の1以上の評議員から会議に付議すべき事項を示して評議員会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内に、これを招集しなければならない。
- 5 評議員会を招集するには、各評議員に対して、会議開催の場所及び日時並びに会議に付議すべき事項を、書面により通知しなければならない。
- 6 前項の通知は、会議の7日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、この限りでない。
- 7 理事長が、第4項の規定による招集をしない場合には、招集を請求した評議員全員が連名で評議員会を招集することができる。
- 8 評議員会に議長を置き、議長は、評議員会で評議員のうちから選任する。
- 9 評議員会は、評議員総数の過半数の出席がなければ、その会議を開き、議決をすることができない。
- 10 前項の場合において、評議員会に付議される事項につき書面をもって、あらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
- 11 評議員会の議事は、出席した評議員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 12 議長は、評議員として議決に加わることができない。
- (評議員会への諮問事項)
- 第23条 次の各号に掲げる事項については、理事長において、あらかじめ評議員会の意見を聞かなければならない。
- (1) 予算、借入金（当該会計年度内の収入をもって償還する一時の借入金を除く。）及び基本財産の処分並びに運用財産中の不動産及び積立金の処分
- (2) 事業計画
- (3) 予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄
- (4) 寄附行為の変更
- (5) 合併
- (6) 目的たる事業の成功の不能による解散
- (7) 寄附金品の募集に関する事項
- (8) その他この法人の業務に関する重要事項で理事会において必要と認めるもの

評議員会開催状況（平成20年度）

年	月	日	主な議案	出席者数	定数
20	5	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監事の選任承認</li> <li>・評議員の選任承認</li> <li>・神戸夙川学院大学学則の一部変更の承認</li> <li>・夙川学院短期大学学則の一部変更の承認</li> <li>・夙川学院高等学校学則の一部変更の承認</li> <li>・夙川学院中学高等学校就業規則の一部変更の承認</li> <li>・大学設置計画一部追加工事の承認</li> <li>・平成19年度決算の報告</li> </ul>	15	16
	7	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夙川学院高等学校介護福祉士養成に関する件承認</li> <li>・夙川学院高等学校学則の一部変更の承認</li> <li>・夙川学院中学高等学校育児・介護休業規程一部変更の承認</li> <li>・夙川学院中学高等学校耐震工事の承認</li> <li>・平成19年度決算の報告</li> </ul>	16	16
	12	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の選任承認</li> <li>・理事の選任承認</li> <li>・夙川学院短期大学学則の一部変更承認</li> <li>・夙川学院高等学校学則の一部変更承認</li> <li>・夙川学院中学校学則の一部変更承認</li> <li>・夙川学院短期大学附属幼稚園規則の一部変更承認</li> <li>・常任理事会規程の一部変更承認</li> <li>・資産運用の承認</li> <li>・借入金の承認</li> </ul>	16	16
21	3	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度予算案及び事業計画の承認</li> <li>・借入金の承認</li> <li>・基本金取崩の承認</li> <li>・神戸夙川学院大学学則の一部変更承認</li> <li>・評議員の選任承認</li> <li>・理事の選任承認</li> <li>・監事の選任承認</li> <li>・神戸夙川学院大学学長及び夙川学院短期大学学長の専任承認</li> </ul>	16	16

(6) 法人の管理運営について今後改善や変更をしたいと考えている事項があれば記述して下さい。また法人が抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。

従来より私立学校法、寄附行為、学院運営諸規程に基づいて適正に運営しているが、私立学校法改正の趣旨を踏まえて一層の機能強化を図っていきたい。

**【教授会等の運営体制について】**

(1) 短期大学の教育・研究上のトップである学長は、短期大学の教育活動全般について適切にリーダーシップを発揮しているか、また短期大学に係る教育・研究上の事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで学長はどのように関与しているかを、できれば学長自身が率直に現状を記述して下さい。なお学長選考規程等があれば訪問調査の際に拝見することがありますのでご準備下さい。

本学の学長は、「学長選任規程」に基づき選考され、学則に定められた学長の職務内容に則りリーダーシップを発揮して、教育活動全般にわたって業務を遂行している。学内外を取り巻く状況は年々厳しくなる一方であるが、状況判断を見誤ることなく、状況に応じて適切に対処できる体制を敷いている。学長の下には、各部館長、各学科長を配し、教授会を中心に、教育・研究に関わる事項を円滑に決定できるよう体制をとっている。

◇参考資料「学長選任規程」

(2) 教授会についての学則上の規定（教授会で議すべき事項等を含む）、平成20年度

における開催状況（主な議案、構成メンバー、出席状況等を含む）を年月日の順に記述して下さい。

なお、学則を添付して下さい。

教授会については夙川学院短期大学学則第9章第46条から第51条で規定し、それに基づいた教授会運営規程を制定している。教授会は学長、副学長、教授、准教授、講師で構成するが、人事案件については学長、副学長、教授のみで審議する。

**第50条** 教授会においては、次の事項を審議する。

- (1) 教育課程および授業に関する事項
- (2) 学則および学内諸規程に関する事項
- (3) 学生の入学、退学、転学、休学、除籍および卒業に関する事項
- (4) 学生の厚生補導に関する事項
- (5) 学生の賞罰に関する事項
- (6) 教授、准教授、講師、助教、助手の候補者の選考、昇格に関する事項
- (7) 教員の研究等に関する事項
- (8) その他教育上必要と思われる重要事項

教授会開催状況（平成20年度）

年	月	日	主な議案		出席者数	定数
20	4	1	報告事項	各種委員会の委員と書記	28	29
20	4	16	審議事項	学生異動、科目等履修生の受入れ、入学前の既修得単位の認定、平成21年度入学試験制度・日程、入学定員の変更に係る学則変更、名誉教授称号の授与	29	29
			報告事項	教員の退職および採用、専任教員・非常勤講師一覧、開講コマ追加、西宮市大学交流センター共通単位講座の前期受講、春期集中講義科目の単位認定、研究生の研究報告、リーダートレーニング、奨学生の選考会議構成員、学生支援部報告、相互評価、広報委員会報告		
20	5	21	審議事項	学生異動、実習期間中の授業、科目等履修生の受入れ	28	29
			報告事項	未開講科目、ピッツァカレッジ特別奨学金留学生、各種実習と体験期間、自己点検・評価実施委員会報告、紀要編集委員会報告、学術振興委員会報告、学生支援部報告、平成21年度指定協力校		
20	6	18	審議事項	学生異動	29	29
			報告事項	自己点検・評価実施委員会報告、前期末試験日程、西宮市大学交流センター共通単位講座平成20年度前期ならびに平成19年度後期履修状況、短期海外研修者、学術振興委員会報告、紀要編集委員会報告、平成20年3月卒業生の進路状況（最終）、義援金の協力依頼、7・8・9月の行事予定		
20	7	9	審議事項	専攻科（保育専攻）入学試験の可否判定	29	29
20	7	16	審議事項	学生異動、カリキュラム変更に伴う学則の一部変更	29	29
			報告事項	自己点検・評価実施委員会報告、平成21年度栄養士校外実習・栄養教諭実習期間、SSJプログラムの終了、学生支援部報告		
20	8	27	審議事項	夙川学院高等学校特定学科推薦入学試験の可否、学生異動、科目等履修生の受入れ、学則の一部変更（単位の計算方法）、平成21年度学年暦、教員人事	28	28
			報告事項	自己点検・評価実施委員会報告、前期休講および補講状況、FD委員会報告、夙川学院創立130周年記念誌、学生支援部報告、オープンキャンパスキャラクターの募集		
20	9	3	審議事項	AO（I期）入学試験の可否判定	26	28
20	9	17	審議事項	夙川学院高等学校対象推薦入学試験の可否、9月末卒業の判定、人間コミュニケーション学科廃止に伴う学則変更、学生異動、科目等履修生の受入れ	26	28
			報告事項	自己点検・評価実施委員会報告、「総合英語」の単位認定、西宮市大学交流センター前期共通単位講座の単位認定、科目等履修生の履修結果、前期追再試験該当者の手続き状況、後期授業時間割および担当者の変更、アドバイザーの変更、高大連携による授業、前期奨学生の採用状況、学生支援部報告、		

				ピッツァ特別奨学金留学生帰国の報告、図書館報告 10・11・12月の行事予定		
20	10	1	審議事項	AO(Ⅱ期)入学試験の合否判定、規程の改正	28	29
20	10	22	審議事項	指定協力校推薦入学試験の合否判定、学生異動、科目等履修生の受入れ、幼稚園観察実習・保育実習期間中の授業の扱い、カリキュラムの変更に伴う学則の変更、規程の改正(教員選考規程細則)	28	29
			報告事項	自己点検・評価実施委員会報告、各種委員会委員と書記、教員免許更新制に係る更新講習検討プロジェクトチーム発足、後期末開講科目、大学交流センター共通単位講座の受講者、海外研修の単位認定、指定協力校の追加、指定協力校推薦入学試験の条件外出願、AO入学試験の出願結果、学生支援部報告、図書館報告		
20	11	5	審議事項	専願推薦入学試験の合否判定、併願(Ⅰ期)入学試験の合否判定 専攻科(保育専攻)追加募集	27	29
20	11	19	審議事項	学生異動、介護等体験期間中の授業の扱い、教員人事	28	29
			報告事項	自己点検・評価実施委員会報告、平成21年度学年暦の変更、平成21年度西宮市大学交流センター共通単位講座の担当者、スペシャルプログラム、クリスマスイベント、夢プランスピーチ大会、図書館報告、食物栄養専攻報告		
20	12	17	審議事項	併願推薦(Ⅱ期)入学試験の合否判定、社会人(Ⅰ期)特別入学試験の合否判定、外国人留学生特別入学試験の合否判定、専攻科(美術・デザイン専攻)(Ⅰ期)入学試験の合否判定・専攻科(保育専攻)(Ⅱ期)入学試験の合否判定、AO(Ⅲ期)入学試験の合否判定、学生異動、学則の一部変更(自由科目)	28	29
			報告事項	自己点検・評価実施委員会報告、部館長人事、平成21年度観察実習期間、平成21年度学年暦の変更、平成21年度教育実習(観察実習を含む)に参加するための条件、平成20年度後期末試験に関する日程、FD委員会報告、教員免許更新講習検討プロジェクトチーム報告、進路状況、学生支援部報告、図書館報告、事務局報告、1・2・3月の行事予定、		
21	1	21	報告事項	在籍数、平成21年度部館長・学科長・研究所長・主任・補佐、平成21年度特別研究助成金の交付、海外交流委員会報告、学生支援部報告、図書館報告	29	29
21	1	28	審議事項	一般(Ⅰ期)入学試験の合否判定	29	29
			報告事項	平成21年度入試関係行事		
21	2	4	審議事項	教員の昇任人事	9	9
21	2	18	審議事項	専攻科(美術・デザイン専攻)<Ⅱ期>入学試験の合否判定、学生異動	29	29
			報告事項	自己点検・評価実施委員会報告、平成21年度卒業式日程、西宮市大学交流センター共通単位講座後期単位認定、後期休講および補講状況、平成21年度オリエンテーション日程、平成21年度開講科目の開講時期変更、平成21年度教職課程免許対応科目の変更、教務関係打合せ会、卒業式・入学式、企業・園の紹介および訪問、学生支援部報告		
21	2	25	審議事項	一般(Ⅱ期)入学試験の合否判定、社会人(Ⅱ期)特別入学試験の合否判定、平成22年度入学試験制度・日程、規程の改正	28	29
21	3	4	審議事項	教員の昇任人事	9	9
21	3	10	審議事項	卒業・修了・進級判定、学生異動、規程の改正および制定、科目等履修生・聴講生の受入れ、教員人事	29	29
			報告事項	自己点検・評価実施委員会報告、教員の退職および採用、平成21年度アドバイザー、ピッツァカレッジ交換留学、平成21年度開講科目の開講時期変更、GPA制度導入、個人情報保護運営委員会報告、大学コンソーシアムひょうご神戸、科目等履修生の履修結果、平成20年度後期追・再試験該当者の手続き状況、平成20年度奨学生の採用状況、パリ研修旅行帰国報告、教員免許更新講習検討プロジェクトチーム報告、学生支援部報告、創立130周年記念誌発刊、事務局報告、4・5・6月の行事予定		
21	3	13	審議事項	一般(Ⅲ期)入学試験の合否判定、平成22年度入学試験制度・日程	29	29
			報告事項	オープンキャンパスキャラクター		

◆添付資料「夙川学院短期大学学則」

(3) 学長もしくは教授会の下に教育・研究上の各種の委員会等を設置している場合は、その名称と根拠規程、主な業務、構成メンバー、平成20年度の開催状況等を記述して下さい。

委員会規程に基づき以下の委員会を設置している。

委員会名	根拠規程	主な業務	構成メンバー	開催状況
企画委員会	企画委員会規程	企画運営に関する重要事項の審議	学長、部館長、事務局長 (7名)	22回
自己点検・評価運営委員会、実施委員会	自己点検・評価規程	自己点検・評価の推進に関する事項の審議	学長、部館長、学科長、事務局長他 (9名)	7回
入学委員会	入学委員会規程	入学者募集に関する事項の審議	学長、部館長、学科長、事務局長、広報課長他 (13名)	16回
教務委員会	教務委員会規程	教学に関する事項の審議	教務部長、部長補佐、学科選出教員、教務課長他 (10名)	12回
教養教育委員会	教養教育委員会規程	教養教育に関する事項の審議	学科選出教員、教務課長 (7名)	4回
学生委員会	学生委員会規程	学生生活に関する事項の審議	学生支援部長、補佐、学科選出教員、学生支援課長他 (9名)	6回
就職委員会	就職委員会規程	就職および編入に関する事項の審議	学生支援部長、学科選出教員、学生支援課長他 (7名)	6回
教育実習委員会	教育実習委員会規程	教育実習に関する事項の審議	学生支援部長、学科選出教員、学生支援課長他 (8名)	5回
図書館委員会	図書館委員会規程	図書館運営に関する事項の審議	図書館長、学科選出教員、図書館事務長他 (5名)	5回
広報委員会	広報委員会規程	広報活動の推進に関する事項の審議	広報課長、学長が委嘱した教員と職員 (6名)	7回
人事委員会	人事委員会規程	専任教員の採用及び昇任に関する事項の審議	学長、教授 (8名)	13回
諸規程委員会	諸規程委員会規程	規程の制定及び改廃に関する事項の審議	事務局長、部館長、総務課長他 (8名)	3回
ファカルティ・デベロップメント委員会	ファカルティ・デベロップメント委員会規程	FD活動の推進に関する事項の審議	学科選出教員、自己点検・評価実施委員長、教務課長他 (8名)	7回
学術振興委員会	学術振興委員会規程	学術研究を振興に関する事項の審議	若干名とし教授から学長が委嘱 (3名)	4回
紀要編集委員会	紀要編集委員会規程	研究紀要、研究発表等一覧の刊行	学科選出の教授 (3名)	4回
学報委員会	学報委員会規程	学報の刊行	学科選出教員、職員 (4名)	4回
海外交流委員会	海外交流委員会規程	海外交流の促進に関する事項の審議	学科選出教員、職員 (5名)	4回
情報処理委員会	情報処理委員会規程	情報処理に関する事項の審議	学科選出教員、学長委嘱教員と職員 (9名)	7回
キャンパスギャラリー委員会	キャンパスギャラリー委員会規程	美術等の作品展示の企画運営	美術・デザイン学科長、学科選出教員 (3名)	1回
保健安全委員会	保健安全委員会規程	保健安全に関する事項の審議	専門知識を有する教員、学生支援部長、補佐、学科選出教員、学生支援課長、総務課長 (8名)	8回
人権・同和委員会	人権・同和委員会規程	人権・同和教育の推進・啓発	学科選出教員、職員 (4名)	2回

必要に応じ開催される委員会として、防火対策委員会、個人情報保護委員会がある。

◇参考資料「各種委員会規程」(規程集)

(4) 短期大学の運営全般について抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。

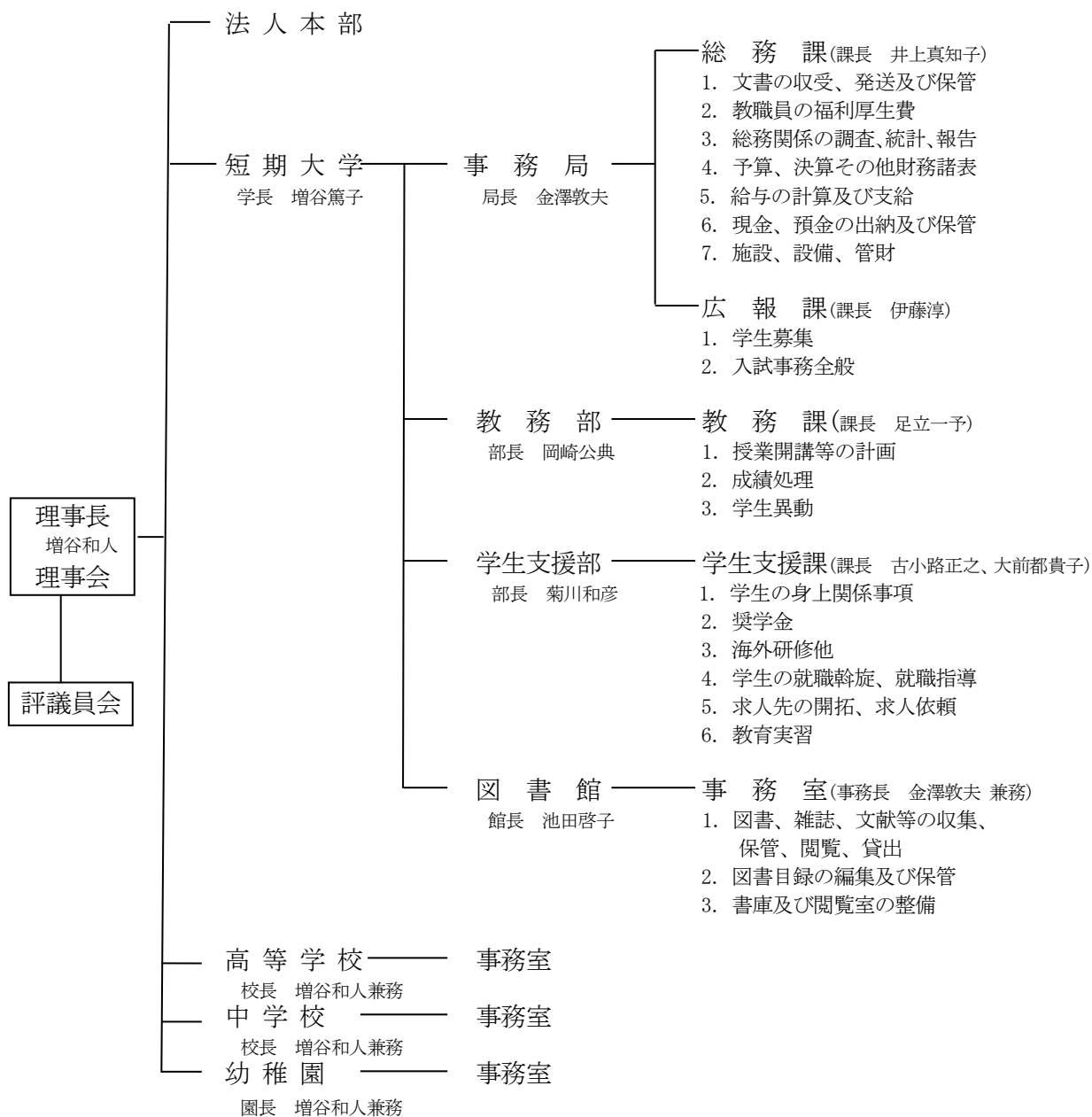
3 学科を擁する短期大学として運営全般について第一の問題は短期大学離れの中での入学者の確保があげられる。それに対し、各学科ではより教育効果をあげるべくカリキュラムの改革をおこない、各種委員会では大学運営や学生サービスが円滑に運ぶように積極的に検討を行っている。

#### 【事務組織について】

(1) 現在の法人全体の事務組織図を記載し、その中に短期大学の事務部門を記入して下さい。また組織図には短期大学の事務部門の役職名(課長、室長相当者以上。兼職

の有無を含む)、各部門の人員(専任・兼任の別を含む)、各部門の主な業務を含めて記入して下さい。また事務組織が使用している部屋等は、機器・備品を含めて訪問調査の際にご案内いただきます。

本学院の全体の組織と、短期大学の事務組織は、下記のように定めている



(2) 事務職員の任用(役職者の任免を含む)について現状を訪問調査時にご説明下さい。  
訪問調査時に、説明。

(3) 事務組織について整備している諸規程名を列記して下さい。なお諸規程等は訪問調査の際に拝見することがありますのでご準備下さい。



諸規程は、次の区分により細かく整備され業務は規程に則り行われている。

- ① 管理運営 「会議・委員会」、「組織」、「庶務・会計・施設」
- ② 人事 「任用」、「服務」、「研究・研修」
- ③ 学事 「教務」、「学生生活」
- ④ 図書館・研究所 「図書館」、「研究所」

◇参考資料「規程集」

(4) 決裁処理の概要と流れ、また公印や重要書類（学籍簿等）の管理、防災の状況、情報システムの安全対策等の現状を記述して下さい。

①決裁処理の概要

稟議書や支払伝票等における処理は教員については各学科長承認後に、事務職員については各課長承認後に事務局長、学長決裁により遂行している。

②公印管理

公印規程に基づき、総務課長が管理し、公印押印請求者は事務局長の許可を得なければならない。公印の重要性を考え、執務時間以外は金庫で保管している。

③重要書類

学籍簿等重要書類の扱いについては、事務所の鍵のかかる保管庫、あるいは金庫に保管している。また、長期保管書類は書庫棟（防火策のため窓を無くした鉄筋コンクリート建の別棟）に保管している。

④防災の状況

「防火等管理規程」に基づき、火災その他の災害に備え防火管理の有資格者を2名配置し、学内の防火設備も最新のものに逐次改善している。また、防災対策委員会を設け事務局長が委員長となっている。なお、隣接する寮については、毎年1回、西宮市の消防署の指導により防火訓練を行っている。

⑤情報システムの安全対策

コンピュータサーバー室は常時施錠しており、管理者のみが鍵を持っている。窓には格子をはめ外部からの侵入を防御している。

データバックアップは、直近1週間分を日々別の媒体に取得しており、緊急災害時にはバックアップ媒体のみを持ち出すことでシステム復旧を可能としている。

事務系システムはログイン時にパスワードによる管理を行い、利用者IDごとに使用できるシステムの機能限定や使用できるファイルの制限を行っている。

(5) 事務職員は教員や学生から支持され信頼されているか、できれば事務組織の責任者（事務局長等）が現状を率直に記述して下さい。

事務職員の業務の中でも、教務、学生生活、進路は、教学面との関係も多く要の部署である。その観点から、平成19年度に大学の中心の場所に事務室を統合した。それにより課間の連絡はもちろん、学生が集い様々な相談をより迅速に行えるようになり、それと同時に教員との連携もより円滑に行われるようになった。

(6) 事務組織のスタッフ・ディベロップメント (SD) 活動 (業務の見直しや事務処理の改善等、授業改善を支援する職員等の研修等、事務職員の能力開発、内部研修、外部への研修等) の現状を記述して下さい。

職員が問題意識を持ち業務の改善を行うことは大学として不可欠のことであると早期から認識し、平成12年から5年間、職員に関する学生アンケートを実施した。

各課では毎月課会を行い、そこで業務上の問題点を議論し、提案があれば課長会上程して事務局全体の問題とし検討している。また、年に1回、課員のヒアリングをマンツーマンで課長や事務局長が行い、個人の業務上での問題点を話し合い、職員としての意識、業務の改善を図っている。この様に、学内の情報は職員間で可能な限り共有できる体制をつくり、職員自らが学内の問題点に対して認識度を深め、解決策を提案できる環境づくりを目指している。

職員を対象とした外部研修には、日本私立短期大学協会主催の研修を始め積極的に参加し、その成果は参加者のみならず、情報を共有することにより業務に生かしている。

(7) 短期大学の事務組織が抱えている問題あるいは課題について差し支えがなければ記述して下さい。

職員の構成年齢が高い点、男女の割合が偏っている点が、今後改善していかなければならない課題としてあげられる。

#### 【人事管理について】

(1) 教職員の就業について、現在、短期大学が抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。なお教職員の就業についての規程 (就業規則、給与規程等) を訪問調査の際にご準備下さい。

教員と職員とは就業形態が異なるが、教員に関しては基本の担当持ちコマを決め、授業と学生指導のバランスをとっている。職員においては、学生サービスの観点から教務課、学生支援課、総務課、図書館で午後6時30分までの事務対応をするため、一部シフト勤務を採用している。就業規則も実情に合わせ見直し、就業についての特段の問題はない。

◇参考資料「夙川学院短期大学専任教職員就業規則」

(2) 法人 (理事長及び理事会等) と短期大学教職員の関係について、できれば理事長及び学長がそれぞれ記述して下さい。

学長は短期大学の管理運営について大幅な権限が付与されているが、重要な案件については、法人が短期大学において説明会を開催し、教職員に対して法人の方針を明示するとともに、情報の共有を図り、円滑な問題の解決が行われるようにしている。

(3) 教員と事務職員との関係について、できれば学科長等及び事務局長がそれぞれ記述して下さい。

教員と事務職員の関係については3学科長及び事務局長は以下の見解を共有している。

教員と事務職員はお互いの立場を充分理解しあい、円滑な意思疎通が図られ、協働して学校の運営にあたる体制がとられている。例えば各種の委員会やプロジェクトチームでは、教員、職員が参加し、それぞれの立場から発展的な意見を出し合い、問題の解決や中長期の計画立案を行っている。

(4) 教職員の健康管理、就業環境の改善、就業時間の順守等の現状を率直に記述して下さい。

教職員の日常の健康管理（健康相談も含む）は、産業医と養護教諭で行っている。定期健康診断は、毎年集団検診業者に委託し、学内で実施している。

就業環境は、教員は個別研究室の整備、職員は事務の効率化を図るべく各部署十分なスペースを確保している。

就業時間の順守についても問題はないが、教員は休講に対し必ず補講を実施し、職員は残業が多い部署の業務の見直しを行っている。

**【特記事項について】**

(1) この《Ⅷ管理運営》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、管理運営について努力していることがあれば記述して下さい。

特になし

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## 《IX 財務》

### 【財務運営について】

(1) 学校法人もしくは短期大学において「中・長期の財務計画」を策定している場合は、計画の名称、策定した経緯等を簡潔に記述して下さい。なお中・長期の財務計画は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

中・長期計画策定中である。

(2) 学校法人及び短期大学の毎年度の事業計画及び予算決定に至る過程、手続きを簡潔に記述して下さい。

次のとおり経理規程に基づき事業計画・予算策定し、同内容の速やかなる関係部署への伝達を図っている。

理事長 予算基本方針をたて予算責任者へ通知  
予算責任者 基本方針に基づき予算積算し経理責任者へ提出  
経理責任者 予算積算書を集計し予算原案作成  
理事長 予算案・事業計画案を作成し、評議員会・理事会へ諮る  
決定したら、速やかに関係部署へ通知している。

(3) 決定した予算の短期大学各部門への伝達方法、予算執行に係る経理、出納の業務の流れを必要な承認手続きを含めて簡潔に記述して下さい。なお経理規程等の財務諸規程について、整備している規程名を列記して下さい。財務諸規程は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

予算の伝達方法及び予算執行に係る業務の流れ

- ①短大事務局長名で予算配分通知書を各所属長に配分し、伝達している。
  - ②予算執行時、各部署の責任者は配分された予算に計上されているか、予算枠内の支払いであるかを点検し、決裁を受ける。
  - ③総務課では、支払い時に予算枠内での予算執行であることを確認する。
  - ④理事長への報告、承認手続き規程どおり実施。
- ◇参考資料「経理規程」「固定資産及び物品管理細則」「資産運用細則」

(4) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の公認会計士監査状況の概要を開催日順に記述して下さい。公認会計士の監査と監事がどのように連携しているか、また公認会計士から指摘を受けた事項があれば、その対応について記述して下さい。

- ①学校会計基準に基づき適正に処理。
- ②過去3ヶ年、監事監査、公認会計士監査からは適正であるとの報告を受けている。
- ③公認会計士の監査報告に監事立会い実施。

公認会計士による監査実施状況（平成 18 年度～20 年度）

年	月	日	概要	備考
18	4	5	実査	
18	4	21～28	期末監査	
	5	15～31		
	6	1～5		
18	9	19～22	内部統制検証（上期）	
18	12	13～14	内部統制検証（下期）	
19	2	22、23		
19	3	12、19		
19	4	5	実査	
19	4	9	確認	
19	5	2～28	計算書類項目の実証的検証、様式の検討	
	6	1～11		
19	9	18～21	内部統制の検証（上期）	
19 20	12	10～14、21	内部統制の検証（下期）	
	2	20		
	3	10～13		
20	4	4	実査	
20	4	10、16	確認	
20	5	1～31	計算書類項目の実証的検証、様式の検討	
	6	1～17		
20	9	1～5	内部統制の検証（上期）	
	10	1、7		
20	12	16～19、25	内部統制の検証(下期1)	
21	3	2、12、13、25～27	内部統制の検証(下期2)	

(5) 財務情報の公開は今までどのように行ってきたか、また私立学校法第47条第2項に基づき、財務情報の公開をどのように実施しているか。それぞれの概要を記述して下さい。

私立学校法第47条第2項の規定に基づき法人本部事務局に備え付けて利害関係者の求めに応じて財務情報公開している。今後、財務情報含め事業報告概要のホームページ公開を検討中である。なお、別途、短大学報「夙川だより」（年1回23,200部発行）に、財務情報、事業報告概要を掲載し公開している。

◇参考資料「夙川だより」

(6) 寄附行為に基づき、どのような基本方針で資金等の保有と運用を考えているか簡潔に記述して下さい。なお資金等の保有と運用に関する規程等が整備されていれば、訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

資金の管理と運用については、適正な会計処理に基づいて、管理台帳、出納簿ほかに記載して適正に行っている。

◇参考資料「経理規程」「資産運用細則」

(7) 寄附金・学校債の募集を行っていればその概要を記述して下さい。なお寄附金・学校債の募集についての印刷物等を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

現在寄附金・学校債の募集は行っていない。

**【財務体質の健全性と教育研究経費について】**

(1) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の資金収支計算書・消費収支計算書の概要を、別紙様式1にしたがって作成し、添付して下さい。

◆添付資料「過去3ヶ年（平成18年度～平成20年度）の収支計算書の概要」

(2) 学校法人の貸借対照表の概要（平成21年3月31日現在）を、別紙様式2にしたがって作成し、添付して下さい。

◆添付資料「平成20年度末現在の貸借対照表の概要」

(3) 財産目録及び計算書類（資金収支計算書、資金収支内訳表・人件費支出内訳表・消費収支計算書・消費収支内訳表・貸借対照表・固定資産明細表・借入金明細表・基本金明細表）について、過去3ヶ年（平成18年度～20年度）分を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

訪問調査時に準備する。

◇参考資料「財産目録」（平成18年度～平成20年度）

「計算書類」（平成18年度～平成20年度）

(4) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の短期大学における教育研究経費比率（消費収支計算書の教育研究経費を帰属収入で除した比率）を、小数点以下第2位を四捨五入し第1位まで求め記述して下さい。

教育研究経費比率（平成18年度～20年度）

区分	18年度	19年度	20年度
教育研究経費支出 (a)	387,644 千円	336,412 千円	324,573 千円
帰属収入 (b)	1,860,590 千円	1,944,753 千円	860,012 千円
教育研究経費比率 (a)／(b)	20.8%	17.3%	37.7%

**【施設設備の管理について】**

(1) 固定資産管理規程、図書管理規程、消耗品及び貯蔵品管理規程等、施設設備等の管理に関する諸規程を、財務諸規程を含めて一覧表として示して下さい。なお整備した諸規程を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

◇参考資料 「経理規程」

「固定資産および物品管理細則」

「図書館管理規程」

(2) 火災等の災害対策等、以下の危機管理対策について現状を簡潔に記述して下さい。

①火災等の災害対策

②防犯対策

③学生、教職員の避難訓練等の対策

- ④コンピュータのセキュリティ対策
- ⑤省エネ及び地球環境保全対策
- ⑥その他

#### ①火災等の災害対策

防火管理者資格を有する職員を代表に防災対策委員会を編成し、緊急連絡網・避難経路図を作成している。消火器・消火栓・火災報知機を法令に従って各建物に設置し、消火器・消化ホースは耐用年数に合わせて専門業者が点検・交換している。また火災報知機の法定点検も同様に委託している。学内では防火扉に破損等がないか、扉の周辺に障害物がないかを定期的に確認している。放送設備は災害時の緊急放送にも対応できる設備である。

#### ②防犯対策

正門・通用門・裏門に監視カメラを設置し、受付で監視・録画している。警備会社に委託して機械警備装置を導入し、夜間および休日は正門・裏門を施錠し、警備員を常駐させ学内を定期巡回させている。来学者には受付で来客簿への記帳と入校証の装着を徹底している。学生に対しては新入生オリエンテーションにて防犯意識を高めさせるため、「自己防衛ハンドブック」を配布している。

#### ③学生、教職員の避難訓練等の対策

防災対策委員会が定期的に短大、こしき岩寮（学寮）について避難訓練等の実施計画を検討し、寮については毎年実施している。平成 19 年度には、救急措置法講習会（AED による）を開催した。

#### ④セキュリティー対策

インターネット環境においてはファイアウォールを施し、外部からの不正アクセス防止を行っている。学内 LAN に接続するパソコンについては、その利用者に対して、学内設置の情報処理委員会より、OS のセキュリティー対策、メーカーサポート対象外 OS の使用禁止を勧告している。

#### ⑤ウィルス対策

学内 LAN に接続するパソコンでのメールの送受信、Web 検索において、パソコンとサーバーにそれぞれウィルス対策ソフトを導入し、二重の対策を行っている。

#### ⑥情報漏えい対策

事務系ファイル共有サーバーおよび事務用パソコンには暗号化ソフトを導入している。指定パソコン以外からの利用を制御するとともに、ファイルの外部持ち出し制限を行っているため、暗号化処理を施さないとファイルを持ち出せない仕組みを採用している。

#### ⑦省エネ及び地球環境保全対策

教室・研究室の退出時には照明・空調・パソコンのスイッチを切るよう、教授会等で通達したり掲示で告示している。買い替えの際には省エネ機器を導入し電力料金の削減を期すよう計画している。また、学内の緑地を定期的に整備している。このように環境問題に取り組んで、環境 ISO の推進についても検討している。学生に対してはオリエンテーション等の機会に省エネ・地球環境保全等の啓発をしている。

#### ⑧その他

特になし

**【特記事項について】**

- (1) この《IX財務》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、財務管理について努力していることがあれば記述して下さい。

特になし

- (2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし



## 《X 改革・改善》

### 【自己点検・評価について】

- (1) 短期大学では自己点検・評価を、短期大学の運営のなかでどのように位置づけているか、また自己点検・評価を実施するための組織、規程等の整備状況を記述して下さい。また今後、自己点検・評価をどのように実施しようと考えているかについても記述して下さい。

学則第1条の2に「本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的および社会的使命を達成するために、本学における教育研究活動ならびに運営等の状況について自ら点検および評価を行う」と定め、平成7年8月に規程集第2編、第2章組織の中に『自己点検・評価規程』を加え、自己点検・評価活動を運営する組織として自己点検・評価運営委員会を設置している。また、個別の事項について自己点検・評価を実施するための実施組織として自己点検・評価実施委員会を設けている。今後も両委員会を中心に自己点検・評価を行う。

◇参考資料「自己点検・評価規程」

- (2) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の自己点検・評価報告書の発行状況を記述して下さい。またその報告書の配付先の概要を記述して下さい。なお過去3ヶ年（平成18年度～20年度）にまとめられた自己点検・評価報告書を訪問調査の際にご準備下さい。

「平成18年度自己点検・評価報告書」を発行し、夙川学院短期大学全教職員に配布している。

◇参考資料「平成18年度自己点検・評価報告書」「平成19年度自己点検・評価報告書」

### 【自己点検・評価の教職員の関与と活用について】

- (1) 平成20年度までに行った自己点検・評価に関わった教職員の範囲を記述して下さい。また今後、どのような教職員の関わり方が望ましいと考えているかを記述して下さい。

自己点検・評価運営委員会の下部に自己点検・評価実施委員会を設け、それとは別にFD委員会を設けている。各委員会には各学科、事務局各部署から選任された教職員が参加し、実務を行っている。今後もこの方式で実務を行うが、全教職員が何らかの形で自己点検・評価に関り、改革・改善への意識を共有していきたいと考えている。

- (2) 平成20年度までに行った自己点検・評価結果の活用についてその実績を記述して下さい。また今後、自己点検・評価の結果をどのように活用しようと考えているかについても記述して下さい。

平成20年度までに行った自己点検・評価の結果、下記のことを実施した。

①短期大学の改組・転換を審議し、人間コミュニケーション学科および家政学科・健康科学専攻は平成18年度からの募集を停止した。②平成18年度には専攻科(保育専攻)の入学

定員を変更した(40名→100名)。平成19年度には家政学科ファッション専攻(80名→60名)と美術・デザイン学科入学定員(120名→80名)の変更を行なった。③栄養教諭課程の認可を受けた。④各学科におけるカリキュラムの見直しを行った。(pp.26-27参照)  
⑤分散していた事務組織を1つの部屋に集め、学生の利便性を向上させた。

今後も、自己点検・評価の結果を基に社会の動向や学生のニーズに合わせて教育内容や学生支援のあり方に関する見直しを続けていきたい。

#### 【相互評価や外部評価について】

(1) 平成20年度までに行った相互評価及び外部評価の概要を示し、評価結果の活用についてその実績を記述して下さい。

平成19年度に西南女学院大学短期大学部と双方の自己点検・評価報告書等の関係書類を交換し相手校の現状、課題などを把握し、書面による質問・回答を双方で行った。平成20年度には双方で設置した相互評価会議において意見交換を行った。

◇参考資料「相互評価報告書」

(2) 相互評価や外部評価を実施するための組織、規程等の整備状況を記述して下さい。また今後、相互評価や外部評価をどのように実施しようと考えているかについても記述して下さい。

組織は、自己点検・評価運営委員会および自己点検・評価実施委員会が兼務している。規程については、「相互評価協定書」及び「相互評価実施要項」に基づいて相互評価を行っている。平成20年度には西南女学院大学短期大学部との相互評価を引き続き実施し、双方で設置した相互評価会議において意見交換を行った。

◇参考資料「相互評価協定書」「相互評価実施要項」

#### 【第三者評価(認証評価)について】

(1) 第三者評価を実施するための学内組織の概要を記述して下さい。

自己点検・評価を運営する自己点検・評価運営委員会と自己点検・評価を実施するための自己点検・評価実施委員会を中心に第三者評価を実施する。

◇参考資料「自己点検・評価規程」

(2) 第三者評価に当たって短期大学の決意を述べて下さい。理事長、学長、各部門の長及びALO(第三者評価連絡調整責任者)がそれぞれ記述されても結構です。

本学も大学運営において厳しい現状で、改善すべき多くの問題点があることは事実である。今回、客観的な幅広い視野での第三者評価を受け、課題や問題点を第三者の目で指摘して頂くことによって、改革すべき方向を確認して早急に改革にあたっていきたい。

#### 【特記事項について】

(1) この《X改革・改善》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば評価に関する教職員への研修の実施等、当該短期大学が改革・改善について努力している

ことがあれば記述して下さい。

特になし

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点を求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## 《\*\*将来計画の策定（自由記述）》

近年の少子化傾向及び四大志向に対応するために、夙川学院は、平成 19 年 4 月、観光学を特色とする神戸夙川学院大学を神戸市のポートアイランドに新設した。夙川学院短期大学は平成 18 年 7 月に発足した夙川学院短期大学将来検討委員会を中心に、新大学との連携を視野に入れた新たな方向を見出すために検討を重ね改革・改善案が提案されたが、今のところ実現していない。

平成 20 年 2 月以降は、夙川学院短期大学将来構想委員会のもとで、将来計画の検討が進められている。

夙川学院短期大学は長年にわたって 4 学科を持つ大規模な短期大学として存在してきたが、学生のニーズと社会の変化に応じて、短大としてのあり方のスリム化を図るとともに、社会にさらなる貢献を果たせるように、改革・改善を続けていく必要がある。

具体的には、大規模校として実施してきた事業や支出の見直しを図り、より健全な経営基盤の確保を図るとともに、現在は 3 学科となっている各学科の定員の見直しやカリキュラムの改善、改組転換と四年制大学への移行を含む見直しを今後も継続的に実施していく所存である。

【巻末資料】

平成20年度入学生の教育課程表

平成21年度入学生より教育課程(カリキュラム)変更を行った学科・専攻の旧教育課程は、下表のとおりである。該当学科の教員配置については、平成21年度開講分を記載している。

家政学科(ファッション専攻) 教育課程 (平成21年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
共通科目	衣生活文化論	○			2						31	1年次開講
	色彩学	○			2						32	1年次開講
	カラーコーディネート演習		○		1						33	1年次開講
	服飾文化史	○			2						31	1年次開講
ファッションサイエンスに関する科目	テキスタイル材料学	○			2						31	1年次開講
	アパレル材料学	○			2						27	1年次開講
	アパレル材料学実験			○	1						29	1年次開講
	被服管理学	○			2			○			36	
	被服管理学実験			○	1					○	19	
	被服衛生学	○			2			○			34	
デザインに関する科目	ファッションデザイン論	○			2						31	1年次開講
	ファッションデザイン演習Ⅰ		○		1						33	1年次開講
	ファッションデザイン演習Ⅱ		○		2		○				33	
	ファッションドローイングⅠ			○	1						31 (2)	1年次開講
	ファッションドローイングⅡ			○	1						17	1年次開講
	コンピュータデザイン演習Ⅰ		○		2					○	25 (2)	
	コンピュータデザイン演習Ⅱ		○		2					○	15 (2)	
ファッション造形に関する科目	ファッション造形論	○			2					○	31	
	ファッション造形実習Ⅰ			○	1						32 (2)	1年次開講
	ファッション造形実習Ⅱ			○	1						25	1年次開講
	ファッション造形実習Ⅲ			○	1		○				25	
	ドレーピング実習Ⅰ			○	1		○				18	
	ドレーピング実習Ⅱ			○	1		○				6	
	パターン設計演習Ⅰ		○		1						32	1年次開講
	パターン設計演習Ⅱ		○		1					○	27	
	アパレルCAD演習Ⅰ		○		1		○				23 (3)	
	アパレルCAD演習Ⅱ		○		1		○				16 (3)	
	ゆかた造形実習			○	1						16	1年次開講
販売・ビジネスに関する科目	ファッション販売論Ⅰ	○			2						26	1年次開講
	ファッション販売論Ⅱ	○			2						22	1年次開講
	ファッション販売技術演習		○		1						6	1年次開講
	消費科学	○			2		○				32	
	ファッションマーケティング論	○			2						26	1年次開講
	ビジュアルマーチャンダイジング			○	1					○	8	
	計数管理演習		○		1						—	平成21年度未開講
	アパレル企画論	○			2					○	34	
	ファッション心理	○			2		○				36	
	ファッションと福祉	○			2		○				17	
	コーディネートに関する科目	ファッションコーディネート論	○			2						33
ファッションコーディネート実習				○	1					○	—	
スタイリスト演習			○		1		○				9	
ブライダルコーディネーター論		○			2		○				35	
身体装飾論		○			2						29	1年次開講

目 総合科	メイク&ネイル実習Ⅰ		○	1				19	1年次開講
	メイク&ネイル実習Ⅱ		○	1			○	14	
	アクセサリー実習		○	1				14	1年次開講
	ファッション総合演習	○		2		○		9	
	ファッション総合制作		○	1		○		32 (2)	

— は、平成20年度未開講

家政学科（食物栄養専攻栄養士コース） 教育課程 (平成21年5月1日現在)

科目の 種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の 履修人員 (クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
健康 社会と	社会福祉概論	○			2				○		48 (2)	
	公衆衛生学	○			2				○		48 (2)	
人体の 構造と 機能	解剖学	○			2						59 (2)	1年次開講
	生化学	○			2						61 (2)	1年次開講
	生化学実験			○	1						57 (2)	1年次開講
	生理学	○			2						57 (2)	1年次開講
	解剖生理学実験			○	1		○				47 (2)	
	病理学	○			2		○				48 (2)	
食品と 衛生	食品学Ⅰ	○			2						60 (2)	1年次開講
	食品学Ⅱ	○			2						59 (2)	1年次開講
	食品加工学	○			2						59 (2)	1年次開講
	食品加工学実習			○	1						57 (2)	1年次開講
	食品衛生学Ⅰ	○			2						58 (2)	1年次開講
	食品衛生学実験			○	1		○				48 (2)	
	食品学実験			○	2				○		46 (2)	
栄養と 健康	食品微生物学	○			2				○		46	※1
	基礎栄養学	○			2						60 (2)	1年次開講
	健康管理概論	○			2						59 (2)	1年次開講
	応用栄養学	○			2						57 (2)	1年次開講
	臨床栄養学	○			2				○		48 (2)	
	栄養学実習			○	1				○		48 (2)	
栄養の 指導	臨床栄養学実習			○	1				○		48 (2)	
	栄養教育論Ⅰ	○			2						59 (2)	1年次開講
	栄養教育論Ⅱ	○			2						57 (2)	1年次開講
	学校栄養教育法	○			2						15	1年次開講
	公衆栄養学	○			2				○		48 (2)	
	栄養教育論実習Ⅰ			○	1		○				48 (2)	
給食の 運営	栄養教育論実習Ⅱ			○	1		○				48 (2)	
	調理学実習Ⅰ			○	2						57 (2)	1年次開講
	調理学Ⅰ	○			2						57 (2)	1年次開講
	給食計画論	○			2						59 (2)	1年次開講
	給食実務論	○			2				○		48 (2)	
	給食管理校内実習			○	2		○				47 (2)	
	給食管理校外実習			○	1		○				48	
調理学実習Ⅱ			○	1				○		48 (2)		
食生活 領域 拡充科目	食料経済	○			2						55	※1年次開講
	フードスペシャリスト論	○			2				○		40	※1年次開講
	フードコーディネーター論	○			2				○		45	※1年次開講
	プレゼンテーション演習		○		1						—	平成21年度未開講
	製菓実習Ⅰ			○	1				○		21	

※ 食生活コースと合併

— は、平成20年度未開講

家政学科（食物栄養専攻食生活コース） 教育課程

（平成21年5月1日現在）

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
食の専門領域	食生活	食生活論	○			2					19	1年次開講
		食料経済	○			2					55	1年次開講
		フードスペシャリスト論	○			2				○	40	※
		フードコーディネーター論	○			2				○	45	※
		食物史	○			2				○	18	
	栄養と健康	健康の管理	○			2					12	1年次開講
		健康と運動		○		1					11	1年次開講
		基礎栄養学	○			2					18	1年次開講
		ライフステージ栄養	○			2		○			18	1年次開講
		ライフステージ栄養実習			○	1				○	12	
		ウェルネス栄養	○			2		○			16	
	調理	調理学Ⅰ	○			2					18	1年次開講
		調理学実習Ⅰ			○	2					18	1年次開講
		調理学Ⅱ	○			2					15	1年次開講
		調理科学Ⅰ	○			2				○	19	
		調理科学Ⅱ	○			2				○	11	
		調理科学実験Ⅰ			○	1				○	12	
		調理科学実験Ⅱ			○	1				○	8	
		製菓実習Ⅰ			○	1				○	16	
		製菓実習Ⅱ			○	1				○	15	
		調理学実習Ⅱ			○	1				○	19	
	食品と衛生	食品衛生学Ⅰ	○			2					18	1年次開講
		食品学Ⅰ	○			2					20	1年次開講
		食品学Ⅱ	○			2					16	1年次開講
		食品衛生学Ⅱ	○			2					18	1年次開講
		食品加工学実習			○	1					—	1年次開講
		食品加工学	○			2				○	19	
		食品の保存と包装	○			2				○	18	
		食品微生物学	○			2				○	46	※
		食品学実験			○	2				○	4	
食品微生物学実習				○	1				○	4		
生活の科学領域	家庭経営及び家族関係	○			2					9	1年次開講	
	被服学	○			2					6	1年次開講	
	生活経済学	○			2					17	1年次開講	
	服飾構成学実習Ⅰ			○	1					8	1年次開講	
	服飾構成学実習Ⅱ			○	1					—	1年次開講	
	コンピュータ演習Ⅰ		○		2					9	1年次開講	
	コンピュータ演習Ⅱ		○		2				○	4		
	保育学	○			2				○	9		
	住居学	○			2				○	17		
	環境と人間	○			2				○	13		

※ 栄養士コースと合併

— は、平成20年度未開講

児童教育学科 教育課程

（平成21年5月1日現在）

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考 科・科目等履修生
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
	教職総論	○				2					136 (4)	1年次開講
	教育原理	○			2						135 (4)	1年次開講

教育心理学	○			2				131 (5)	1 年次開講
教育行政学	○			2	○			154 (2)	
教育課程論	○			2				135 (4)	1 年次開講
教育方法論	○		2					139 (4)	1 年次開講
国語科教育法	○			2				23	1 年次開講
社会科教育法	○			2				4	1 年次開講、科(1)
算数科教育法	○			2				14	1 年次開講、科(1)
理科教育法	○			2				26	1 年次開講、科(1)
生活科教育法	○			2			○	19	科(1)
家庭科教育法	○			2			○	14	科(1)
音楽科教育法	○			2			○	24	科(1)
図画工作科教育法	○			2			○	22	1 年次開講、科(1)
体育科教育法	○			2			○	19	科(1)
道德教育研究	○			2	○			31	
特別活動研究	○			2	○			31	
保育内容・健康Ⅰ		○		1	○			137 (6)	科(1)
保育内容・健康Ⅱ		○		1	○			126 (5)	
保育内容・人間関係Ⅰ		○		1			○	151 (5)	
保育内容・人間関係Ⅱ		○		1			○	142 (5)	
保育内容・環境Ⅰ		○		1				135 (5)	1 年次開講
保育内容・環境Ⅱ		○		1				123 (5)	1 年次開講
保育内容・言葉Ⅰ		○		1	○			136 (5)	
保育内容・言葉Ⅱ		○		1	○			133 (5)	
保育内容・身体表現Ⅰ		○		1				134 (6)	1 年次開講
保育内容・身体表現Ⅱ		○		1				136 (6)	1 年次開講
保育内容・造形表現Ⅰ		○		1				125 (6)	1 年次開講
保育内容・造形表現Ⅱ		○		1				135 (6)	1 年次開講
生徒指導論 (進路指導を含む)	○			2				30	1 年次開講、科(1)
教育相談 (カウンセリングを含む)	○			2	○			31	
幼児理解の理論および方法 (教育相談を含む)	○			2	○			79 (3)	
総合演習	○			2	○		○	153 (10)	
教育実習事前・事後指導(小学校) (幼稚園)	○			1	○			12 111 (5)	科(1) 科(3)
教育実習 (小学校) (幼稚園)		○		4	○			28 114	科(1) 科(3)
国語	○			2				130 (4)	1 年次開講
算数	○			2	○		○	19 (2)	
生活	○			2			○	34 (3)	
社会	○			2	○			7	
理科	○			2				8	1 年次開講
家庭	○			2			○	6	
音楽 (ピアノ)		○		1				153 (19)	1 年次開講、科(1)
音楽 (声楽)		○		1				—	平成21年度未開講
図工演習		○		2	○		○	152 (6)	
体育実技		○		1				137 (6)	1 年次開講、科(1)
社会福祉概論	○			2				125 (3)	1 年次開講
社会福祉援助技術		○		2	○			111 (5)	
児童福祉論	○			2				107 (3)	1 年次開講
保育原理Ⅰ	○			2	○			126 (3)	
保育原理Ⅱ	○			2	○			127 (4)	
養護原理	○			2			○	130 (3)	



	発達心理学	○			2					135 (4)	1年次開講
	小児の食生活	○			2				○	133 (6)	
	児童とあそび	○			2		○			41 (2)	
	幼児美術			○	2		○		○	19 (3)	
	児童文化		○		2				○	55 (2)	
	カウンセリング特論	○			2		○			109 (5)	
	体育理論		○		1					64 (3)	1年次開講
	人権論	○			2					—	平成21年度未開講
	器楽活用法		○		2				○	76 (2)	
	保育入門	○			2					108 (2)	1年次開講
	子どもと環境	○			2					—	平成21年度未開講
	特別研究及び演習Ⅰ		○		2					41 (2)	1年次開講
	特別研究及び演習Ⅱ		○		2		○			90 (6)	
	ボランティア活動			○	1		○			2	

— は、平成20年度未開講

美術・デザイン学科 教育課程 (平成21年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
講義科目	西洋美術史	○			2						33	1年次開講
	東洋美術史	○			2						37	1年次開講
	造形の心理	○			2						33	1年次開講
	色彩学	○			2						33	1年次開講
	インテリアエレメント	○			2					○	15	
	民族芸術論	○			2						25	1年次開講
	グラフィックデザイン論	○			2						22	1年次開講
	建築施工	○			2					○	11	
	マンガとアート	○			2					○	—	新規科目
	デザイン史	○			2					○	33	
	デザイン情報論	○			2					○	34	
	建築設備計画	○			2						30	1年次開講
	建築法規	○			2						31	1年次開講
	建築構造	○			2						27	1年次開講
	現代美術論	○			2					○	33	
	現代文化論	○			2					○	33	
	構造と造形	○			2					○	23	
	建築材料	○			2						—	平成21年度未開講
	住居環境論	○			2						—	平成21年度未開講
実習が伴う科目	絵画基礎実習		○		2						33 (2)	1年次開講
	テキスタイル基礎演習		○		2						33 (2)	1年次開講
	デザイン基礎演習		○		2						33 (2)	1年次開講
	インテリア基礎演習		○		2						33 (2)	1年次開講
	CG演習Ⅰ		○		2						33 (2)	1年次開講
	専門実習ⅠA			○	1						33 (4)	1年次開講
	専門実習ⅠB			○	1						33 (4)	1年次開講
	専門実習ⅠC			○	1						33 (4)	1年次開講
	専門実習ⅡA			○	1			○		○	—	新規科目
	専門実習ⅡB			○	1			○		○	—	新規科目
	専門実習ⅡC			○	1			○		○	—	新規科目
	専門実習ⅢA			○	1			○		○	—	新規科目
	専門実習ⅢB			○	1			○		○	—	新規科目

専門実習ⅢC		○	1		○	○	—	新規科目
専門実習ⅢD		○	1		○	○	—	新規科目
図法及び製図	○		2			○	13	
立体造形	○		2			○	—	新規科目
版画表現	○		2			○	9	
映像表現	○		2			○	19	
色彩表現	○		2			○	14	
C G 演習Ⅱ	○		2			○	8	
発想と表現	○		2			○	36 (2)	

— は、平成 20 年度未開講

# 【添付資料一覧（別冊）】

## 《Ⅰ 建学の精神・教育理念》

\* 建学の精神・教育の理念・教育目的、教育目標等についての印刷物

学生手帳 2008 ..... 資料 1

大学案内 2009 ..... 資料 2

履修ガイド 2008 ..... 資料 3

## 《Ⅱ 教育の内容》

履修ガイド 2009 ..... 資料 4

## 《Ⅶ 社会的活動》

社会人特別入学試験要項 ..... 資料 5

## 《Ⅷ 管理運営》

学校法人夙川学院寄附行為 ..... 資料 6

夙川学院短期大学学則 ..... 資料 7

## 《Ⅸ 財務》（ファイルに綴じ込み）

過去 3 年（平成 18 年度～平成 20 年度）の収支計算書の概要 .. 資料 8

平成 20 年度末現在の貸借対照表の概要 ..... 資料 9

## 【参考資料一覧】

### 《Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》

1. 夙川学院九十年史 (p. 8)
2. 夙川学院百年史 (p. 8)
3. 創立百十周年記念誌 (p. 8)
4. 2008年度オリエンテーション行事 (p. 10、p. 68)
5. 平成18年度自己点検・評価報告書 (p. 11、p. 107)
6. 平成19年度自己点検・評価報告書 (p. 11、p. 107)

### 《Ⅱ 教育の内容》

7. 教養ゼミ研究録 (p. 22、p. 69)
8. 平成20年度時間割 (p. 25)
9. 平成21年度時間割 (p. 25)
10. 授業評価アンケート用紙 (p. 28)
11. 評価結果まとめ (p. 28)
12. ファカルティ・ディベロップメント委員会規程 (p. 29)
13. 学生による授業評価活用ハンドブック (p. 29)
14. FD Today (p. 29)
15. 夙川学院短期大学教育実践研究紀要 (p. 29、p. 80、p. 81)
16. NDKファッションデザインコンテスト (プログラムのコピー・学生作品の写真) (p. 31)
17. キッズ・トリムウェアファッションショー (案内のコピー・学生作品の写真) (p. 31)
18. 卒業制作ファッションショー (プログラム・ちらし) (p. 31)
19. クリスタルコンサート (プログラム) (p. 32)
20. 卒展 (ポスター・パンフレット・案内状) (p. 32)
21. オペレッタ合同発表会 (プログラム) (p. 32)
22. 修了研究及び論文研究録 (p. 32)
23. 卒業・修了制作展作品集 (p. 33)
24. 冬至祭・光のメタファー展資料 (p. 33、p. 55、p. 85)
25. 野外アートフェスティバル資料 (p. 33、p. 85)
26. ATC 関西学生卒業作品展資料 (p. 33)

### 《Ⅲ 教育の実施体制》

27. 教員の個人調査書 (p. 34)
28. 教員選考規程 (p. 34)
29. 教員選考規程細則 (p. 34)
30. 校舎・校地に関する図面 (p. 36)
31. 図書館委員会規程 (p. 40)
32. 図書館除籍図書処理規程 (p. 40)
33. 図書館に関するアンケート調査 (p. 41)
34. 図書館利用案内 (p. 41)

35. SENSE	(p. 42)
《IV 教育目標の達成度と教育の効果》	
36. 本学卒業生に関するアンケート	(p. 62)
37. 学生生活に関するアンケート	(p. 64)
38. 幼児教育研究所報 (第18・19・20号)	(p. 64)
《V 学生支援》	
39. 2009年度入学試験要項	(p. 66, p. 67, p. 78)
40. パルフル	(p. 66)
41. 学科・専攻からのメッセージ	(p. 68)
42. 各種展覧会等の案内	(p. 68)
43. 学習支援の案内	(p. 68)
44. 奨学金支給規程	(p. 71)
45. 奨学金細則	(p. 71)
46. 夙川学院短期大学後援会奨学金規程	(p. 71)
47. 奨学生の選考に関する規程	(p. 71)
48. 社会人特別奨学金規程	(p. 71, p. 83)
49. 健康管理年報	(p. 72)
50. 個人データ票	(p. 72)
51. 保護者対象進路説明会冊子	(p. 74)
52. 就職ハンドブック	(p. 75)
《VI 研究》	
53. 夙川学院短期大学研究発表等一覧	(p. 80)
54. 第55回日本栄養改善学会講演集	(p. 80)
55. 日本保育学会大会発表論文集(第59・60・61回)	(p. 80)
56. 個人研究費制度内規	(p. 80)
57. 夙川学院短期大学研究紀要	(p. 81)
58. 短期海外研修に関する規程	(p. 82, p. 88)
59. 特別研究助成金交付規則	(p. 82)
《VII 社会活動》	
60. 阪神間ミュージアムリレー講座 (ちらし)	(p. 84)
61. 朝日カルチャーセンター (パンフレット)	(p. 84)
62. JTBカルチャーサロン (パンフレット)	(p. 84)
63. 阪神奈生涯学習ネット (パンフレット)	(p. 84)
64. インターカレッジ西宮 (パンフレット)	(p. 84)
65. 地域団体共催講座 (ちらし)	(p. 84)
66. ひょうご産業デザイン発掘プログラム資料	(p. 85)
67. 神戸デジタルコンテンツ振興会議 DG 展資料	(p. 85)
68. 海外研修募集パンフレット	(p. 87)
69. 平成20年度海外研修報告書	(p. 87)

## 《Ⅷ 管理運営》

- 70. 現在の理事・監事・評議員の名簿 (p. 92)
- 71. 平成20年度理事会議事録 (p. 92)
- 72. 学長選任規程 (p. 94)
- 73. 各種委員会規程 (規程集) (p. 97)
- 74. 規程集 (p. 99)
- 75. 夙川学院短期大学専任教職員就業規則 (p. 100)

## 《Ⅸ 財務》

- 76. 経理規程 (p. 102, p. 103, p. 104)
- 77. 固定資産及び物品管理細則 (p. 102, p. 104)
- 78. 資産運用細則 (p. 102, p. 103)
- 79. 夙川だより (p. 103)
- 80. 財産目録 (平成18年度～平成20年度) (p. 104)
- 81. 計算書類 (平成18年度～平成20年度) (p. 104)
- 82. 図書館管理規程 (p. 104)

## 《Ⅹ 改革・改善》

- 83. 自己点検・評価規程 (p. 107, p. 108)
- 84. 相互評価報告書 (p. 108)
- 85. 相互評価協定書 (p. 108)
- 86. 相互評価実施要項 (p. 108)